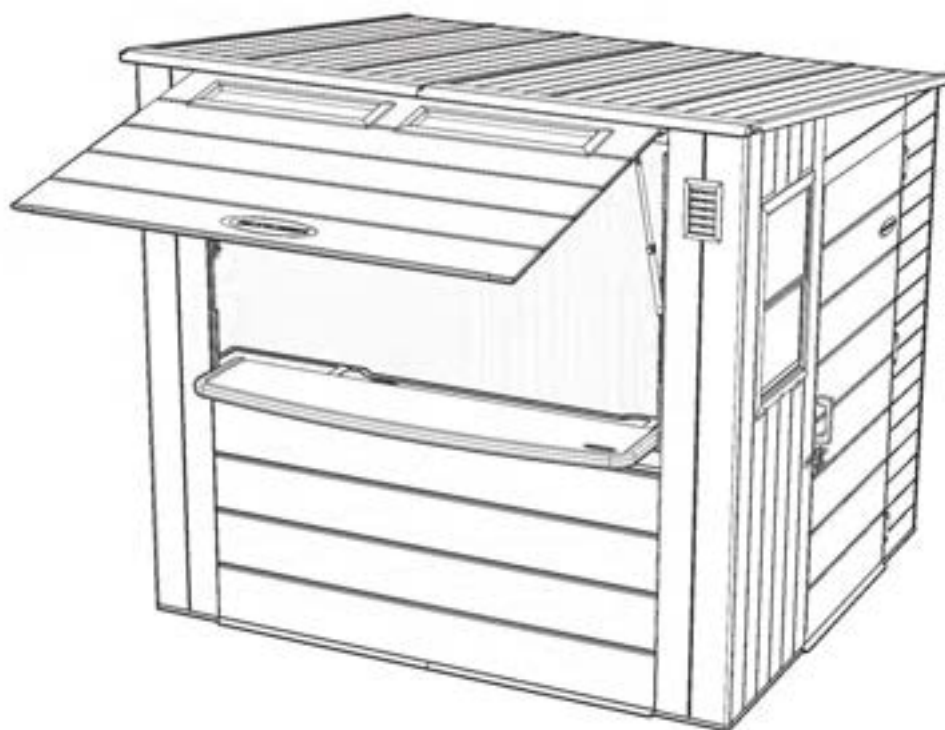


BMCB8700 Suncast 8'x7' Cabana Entertainment Shed

組立手順書<和訳>

Item#1852222

ご準備いただく必要があるツール



製品の組み立てビデオを見るには、
QRコードをスキャンしてください。

SUNCAST

Built for Everyday Life™

保証を有効にするには、購入後 90 日以内に登録してください。

保証期間が 90 日以内の製品については登録は不要です。



1. 製品の保証期間を確認するには、[www/suncast.com/warranty](http://www.suncast.com/warranty) にアクセスしてください (保証期間が 90 日以下の製品には登録は必要ありません)
2. 登録を完了するには、<https://support.suncast.com> にアクセスするか、QR コードをスキャンしてフォームに記入し、領収書のコピーをアップロードしてください。

ご質問がありますか？

製品に関する質問、組み立てのサポート、交換部品などについては、以下をご覧ください。



<https://support.suncast.com>



Suncast Corporation カスタマー ケア
701 N. Kirk Road, Batavia, IL 60510



1-800-846-2345

1-630-381-6309



始める前に...

- 小屋を建設するために必要な許可については、地方自治体にお問い合わせください。
小屋を建設する前に、地元の建築基準法のお住いの各地方自治体わせて、必要な許可や建築制限を確認してください。
- 小屋の建設を始める前に、水平で頑丈な基礎が必要です。
敷地の準備については、このマニュアルで後述しています。このマニュアルに記載されている仕様と異なる基礎を使用すると、適切な組み立てが妨げられ、部品が損傷する可能性があります。
- 組み立てる前に説明書をよくお読みください。
この商品には、誤って組み立てたり、間違った順序で組み立てたりすると損傷する可能性のある部品が含まれています。
- 指示に従ってください。
Suncast は、不適切な組み立てにより紛失または損傷した部品の交換については責任を負いません。
- 組み立て作業全体をとおしてサポートが必要になります。



この手順を完了するには、**少なくとも**、大人がもう 1 人必要であることを示しています。



電動ドリルを使用するには注意が必要であることを示します。



方向が重要であることを示しています。組み立てる前に、図を参照して部品の方向が正しいことを確認してください。

重要

すべての部品を開梱する前に、敷地の準備と基礎工事を完了してください。

最初にすべての箱を開けて、部品をきれいに並べます。各箱には小さな部品が入っている場合がございます。このマニュアルにある部品リストを参照して、すべての部品が揃っていることを確認してください。



注意

- 電動工具を使用すると過度のトルクがかかり、製品が損傷することがあります。製品の組み立てに電動ドリルを使用する場合、Suncast では、可変クラッチを最小設定に設定した、可変速度のコードレスドリルを使用することを推奨しています。#2 プラスドライバースピットは、付属のハードウェアと互換性があります。Suncast は、この推奨事項に従うことで製品の損傷を防ぐことができることを保証いたしません。過剰なトルクによる部品の損傷は、Suncast の限定保証の対象外となります。
- 以下の重量制限を超えないでください。
 - バー トップ - 45.3 Kg (100 lbs)
 - 小さい棚 - 22.7 Kg (50 lbs)
 - 大きい棚 - 22.7 Kg (50 lbs)
 - カウンタートップ - 68 Kg (150 lbs)
- バー、カウンタートップ、棚の上に立ったり座ったりしないでください。
- 熱いもの (グリル ツール、ポータブル ヒーターなど) を引き出しやバー、カウンタートップ、棚の上に保管したり、置いたりしないでください。
- 高温または高温になる可能性のある物の近くに置かないでください。
- 反射率の高い表面の近くに置かないでください。(注意: Low-E ウィンドウは標準のウィンドウよりも反射率が高く、製品の寿命に影響を与える可能性があります)。
- 製品内または製品とともに使用、設置、または保管されるデバイスは、GFCI (地絡回路遮断器) コンセントにのみ接続する必要があります。
- 水が存在する場合は、製品内に設置または保管されている電気機器を使用しないでください。
- 可燃性、苛性、または腐食性の材料を保管することを想定した小屋ではありません。
- 重い物を壁に立てかけないでください。パネルが変形したり、永久的な損傷が発生する場合があります。
- 住居や子供が使用することを想定した小屋ではありません。
- Suncast は天候や誤用による損害については責任を負いません。
- 製品は耐水性ですが、防水ではありません。最適なパフォーマンスを得るには、ユニットを雨どいや排水口から離して設置してください。
- このキットには、角が鋭利な部品が含まれています。取り扱いには十分ご注意ください。作業用手袋のご使用をお勧めします。
- 金属に穴を開ける場合、バリ、削りくず、その他の鋭利な角にご注意ください。安全メガネの使用を強くお勧めします。



小屋の手入れとメンテナンス

- 定期的に小屋を点検し、組み立ての整合性が維持されていることを確認してください。壊れた部品はすぐに修理または交換してください。
- 小屋を設置する場所が水平であるかどうかを定期的に確認してください。
- 屋根に雪や落ち葉が積もらないようにしてください。
- 製品の外観を維持するために、定期的に中性洗剤と水で洗浄することをお勧めします。漂白剤、アンモニア、その他の苛性洗剤や硬い毛のブラシを使用しないでください。定期的に清掃を行わないと、プラスチックに永久的な汚れが付く可能性があります。この種の損傷は保証の対象外となります。



組み立て日に関するヒント

- 風が強い日に組み立てようとししないでください。
- 小屋を完全に組み立てるために適切な時間を確保してください。小屋の組み立てが不完全な場合、安全上の危険が生じる可能性があります。
- 部品を持ち上げて所定の位置に固定するために、近くに援助者がいることを確認してください。
- 小屋を組み立てる際は、軽作業用手袋を着用してください。
- 屋根の組み立て後は、小屋内の小さな部品を組み立てる際に、懐中電灯が有用な場合があります。
- イージー ボルトを締める際にトルクレンチやハンドドリルを使用しないでください。付属のイージー ボルトドライバーのみを使用してください。
- 小さな留め具のハードウェアは、紛失してしまったときのために余分に付属しています。場合によっては、組み立てが完了すると余分な小さな留め具が残ることがあります。

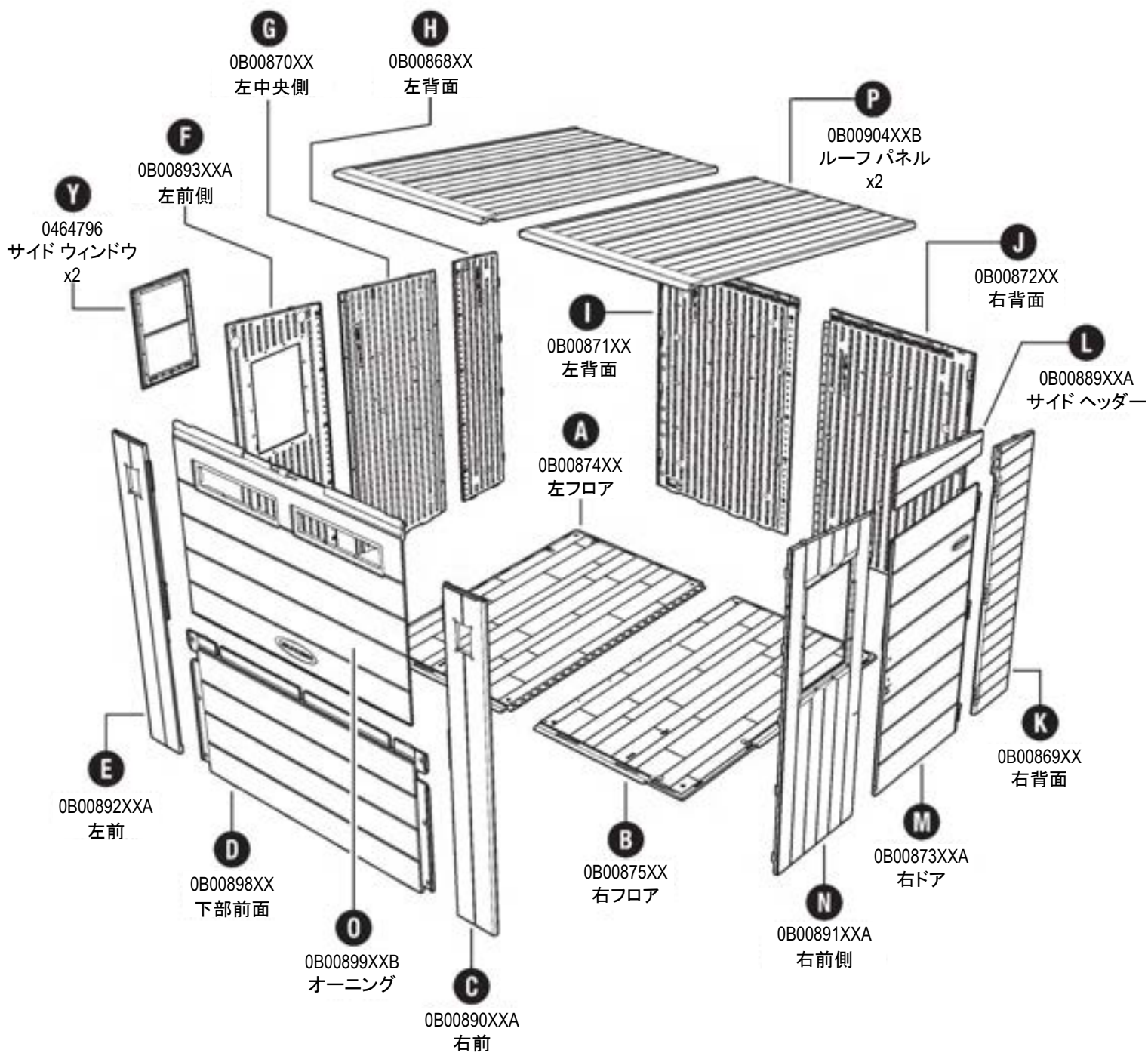
注意: この製品には、小屋を組み立てるためにさまざまな方向で使用される部品が含まれています。この取扱説明書全体を通じて示されている部品の向きに注意してください。指示に従わないと部品が損傷する可能性があります。Suncast は、不適切な組み立てにより紛失または損傷した部品の交換については責任を負いません。

部品 - パネル

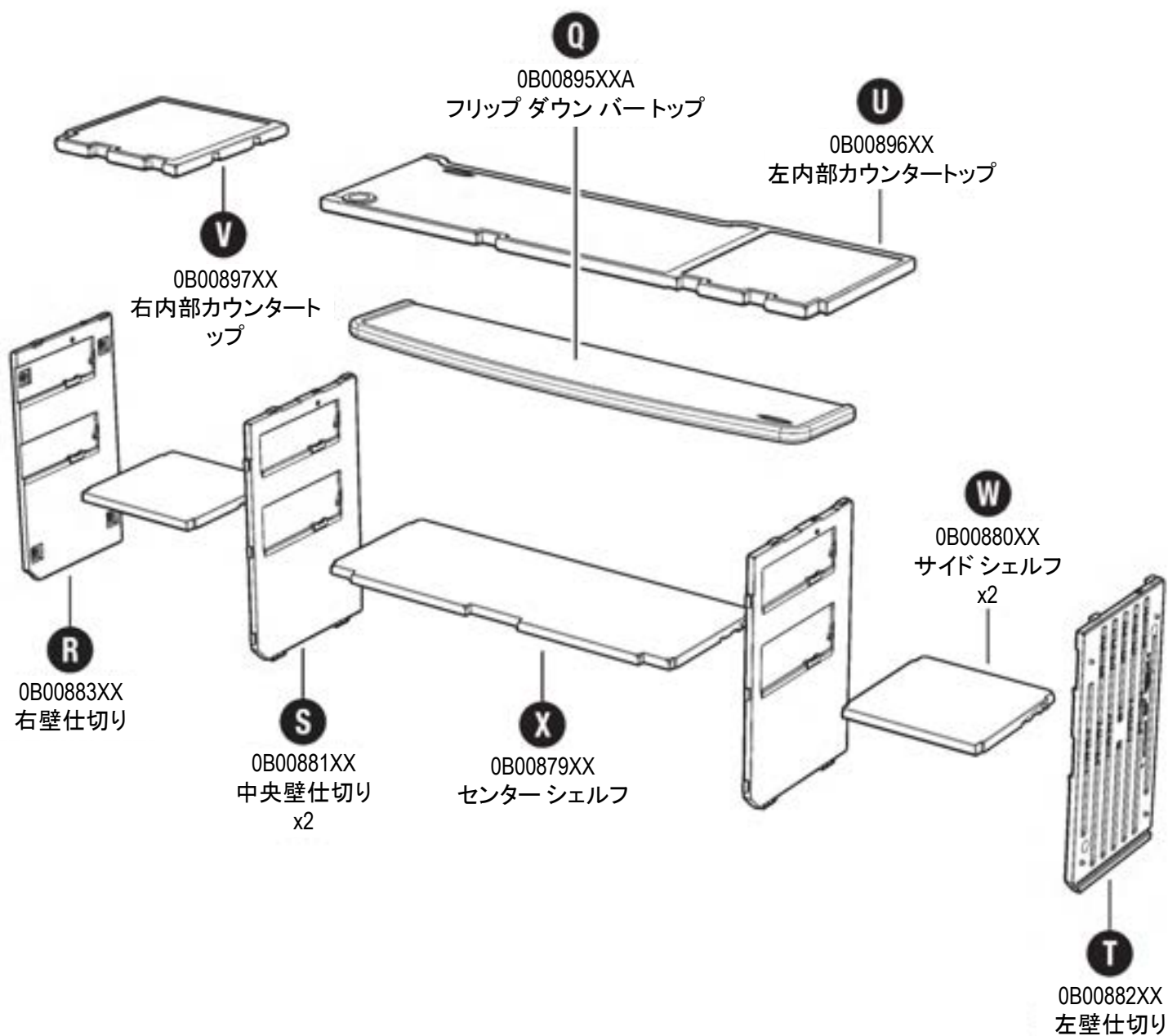
重要

すべての部品を開梱する前に、敷地の準備と基礎工事を完了してください。

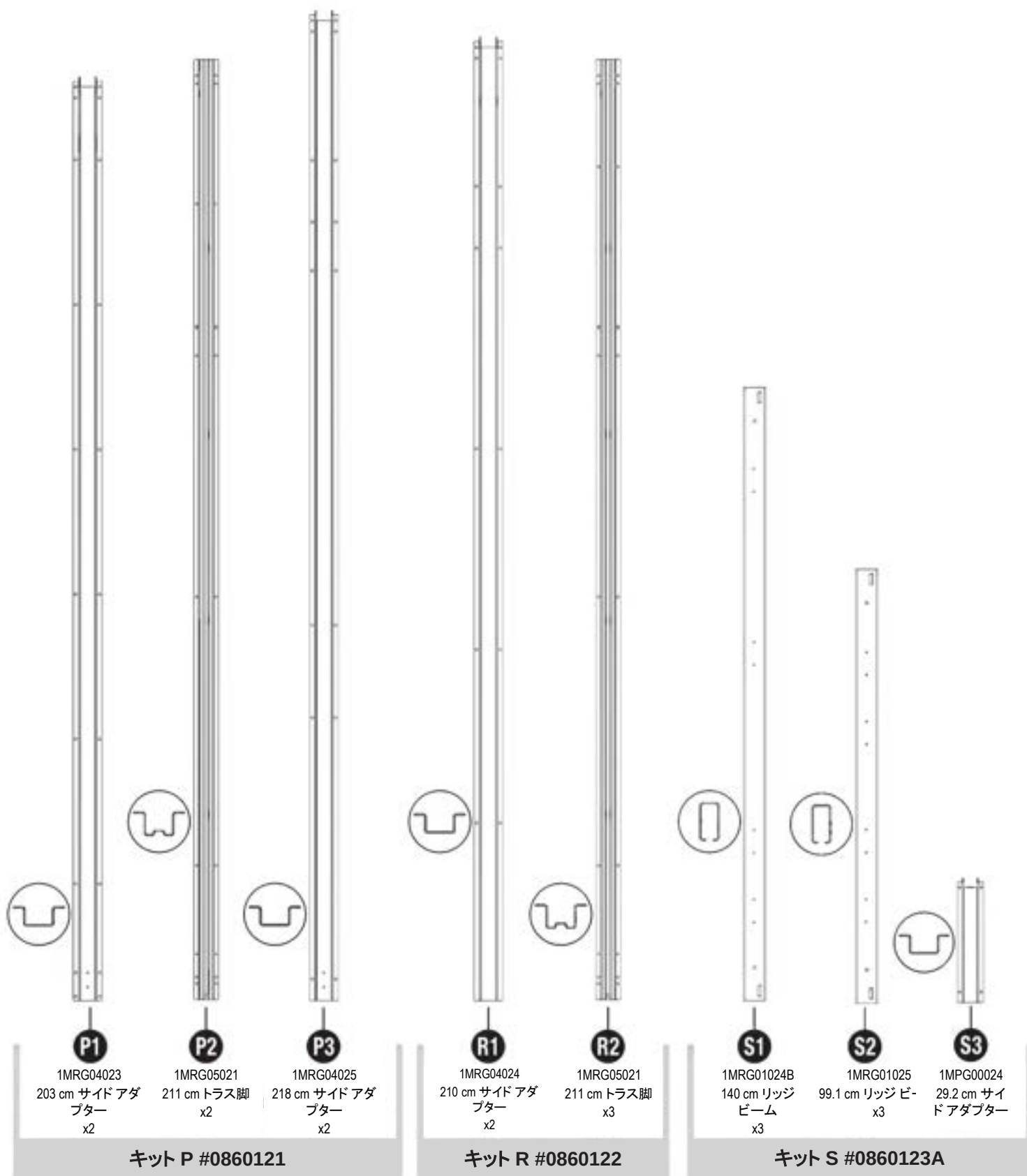
最初にすべての箱を開けて、部品をきれいに並べます。各箱には小さな部品が入っている場合がございます。このマニュアルにある部品リストを参照して、すべての部品が揃っていることを確認してください。



パーツ - バートップ、カウンタートップ、棚



部品 - スチール





M1

1MRG04022
190 cm サイドアダプター
x5

キット M #0860120



T1

1MRG02025
208 cm ヘッダー
ビーム
x2



T2

1MRG02003
177 cm ヘッダー
ビーム
x2



T3

1MRG02026
114 cm ヘッダー
ビーム



T4

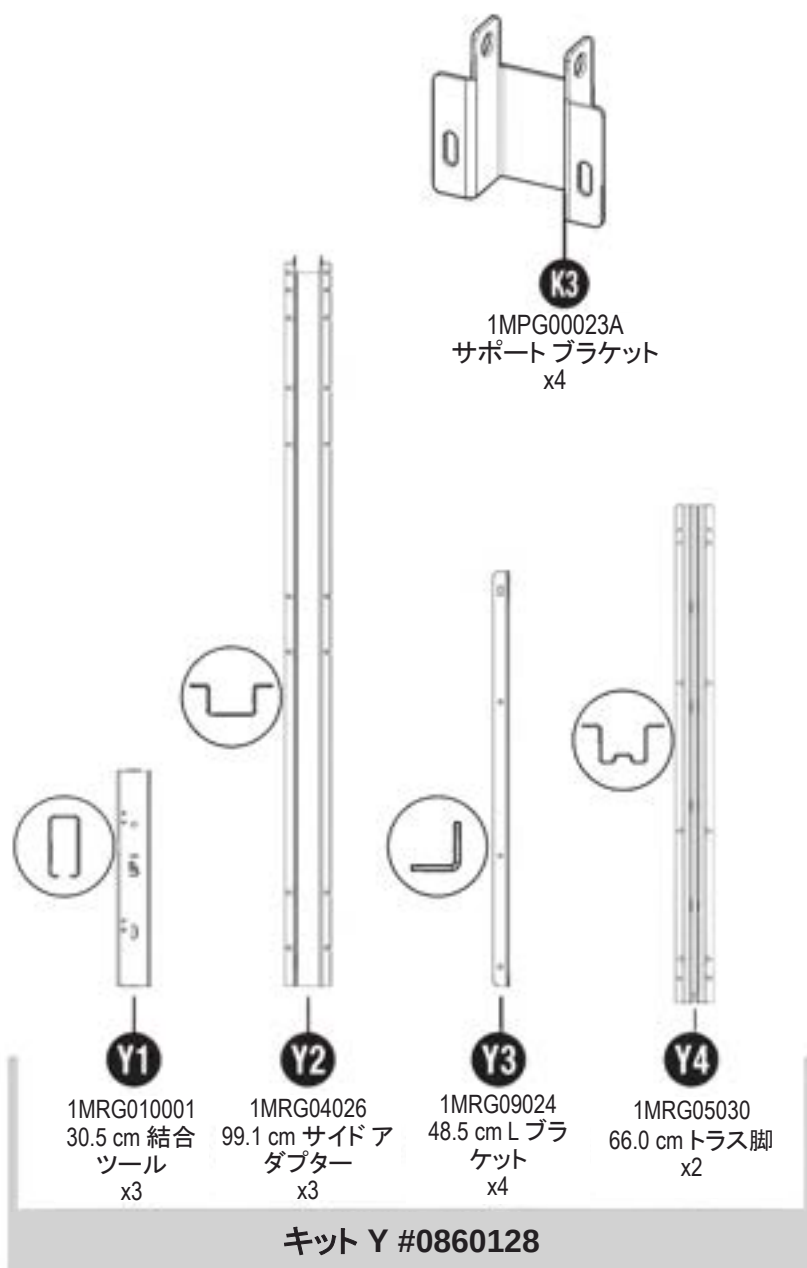
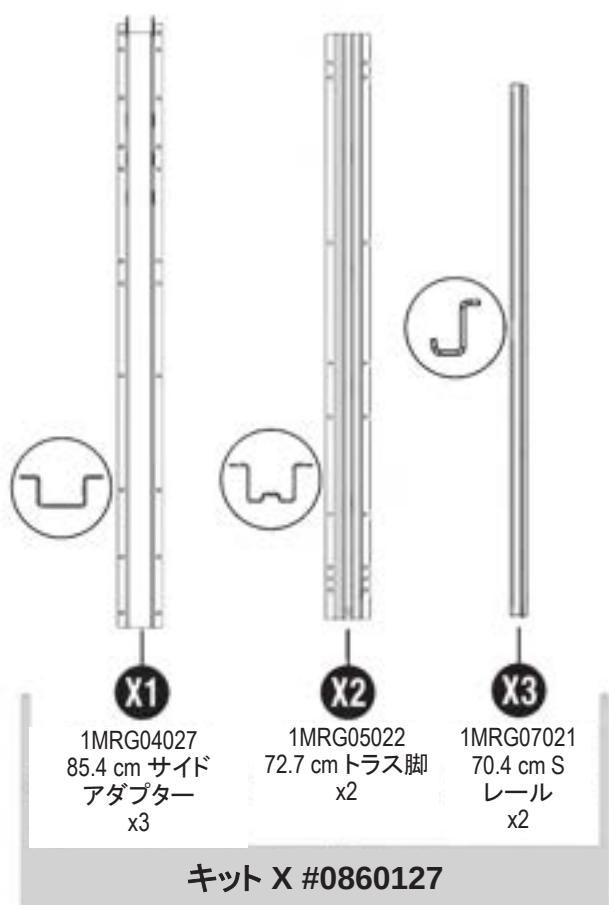
1MRG09025
136 cm L ブラ
ケット
x4



T5

1MRG07022
165 cm S
レール

キット T #0860124



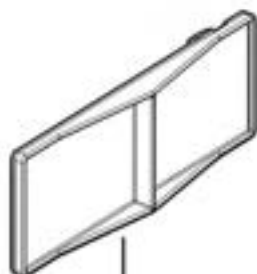
部品 - コンポーネント

パーツ キット #1 - 0464794



K1

0102809XX
前面通気口
x2



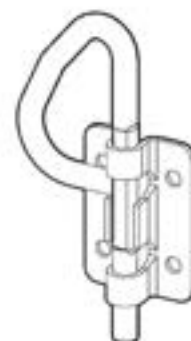
K2

0102552XX
コード スライド



K3

1MPG00023A
サポート ブラケット
x10



K4

0440631
D リング
x2



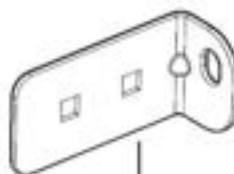
K5

OMP000002
ドア ヒンジ
x3



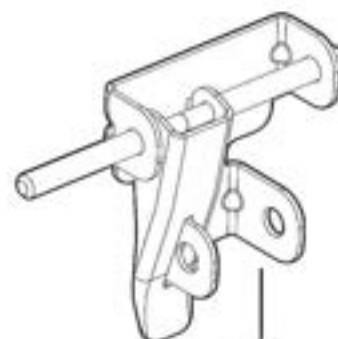
K6

010272210
ハンドル



K7

1MP000020
左ラッチ プレート



K8

OMP000018/19
ラッチ アセンブリ

ハードウェア バッグ E - 0480580



E1

010256307
イー
ジー
ボルト
x40



イー
ジー
ドラ
イバー



E2

010256610
サイド アダプ
ター キャップ
x11



E3

0102197XX
ルー
フリテナー
x2



E4

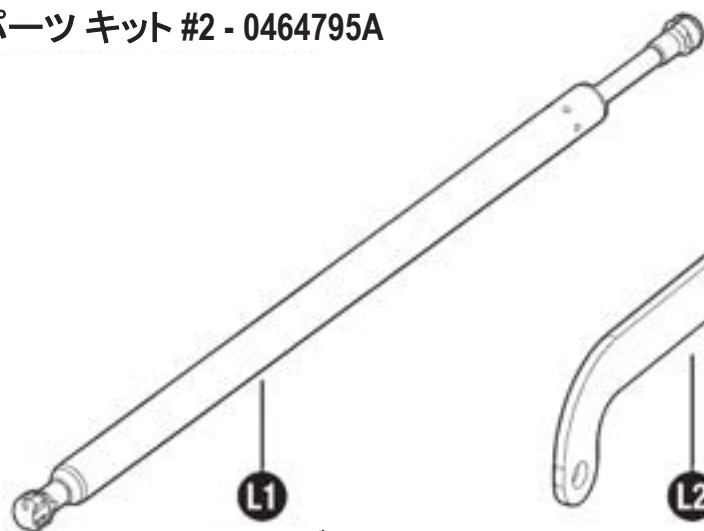
0511011
グロメット



E5

010272110
ルー
フ ブラケット
x2

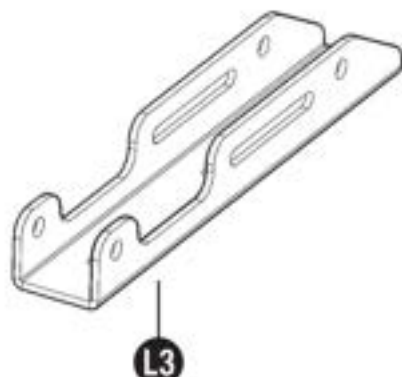
パーツ キット #2 - 0464795A



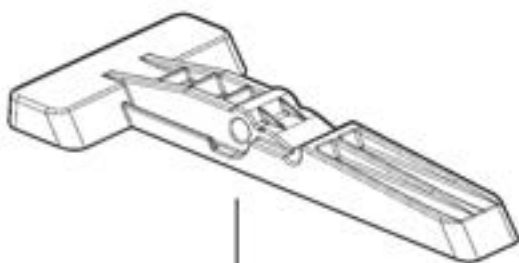
L1
0441038A ガ
ス ショック
x2



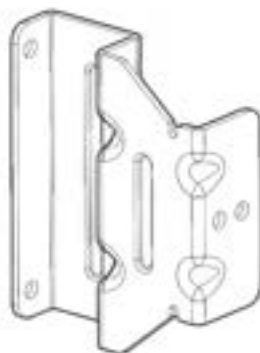
L2
1MPG00059
曲線サポート ブラケット
x5



L3
1MPG00060
スロット付きバー サポート
x3



L4
0102811P9
フリップ ダウン バー ラッチ

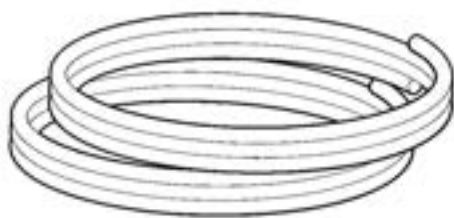


L5
1MPG00061
ガス ショック マウント
x4

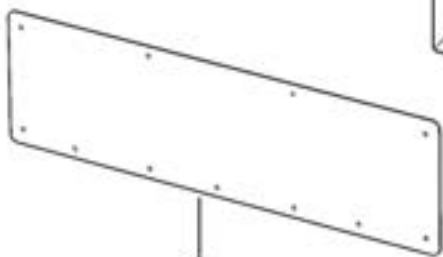


L6
1MPG00062
タイ ダウン ブラケット
x7

ウィンドウ キット - 0464789



W1
0441039
ウィンドウ ガスケット
x2



W2
0441037
オーニング ウィンドウ
x2

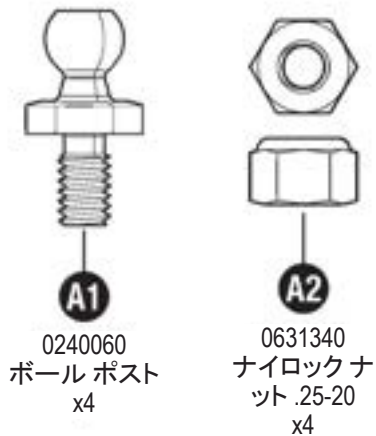


W3
0102810XX
窓 枠
x2

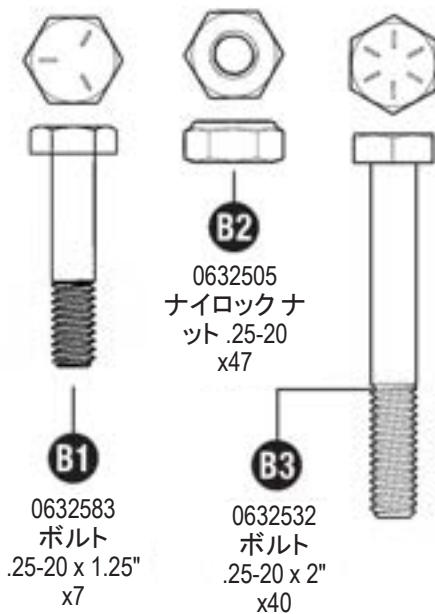
マスター ハードウェア バッグ - 0470003

ハードウェアは実際のサイズで表示されます (特に記載がない限り)。ハードウェアは余分に付属しています。
すべてが使用されるわけではありません。

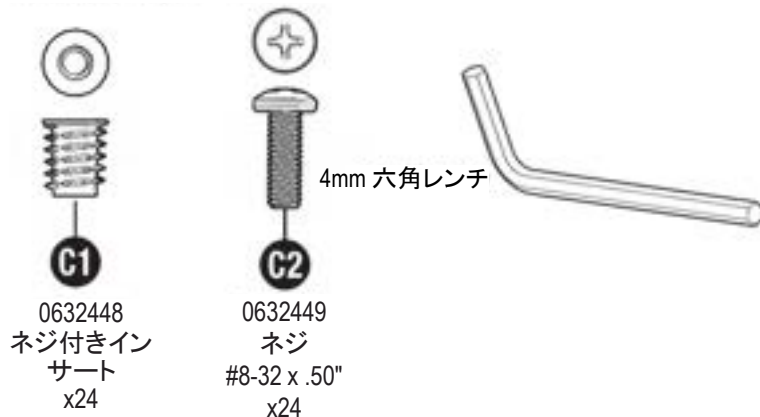
ハードウェア バッグ A - 0671328



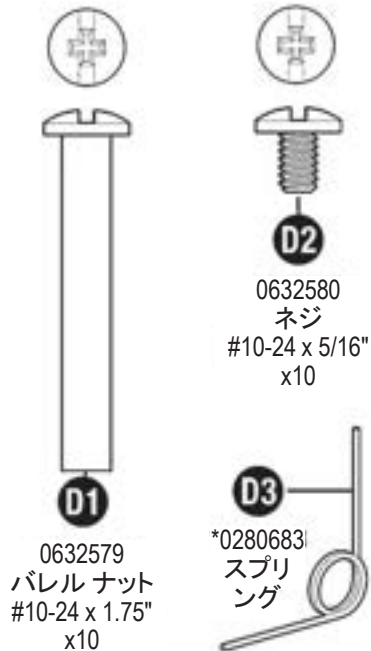
ハードウェア バッグ B - 0671329



ハードウェア バッグ C - 0671338



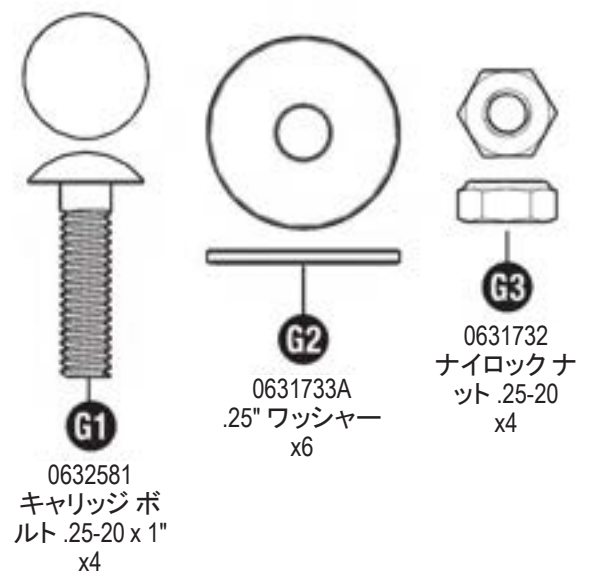
ハードウェア バッグ D - 0671330



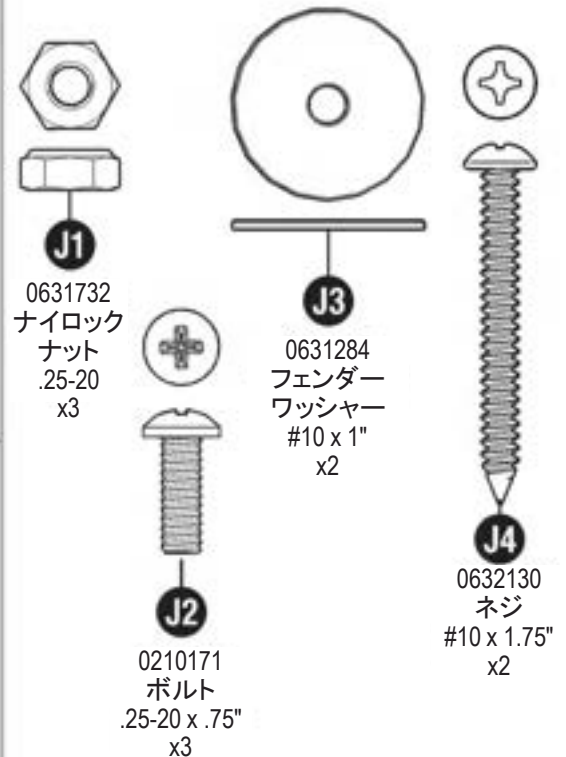
ハードウェア バッグ F - 0671327



ハードウェア バッグ G - 0671339



ハードウェア バッグ J - 0671331



敷地の準備とプラットフォームの構築

小屋キットに同梱されていない材料

重要:

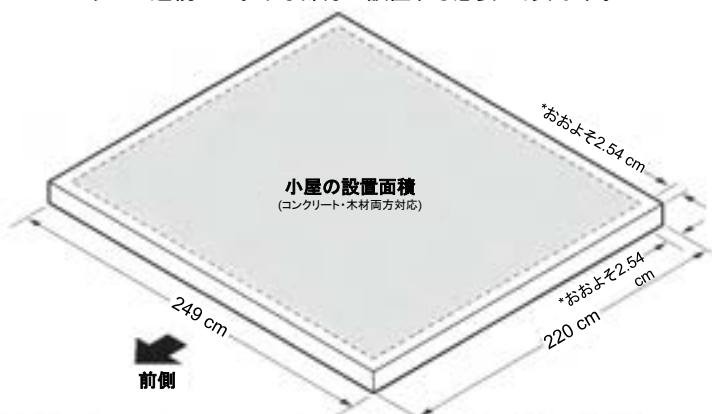
- この小屋には敷地の準備が必要です。小屋は、以下に説明しているように、適切に構築された、四角形の平坦で滑らかな水平の基礎の上に設置する必要があります。基礎が適切に構築されていないと、最終的には沈下が発生し、小屋に歪みや損傷が発生します。Suncast は、基礎工事の不備や不適切な組み立てにより損傷した部品や紛失した所有物の交換について責任を負いません。保証を受けるには、下記の指示に従って小屋を固定するための適切に構築された基礎が必要です。
- 示されているプラットフォームとスラブのサイズは、この小屋の最小サイズ要件です。小屋の周囲に接客や作業などのために追加のスペースが必要な場合、小屋の基礎のサイズをユーザーの要件に合わせてカスタマイズする必要があります。

敷地の準備

1. 基礎工事を開始する前または小屋を建てる前に、建築基準法や協定について、地方自治体に相談します。
2. 掘削作業を行う前に、地元の公共事業者にお問い合わせで、埋設されているケーブルやパイプなどの位置を確認します。
3. 設置に最も適した基礎の種類を決定します。基礎の表面は、四角形の平らで滑らかな水平である必要があります。基礎のオプションについては、以下のガイドラインに従ってください。
4. 次のように基礎を準備します。
 - 小屋内の過度の結露を防ぐために、基礎の上に防湿材を貼ることもできます。適切な防湿材については、地元の建築基準法に従ってください。
 - 排水されるように、基礎部分から外側に向かって地面に勾配を付ける必要があります。
 - 長期的な支持構造として、または表面を滑らかにするために、パティオ ブロックや敷石などの材料でできた表面に小屋を設置することは認められません。これらを使用すると保証が無効になります。

コンクリート スラブ

- 厚さが 10 cm 以上のスラブ（鉄筋コンクリートで造られた構造床）を作ります。
- 補強バーの使用をお勧めします。
- 基礎が以下に指定されているサイズよりも大きい場合、小屋はコンクリートスラブの連続した水平な部分に設置する必要があります。



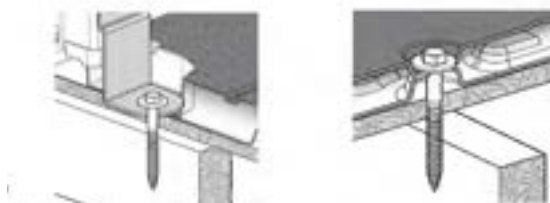
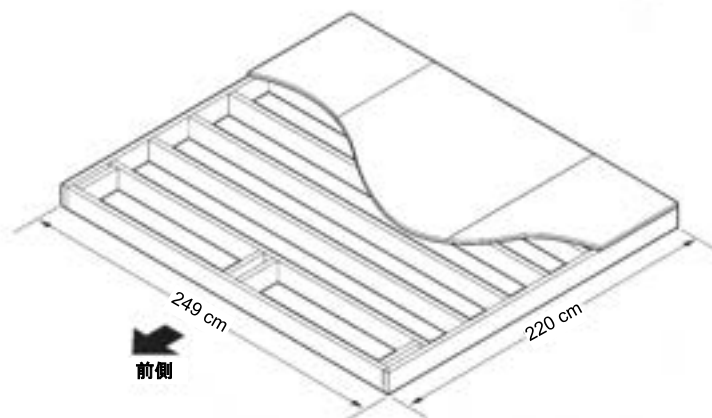
*表示されている寸法は、小屋に適切に収まる最小の寸法です。

小屋の組み立てが完了したら、床パネルを基礎に固定する必要があります。

- 小屋の床パネルには、アンカーまたはラグ ネジを使用して小屋を基礎に固定するための小さな平らな部分があります。これらの平らな部分には、小屋を基礎に固定する前に、ハードウェアを取り付けられるようにクリアランス穴を開けておく必要があります。
- 小屋は、1 インチのワッシャー付きの 3/8 インチ (9.5mm) の石材アンカーを使用して、連続したコンクリート スラブに固定する必要があります (ハードウェアは付属していません)。このモデルには 8 個の石材アンカーが必要です。

木製プラットフォーム

- エクステリア用の木材を使用します。
- 木製プラットフォームをデッキのフットینگ ブロックまたはフル フットینگの上に設置します。



壁アンカー セクションの例 床アンカー セクションの例

- 小屋は、1/4 インチ - 3/8 インチ (6.4 - 9.5mm) x 3 インチ (76.2mm) のラグ ネジと 1 インチ (25.4mm) のワッシャーを使用して木製のプラットフォームに固定する必要があります (ハードウェアは付属していません)。このモデルには 8 本のラグ ネジが必要です。

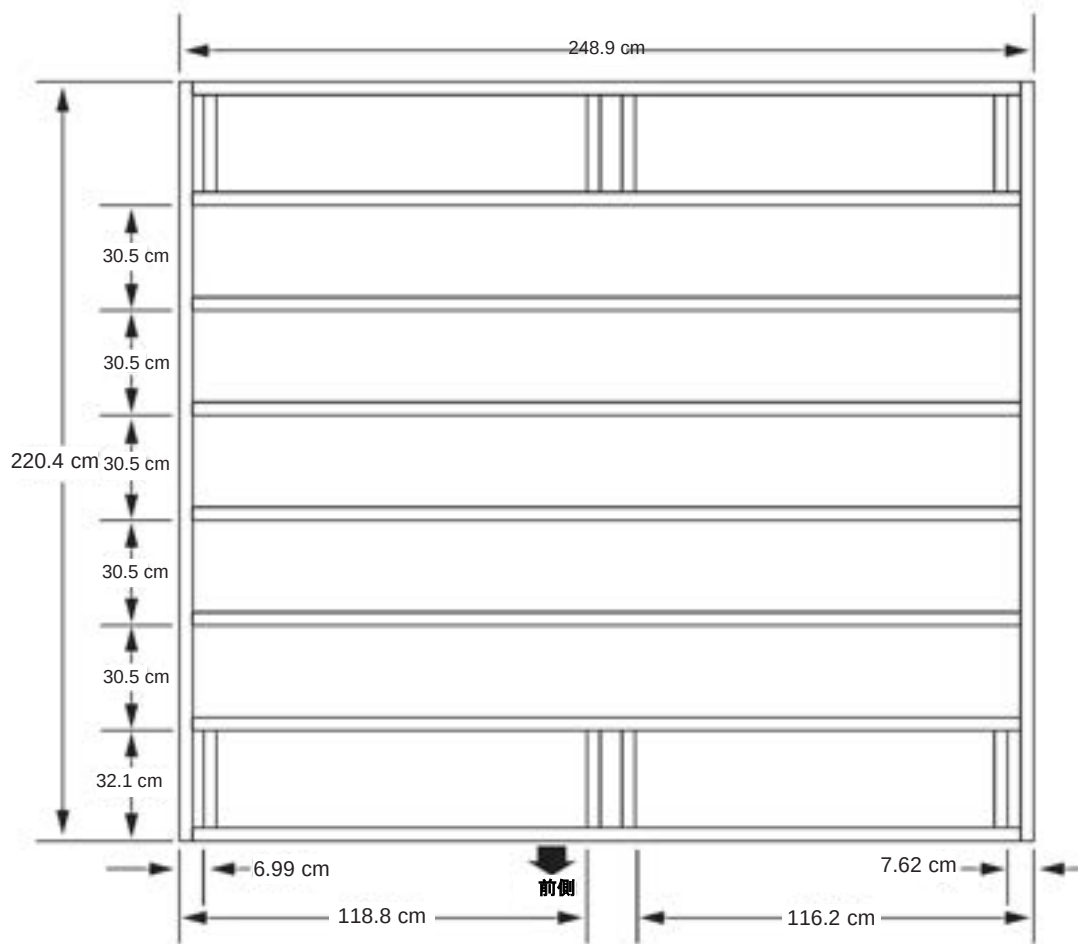
注記: 小屋の床の固定位置は、下部構造のレイアウトに合わせて設計されています。ラグ ボルトが下部構造に確実にハマるように、床パネルの前側がプラットフォーム上で正しい方向になっていることを確認してください。

敷地の準備とプラットフォームの構築 (続き)

小屋キットに同梱されていない材料

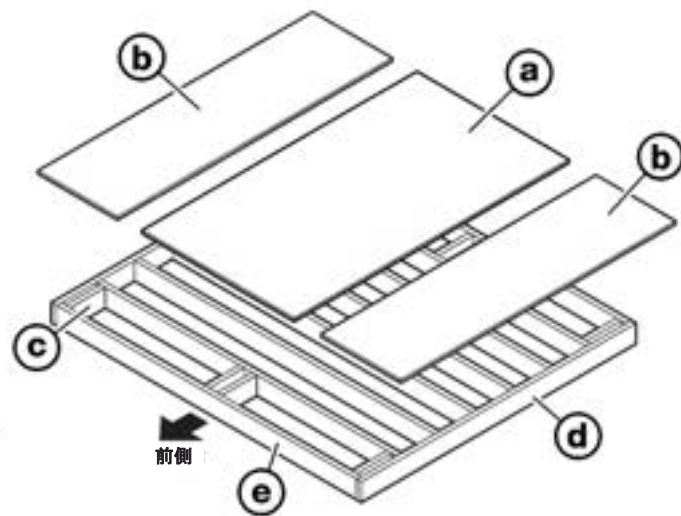
木製プラットフォームの重要な間隔

- すべての重要な間隔の測定値を慎重に確認してください。



木製プラットフォーム材料リスト

部品	数量	サイズ
a	1	121.9 cm x 220.4 cm x 1.91 cm
b	2	63.5 cm x 220.3 cm x 1.91 cm
c	8	5.08 cm x 15.24 cm x 28.26 cm
d	2	5.08 cm x 15.24 cm x 220.3 cm
e	8	5.08 cm x 15.24 cm x 241.3 cm



- 5.08 cm x 15.24 cm の寸法の木材は、実際には記載されているサイズより 1.27 cm 小さいため、ご注意ください。記載されている寸法は、標準的な実寸が 3.81 cm x 13.97 cm である木材を前提としています。木材の寸法は異なる場合があります。切断する前に木材の寸法を確認し、所定の寸法になるように適切な調整を行います。カット サイズは実寸サイズとなります。

重要: 電動ドリルを使用して製品を組み立てる場合は、電動ドリルのガイドラインに関する注意事項を参照してください。過剰なトルクによる部品の損傷は、Suncast の限定保証の対象外となります。この商品の一部にセルフ タッピング ネジを使用しています。プラスチックにはあらかじめ穴が開けられていません。ネジを締め始めるときに、ある程度の圧力が必要になる場合があります。ネジがプラスチックを貫通すると、軽く締められるようになります。

事前組み立て - 通気口と窓

必要なハードウェア/スチール キット



1

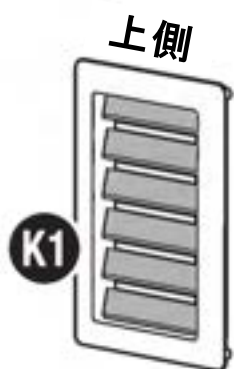


(K1) x2

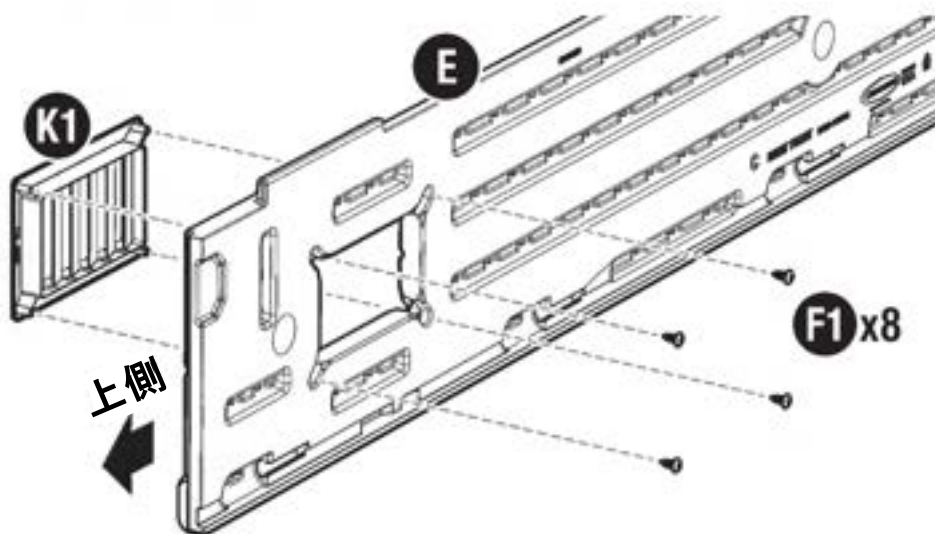
(F1) x8

図のように、4 本のネジ (F1) を使用して、1 つの前面通気口 (K1) を左前部 (E) に取り付けます。

残りの前面通気口 (K1) についても、右前部 (C) に同じ手順で取り付けます。



重要: 方向付けが重要



2



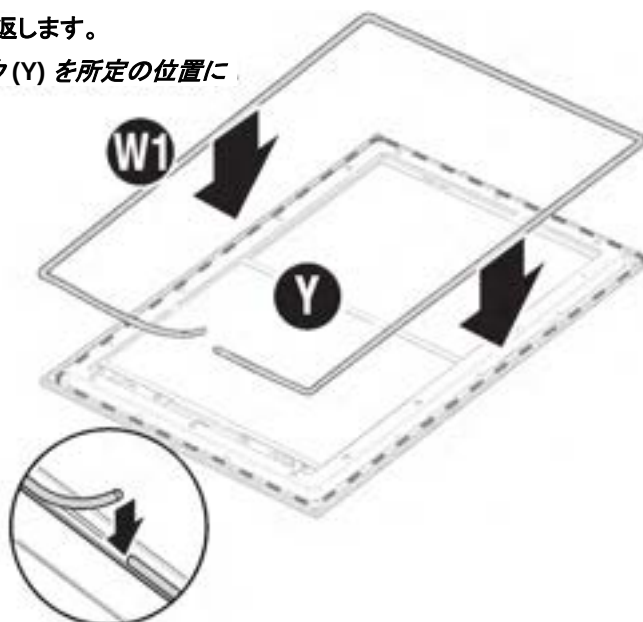
(W1) x2

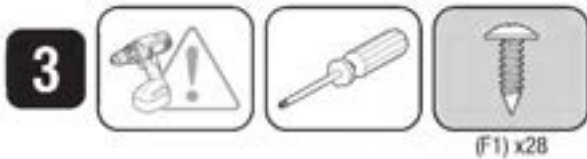
1 つのウィンドウ (Y) を下向きにして平らな面に置きます。下部中央から始めて、図のようにガスケット 1 個の端 (W1) をガスケット チャネルに押し込みます。取り付け時にガスケットを伸ばさないでください。

2 番目のウィンドウ (Y) でも繰り返します。

次のステップのために、ウィンドウ (Y) を所定の位置に維持します。

注意: 余分なガスケットはハサミで切り取ってください。

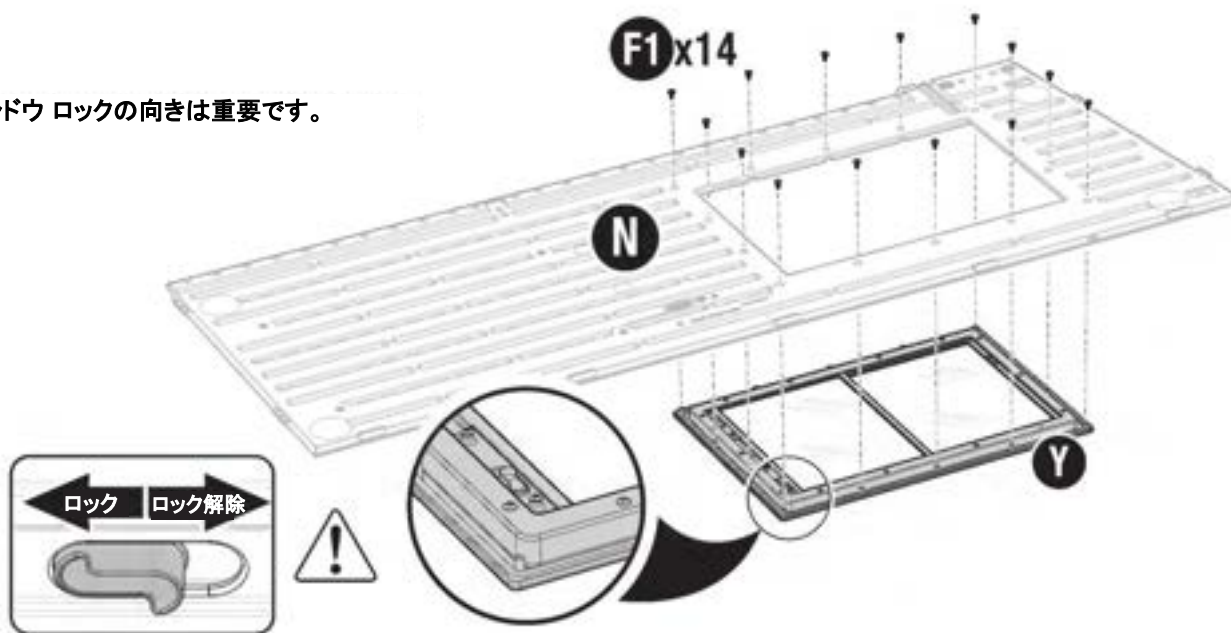




1つの前面ウィンドウ (Y) を下向きにし、右前側 (N) をウィンドウの上から図のように配置します。ウィンドウ (Y) が所定の位置に収まるまで、右前側 (N) を下ろします。ウィンドウを 14 本のネジ (F1) で固定します。

残りのウィンドウ (Y) についても、左前側 (F) に同じ手順で取り付けます。

重要: ウィンドウ ロックの向きは重要です。



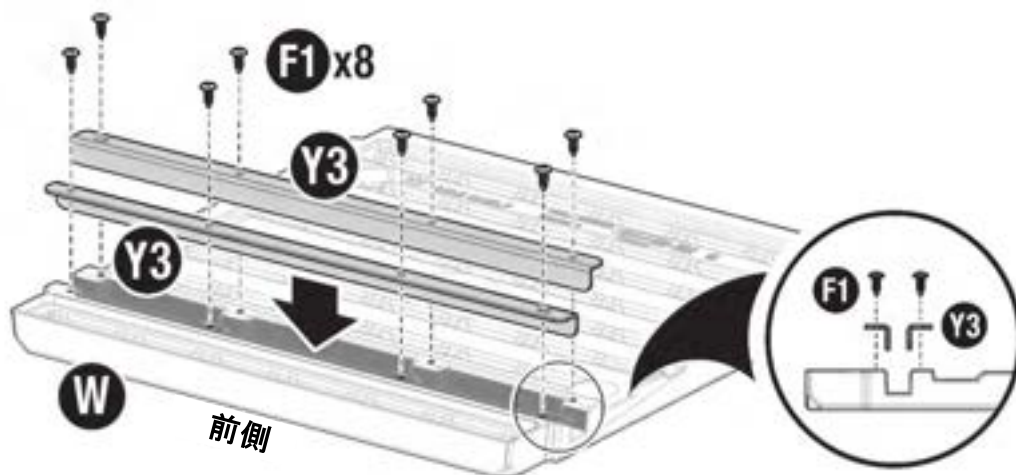
組み立て前 - 棚

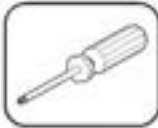
必要なハードウェア/スチール キット

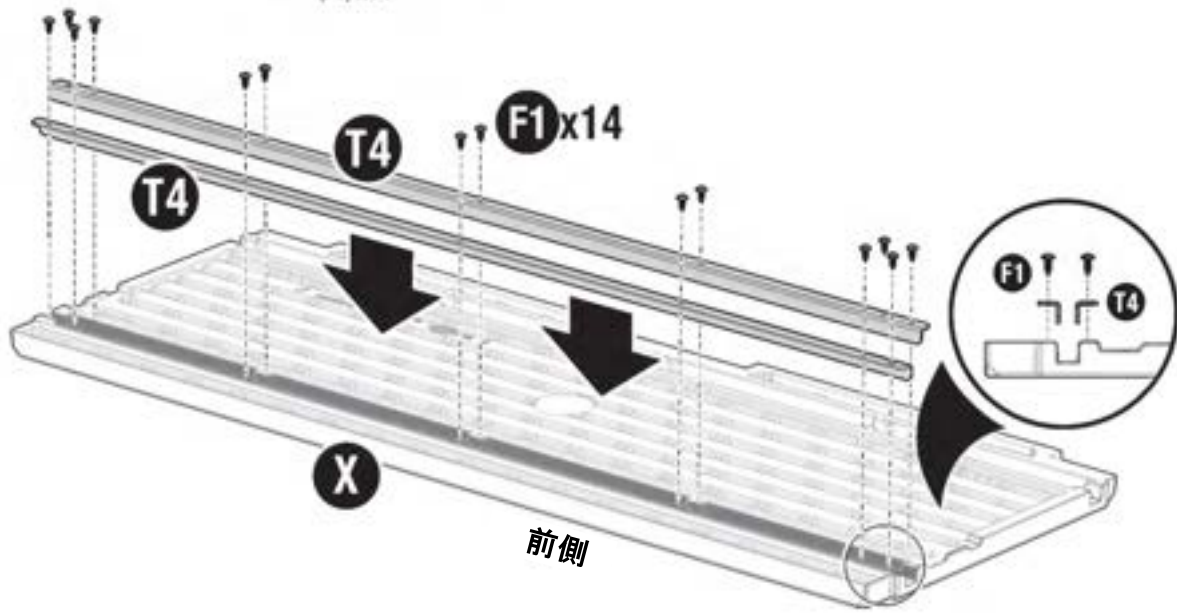


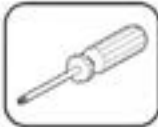
1つのサイドシェルフ (W) を滑らかな面を下に向けて配置します。図のように、それぞれ 4 本のネジ (F1) を使用して、2つの L ブラケット (48.5 cm、Y3) を固定します。

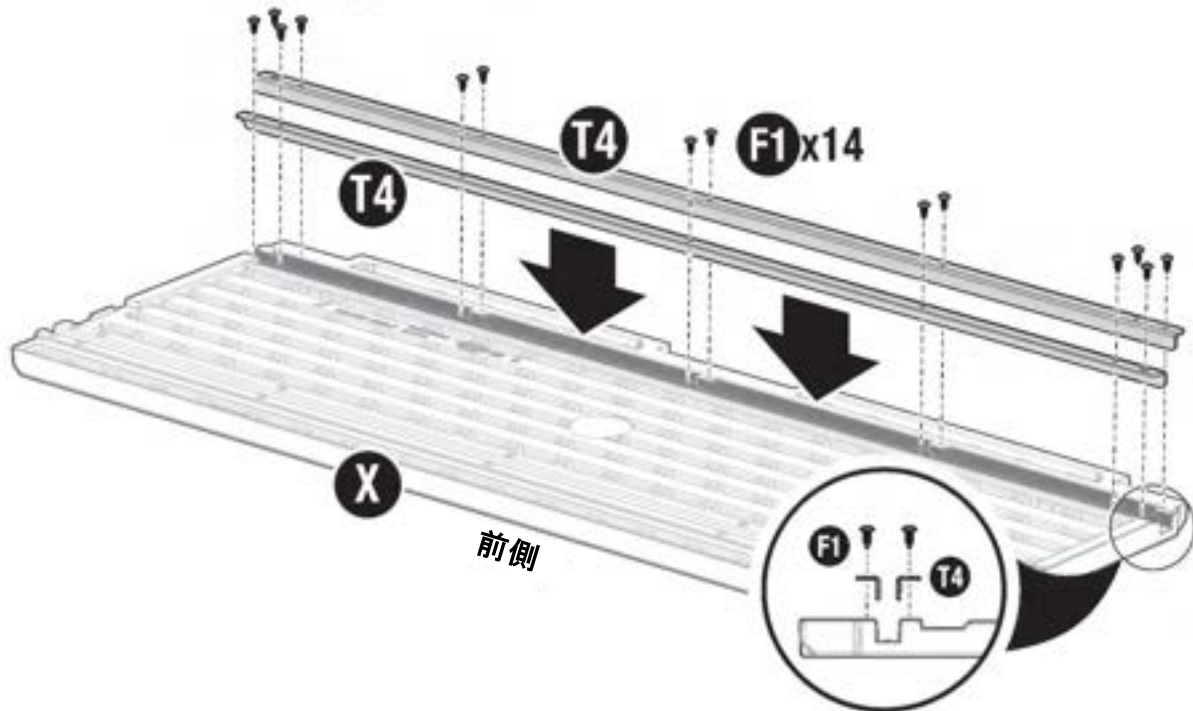
残りのサイドシェルフ (W) でも繰り返します。



- 5**
- 
- 
- 
- (F1) x14
- センター シェルフ (X) を滑らかな面を下に向けて配置します。図のように、それぞれ 7 本のネジ (F1) を使用して、2 つの L ブラケット (136 cm、T4) をシェルフの前端 (X) に固定します。



- 6**
- 
- 
- 
- (F1) x14
- 図のように、それぞれ 7 本のネジ (F1) を使用して、2 つの L ブラケット (136 cm、T4) をセンター シェルフの後ろ端 (X) に固定します。



事前組み立て - 内部カウンタートップ

必要なハードウェア/スチール キット



7

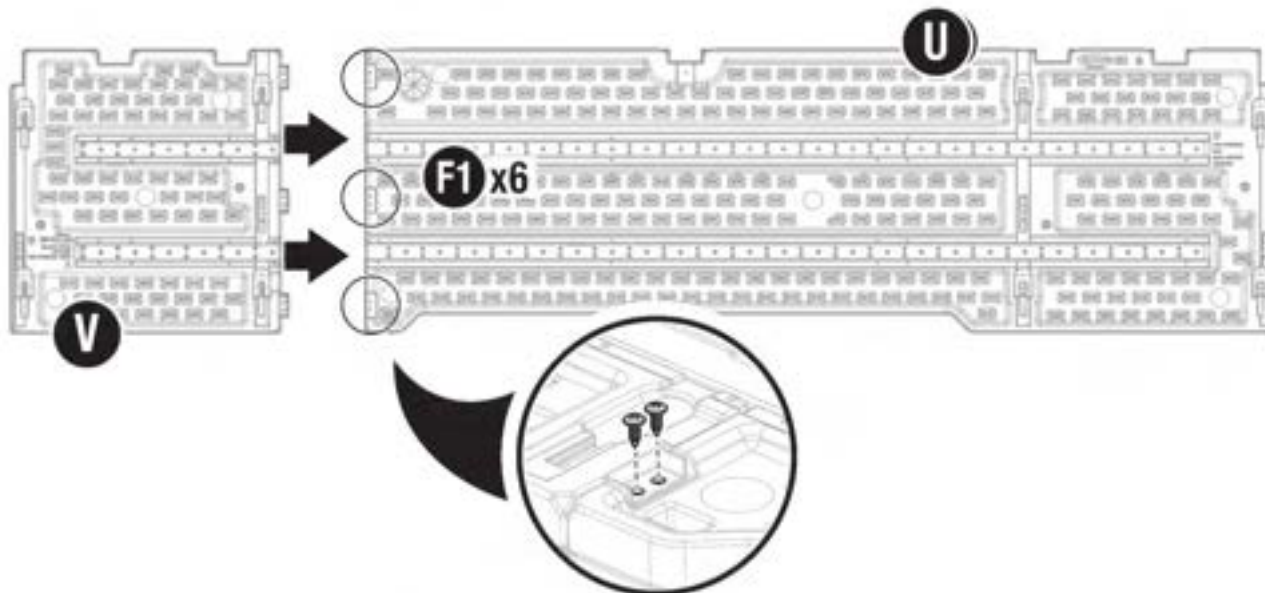


(F1) x6

図のように、右内部カウンタートップ (V) と左内部カウンタートップ (U) をスライドさせて合体させます。

6 本のネジ (F1) を使用して固定します。

次の手順のために、部品を所定の位置に置いたままにしてください。

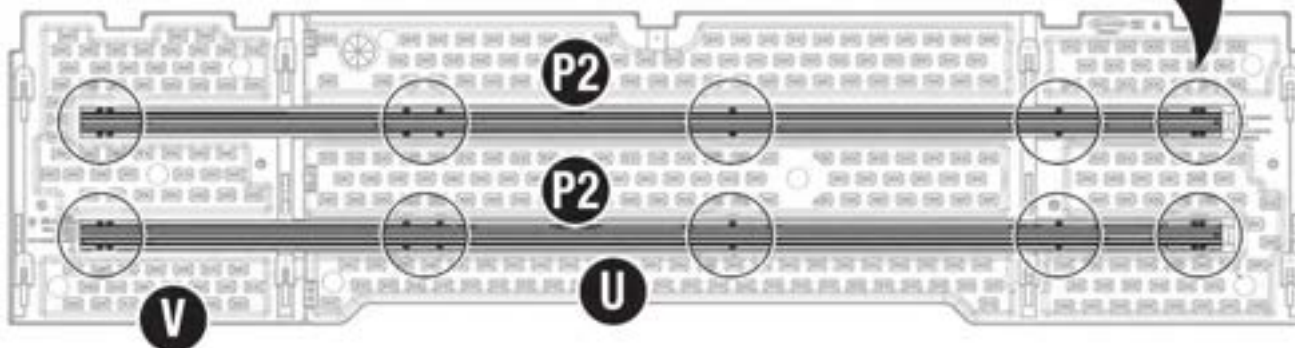
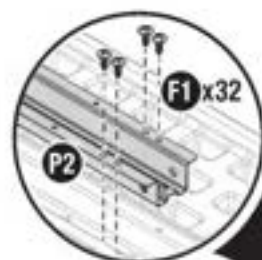


8



(F1) x32

それぞれ 16 本のネジ (F1) を使用して、2 本のトラス脚 (211 cm、P2) を、指定されたチャンネルに固定します。



事前組み立て - オーニング

必要なハードウェア/スチール キット



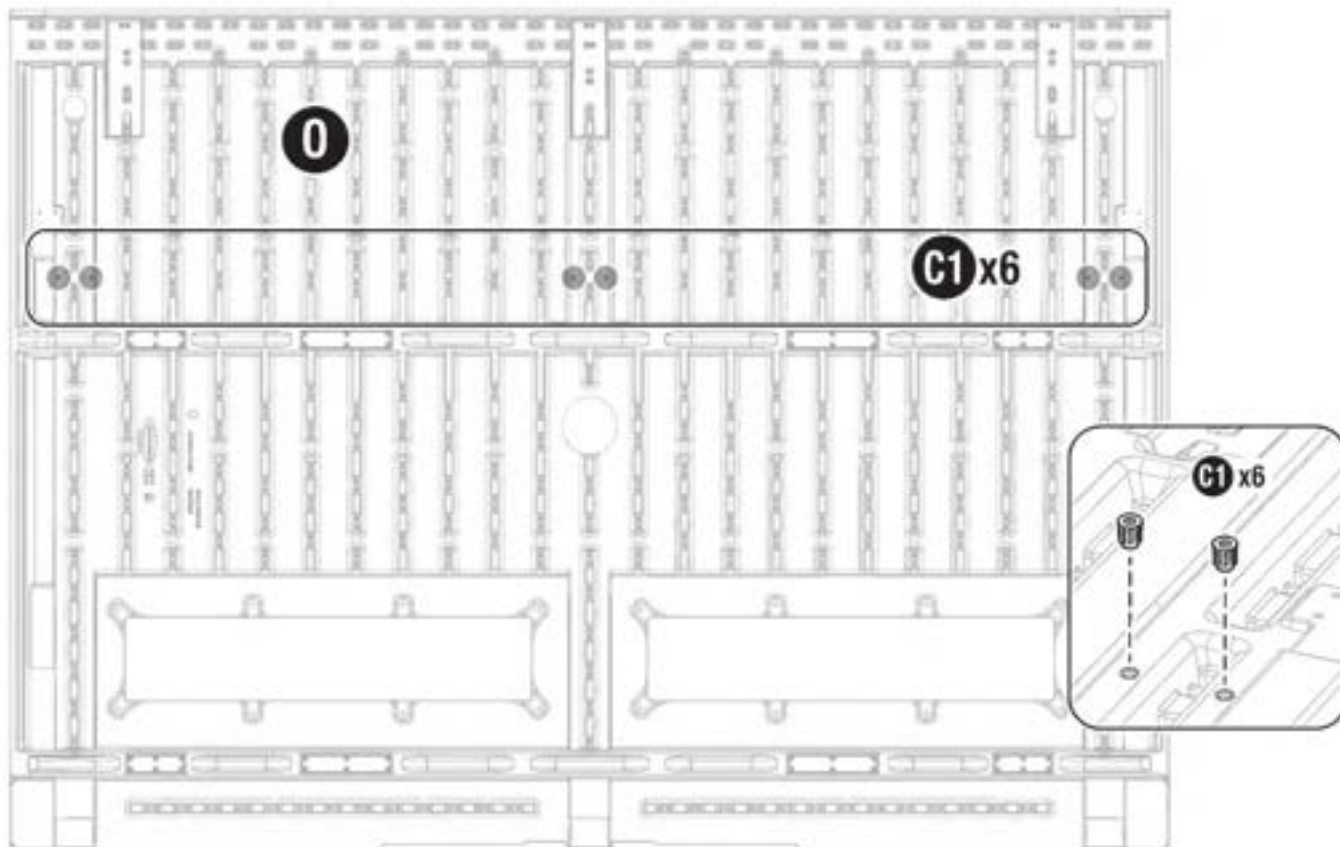
9



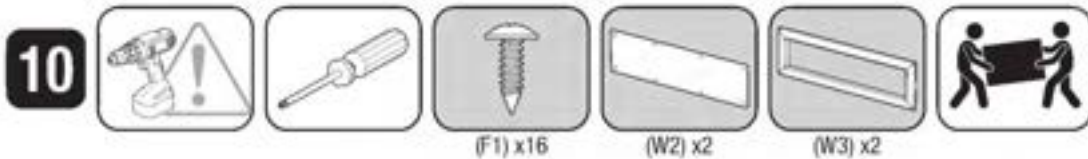
C1 x6

図のように、オーニング (O) を平らな面に置きます。6 個のネジ付きナット インサート (C1) を指定の場所に取り付けます。

注意: ナット インサートは、オーニング (O) の表面と面一になると固定されます。

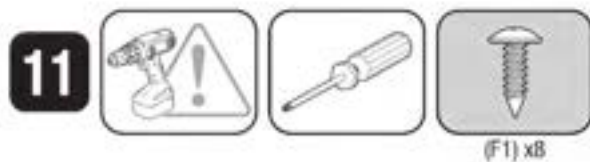
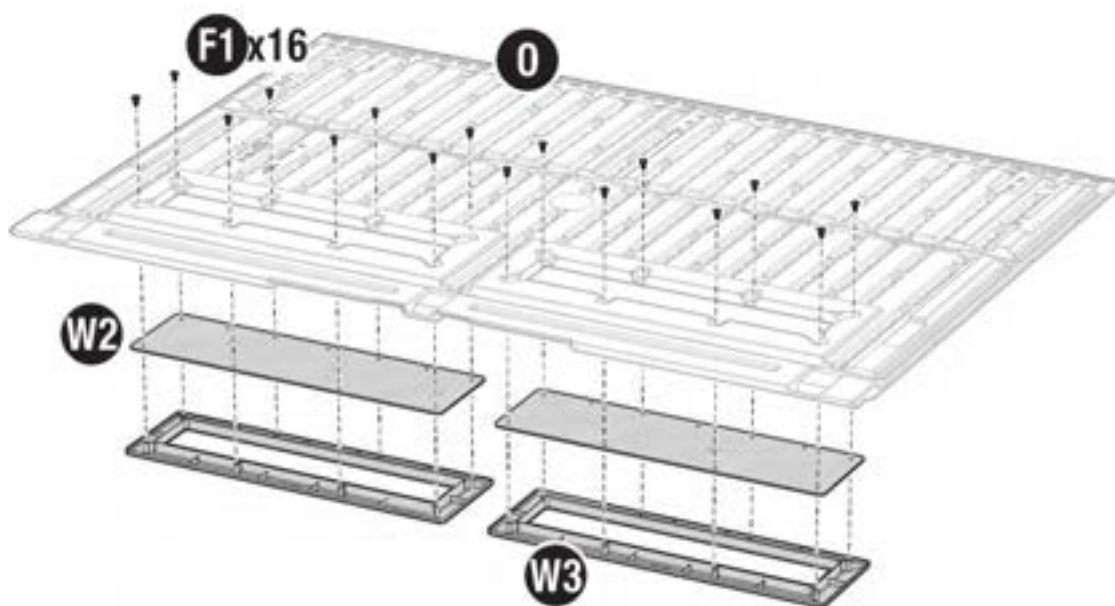


このセクションの残りの手順のために、オーニング (O) を所定の位置に置いたままにしてください。

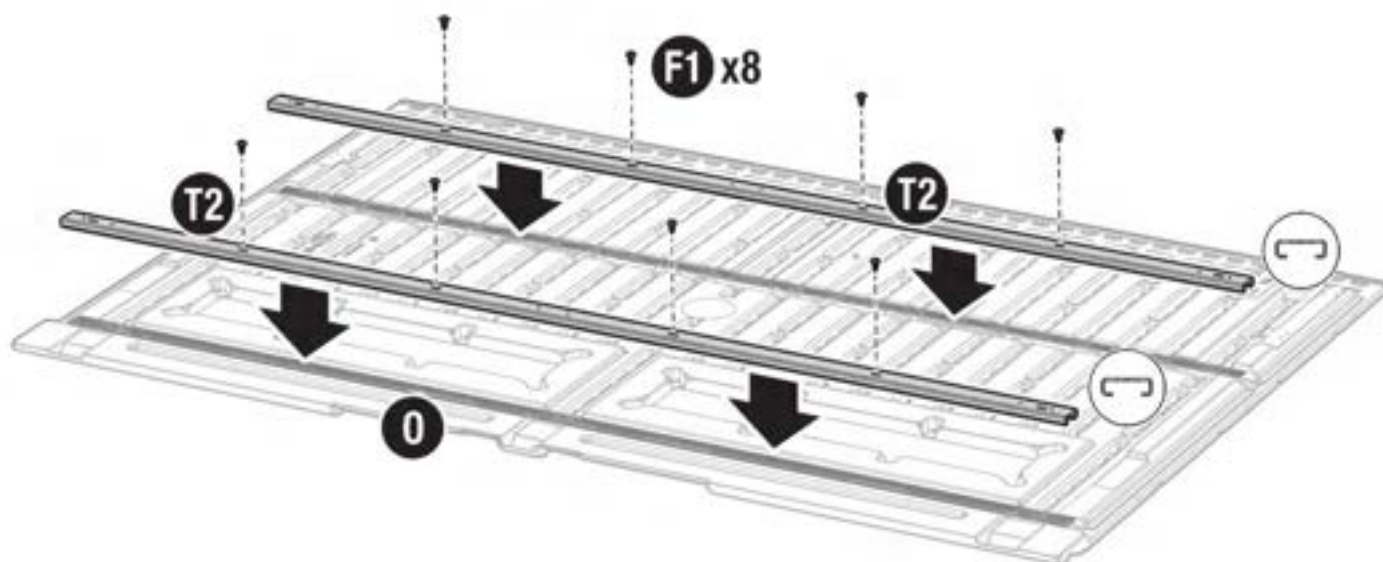


2つの窓枠 (W3) を、日よけ (O) の前に下向きに置きます。各フレームに1つのウィンドウ (W2) を挿入します。

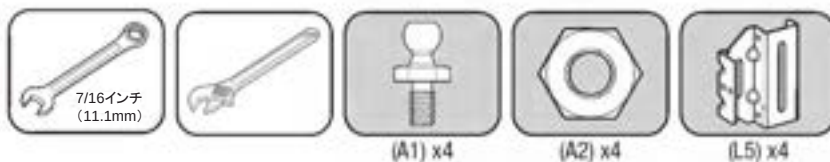
他の人の助けを借りて、オーニング (O) を持ち上げて、切り抜き部分をウィンドウ アセンブリ (W2、W3) に合わせて、所定の位置に下ろします。指定された場所に16本のネジ (F1) で固定します。



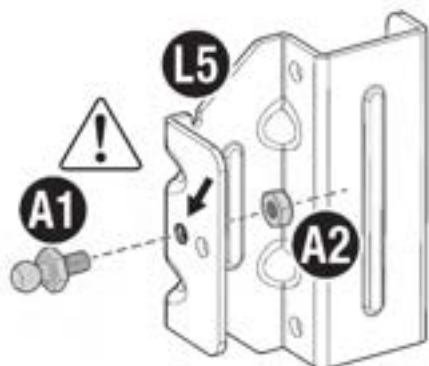
図のように、それぞれ4本のネジ (F1) を使用して、2つのヘッダービーム (177 cm、T2) を固定します。



12



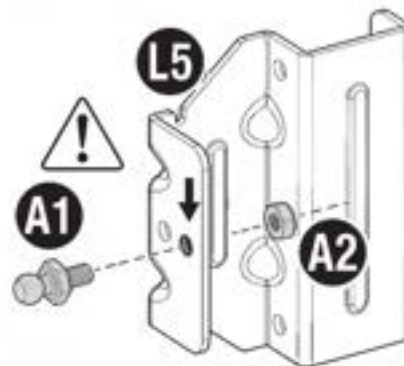
重要: 方向は非常に重要です。
正しい配置については矢印を参照してください。



アダプター構成 (x2)

アダプター構成: 平らな面に 1 つのガス ショック マウント (L5) を図のように置きます。1 つのナット (A2) を使用して、1 つのボールポスト (A1) をアダプター構成用に指定された穴に固定します。

このプロセスを繰り返して、2 つ目のアダプター構成を完成させます。アダプター構成は後で組み立てに使用するため、それまで脇に置いておきます。



オーニング構成 (x2)

オーニング構成: 平らな面に 1 つのガス ショック マウント (L5) を図のように置きます。1 つのナット (A2) を使用して、1 つのボールポスト (A1) をオーニング構成用に指定された穴に固定します。

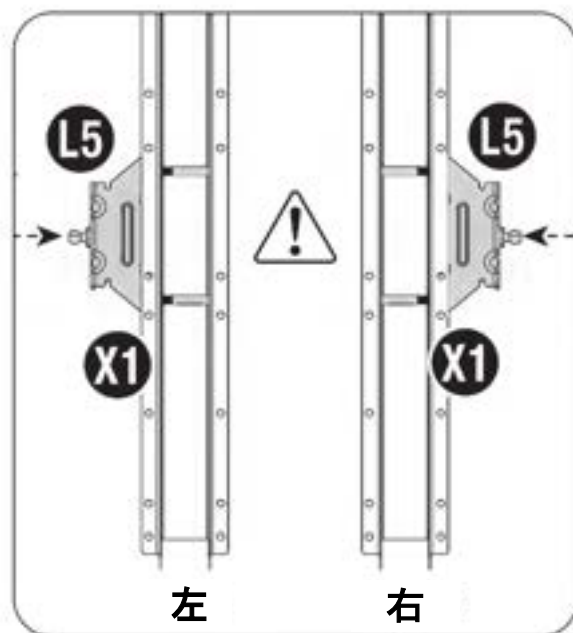
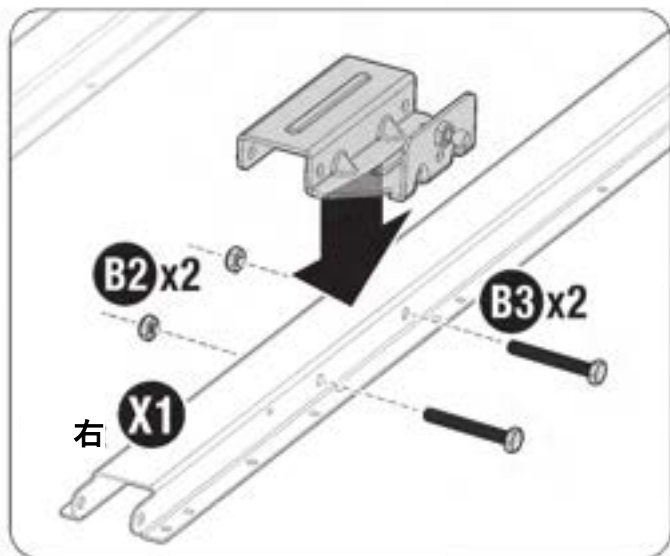
このプロセスを繰り返して、2 つ目のオーニング構成を完成させます。次の組み立て手順では、オーニングの構成が必要です。

13



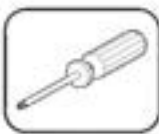
図のように、2 つのサイド アダプター (85.4 cm, X1) を平らな面に置きます。1 つのオーニング構成を 2 本のボルト (B3) とナット (B2) で、各サイド アダプター (X1) に固定します。

重要: 方向は非常に重要です。



次の手順のために、今組み立てた部品を手元に置いたままにしてください。

14

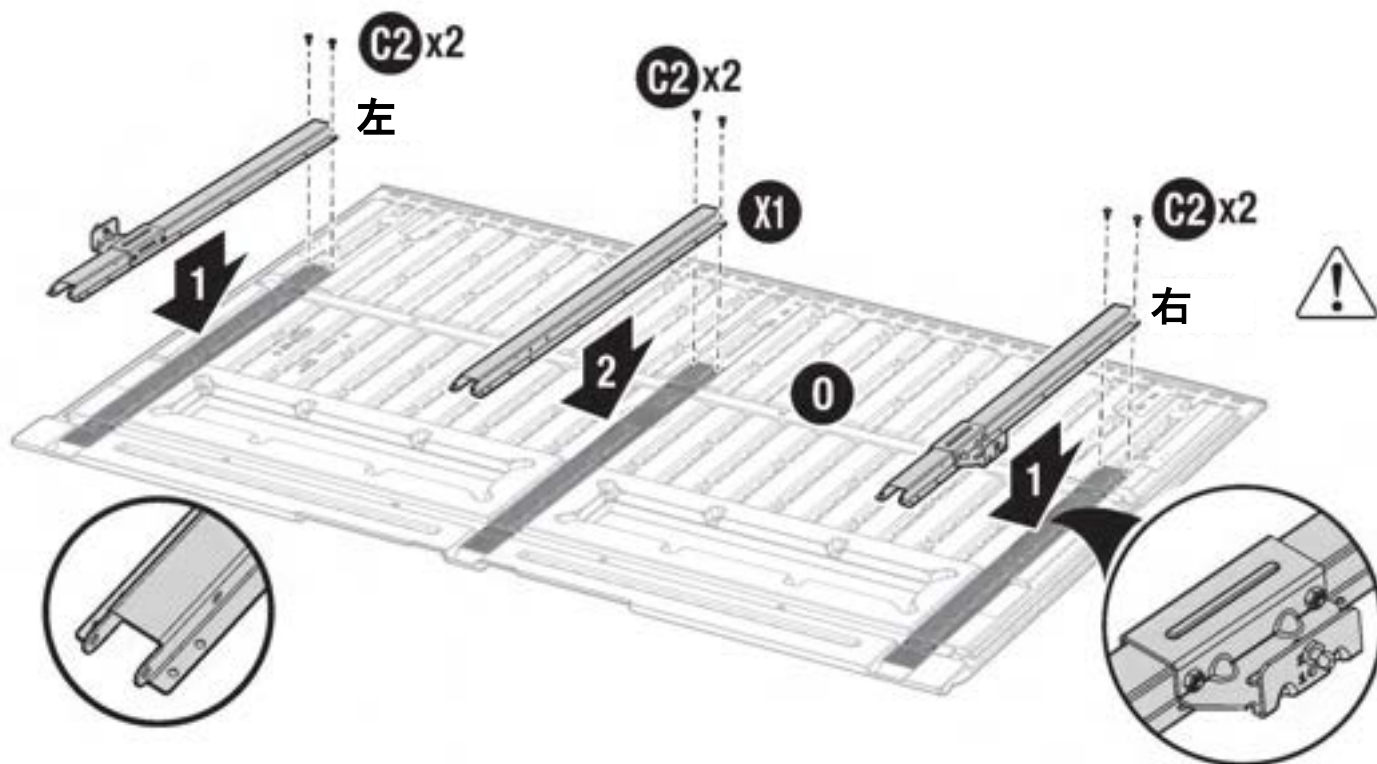


(C2) x6

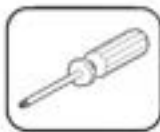
それぞれ 2 本のネジ (C2) を使用します。図のように、前の手順で組み立てた構成をオーニング (O) の左側と右側に固定します。

追加のネジ 2 本 (C2) を使用して、残りのサイド アダプター (85.4 cm、X1) を固定します。

重要: 方向は非常に重要です。

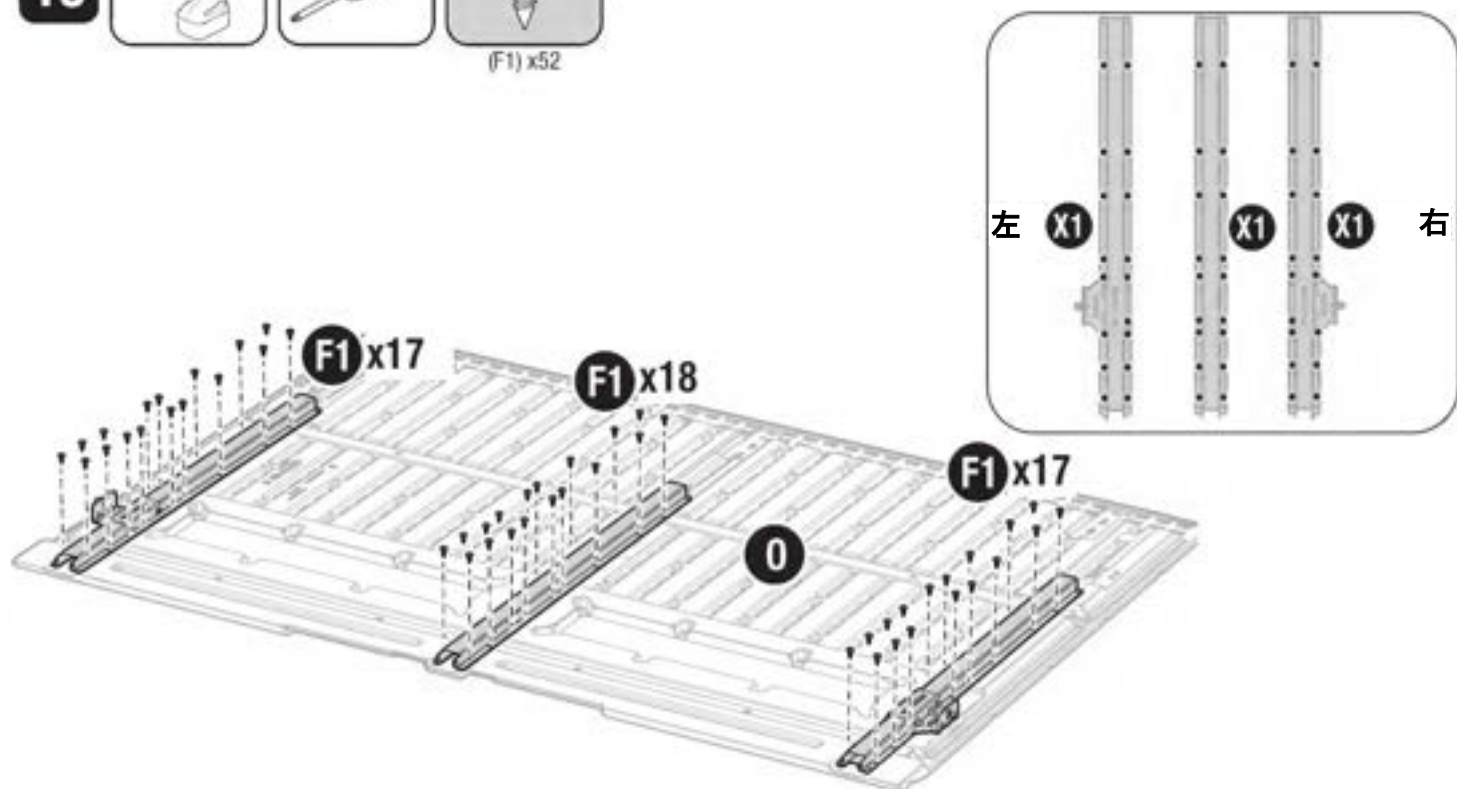


15



(F1) x52

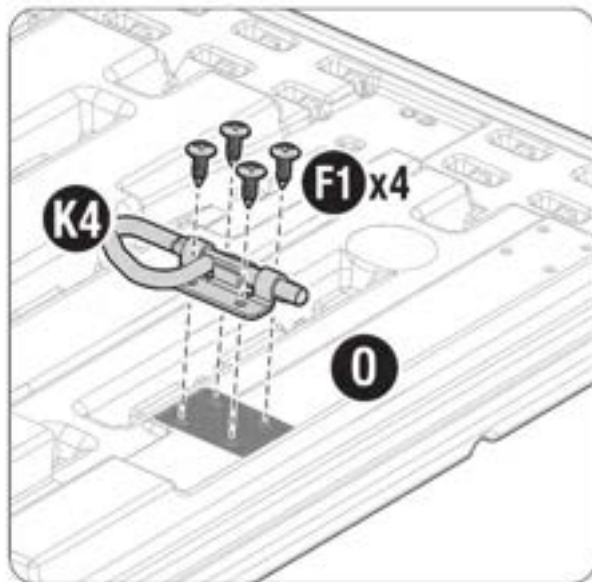
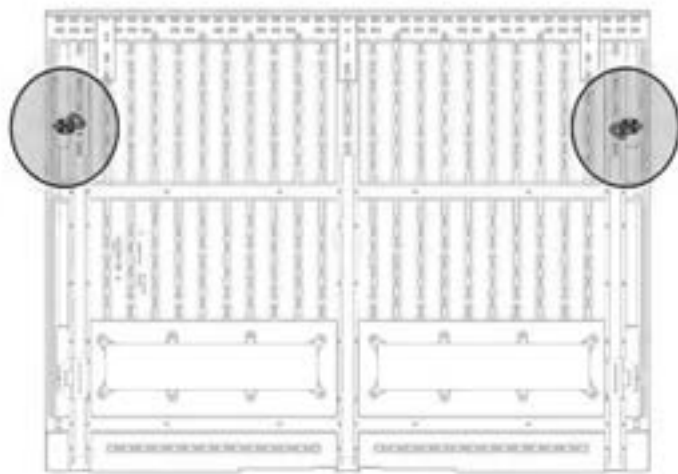
合計 52 本のネジ (F1) を使用して、前の手順で組み立てたアダプターを以下に指定された場所にさらに固定します。



16



それぞれ 4 本のネジ (F1) を使用して、2 つの D リング (K4) をオーニング (O) に固定します。



事前組み立て - 下部前面

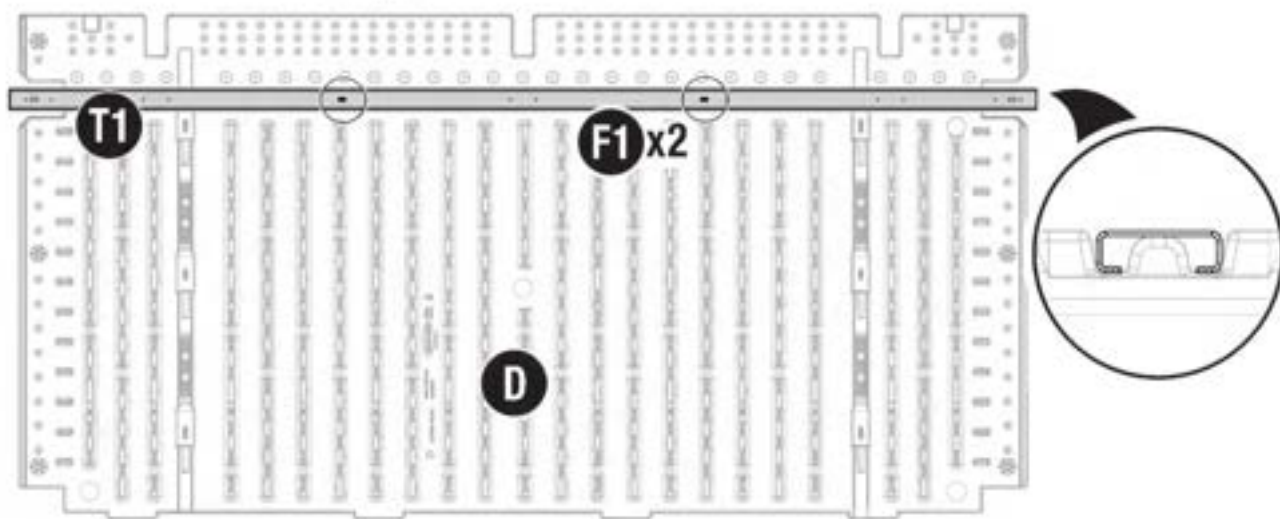
必要なハードウェア/スチール キット



17



下部前面 (D) を平らな面に置きます。2 本のネジ (F1) を使用して、ヘッダー ビーム (208 cm、T1) を指定された場所に固定します。



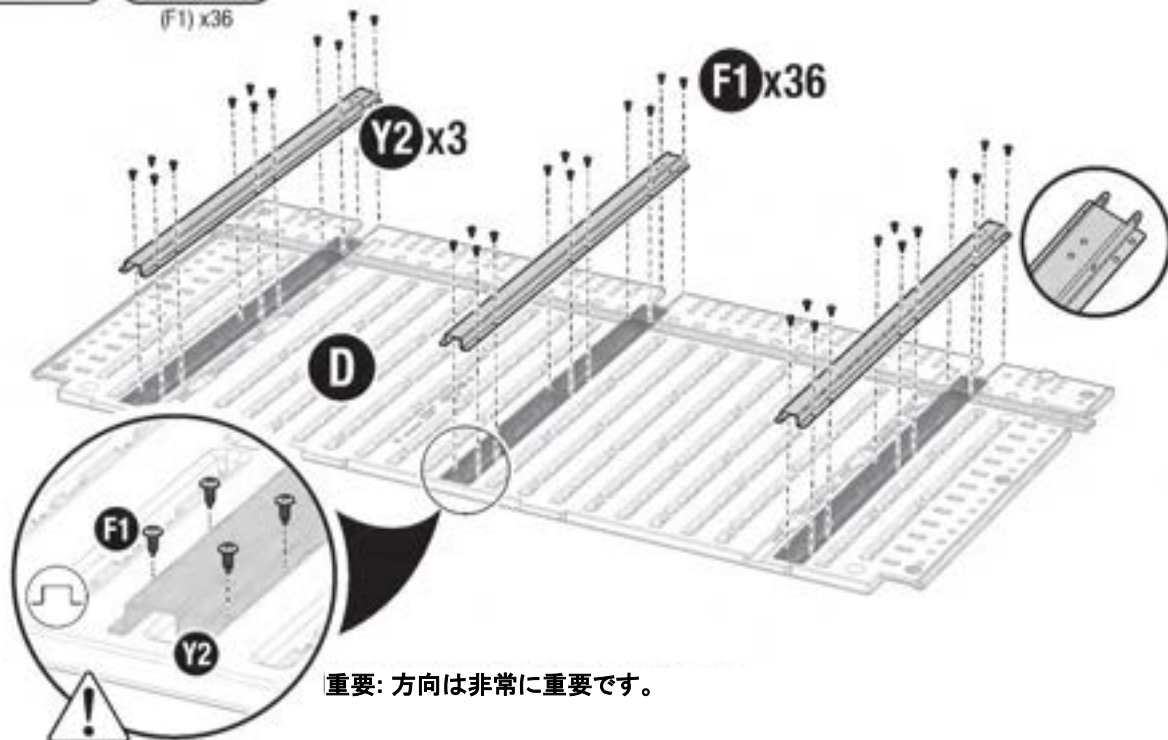
このセクションの次の手順のために、下部前面 (D) を所定の位置に保持します。

18



(F1) x36

それぞれ 12 本のネジ (F1) を使用して、3 つのサイド アダプター (Y2 x3、Y2) を図のように固定します。



重要: 方向は非常に重要です。

事前組み立て - バートップとバー サポート

必要なハードウェア/スチール キット



キット X

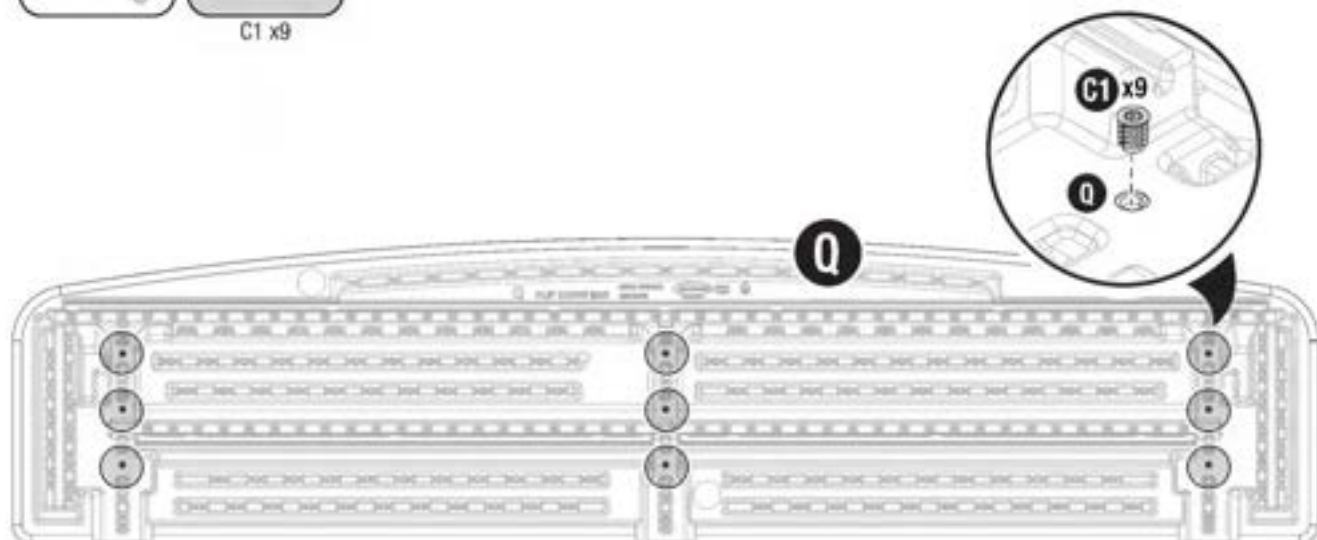
キット T

19



C1 x9

バートップ (Q) を平らな面に置きます。指定された場所に 9 個のネジ付きナット インサート (C1) を取り付けます。ナット インサート (C1) は、バートップ (Q) の表面と面一になると固定されます。

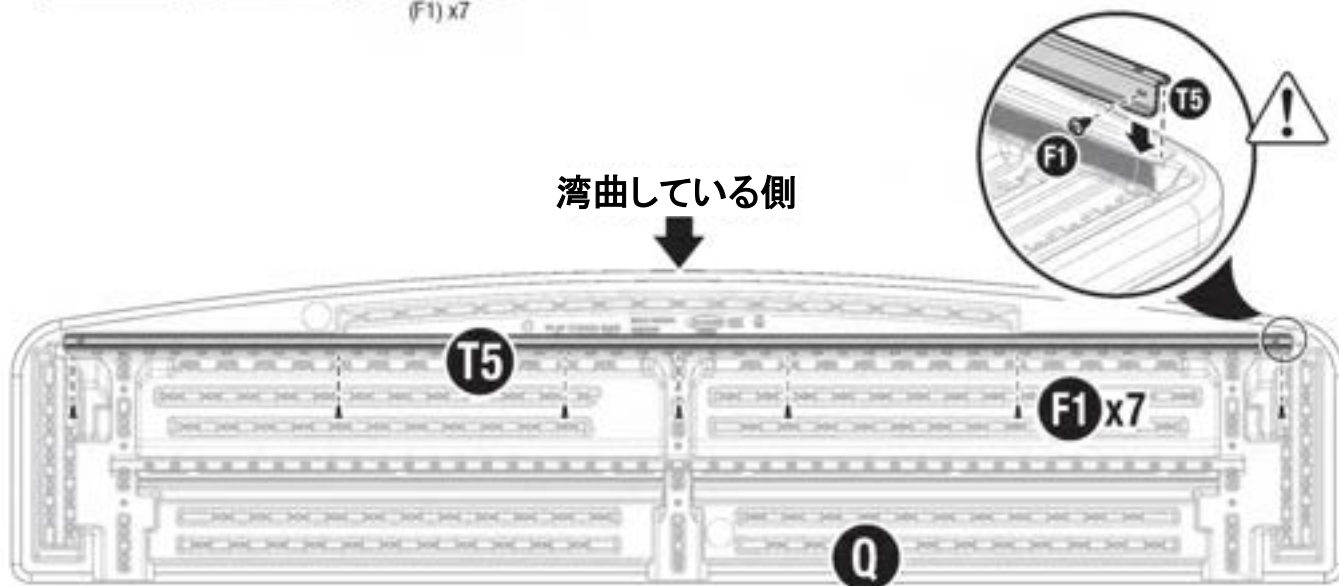


このセクションの次の手順のために、バートップ (Q) を所定の位置に置いたままにしてください。

20



7本のネジ (F1) を使用して、1本の S レール (165 cm、T5) を固定します。
重要: S レール (T5) はチャンネルに完全に装着されている必要があります。

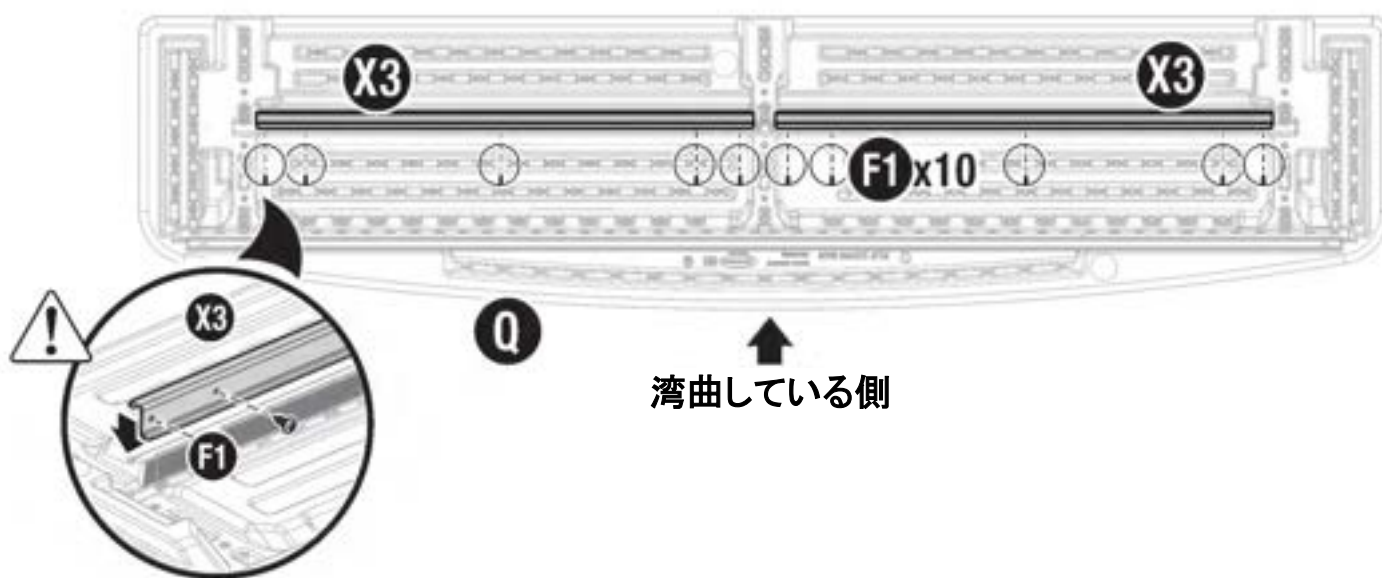


21



図のように、それぞれ 5 本のネジ (F1) を使用して、2 つの S レール (71.1 cm、X3) を固定します。

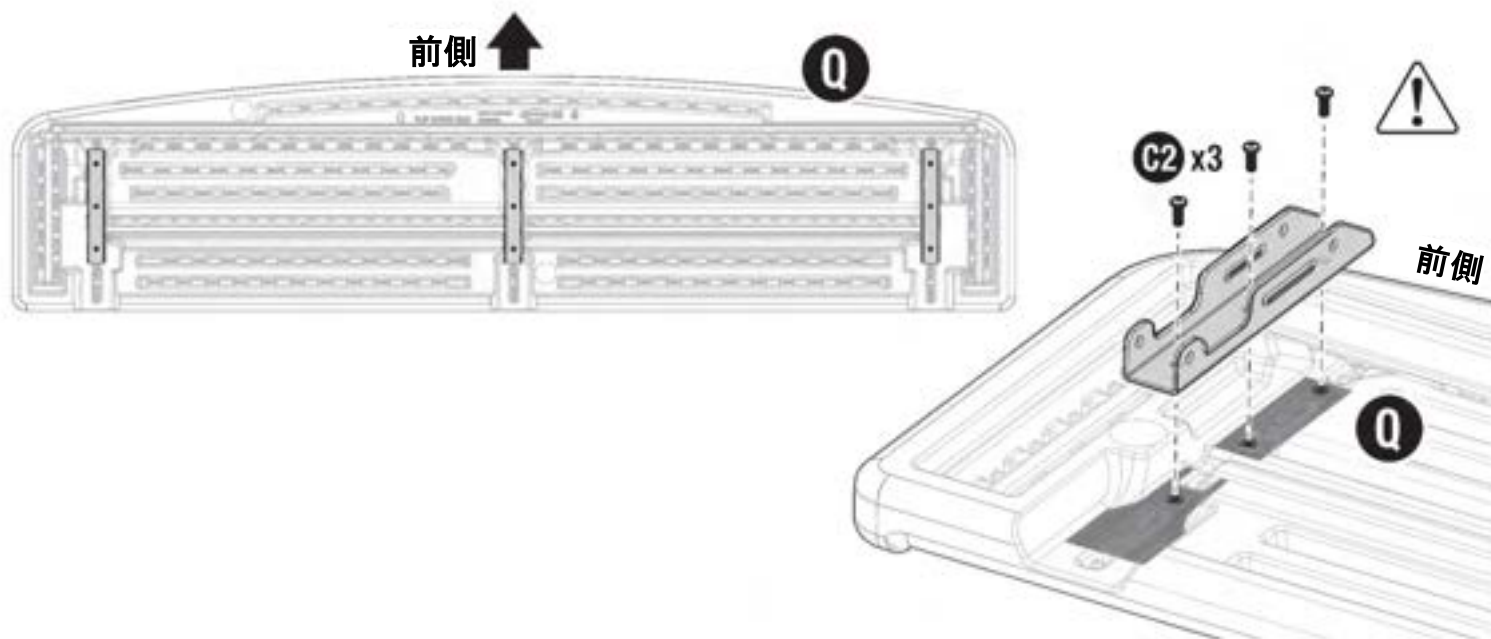
重要: S レール (X3) はチャンネルに完全に装着する必要があります。



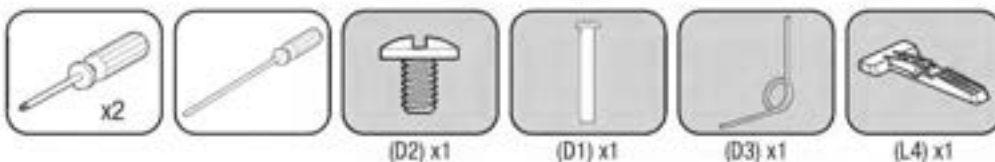
22



それぞれ 3 本のボルト (C2) を使用して、3 つのスロット付きブラケット (L3) をバー上部 (Q) の指定された場所に固定します。**重要: スロット ブラケット (L3) の向きは重要です。**



23



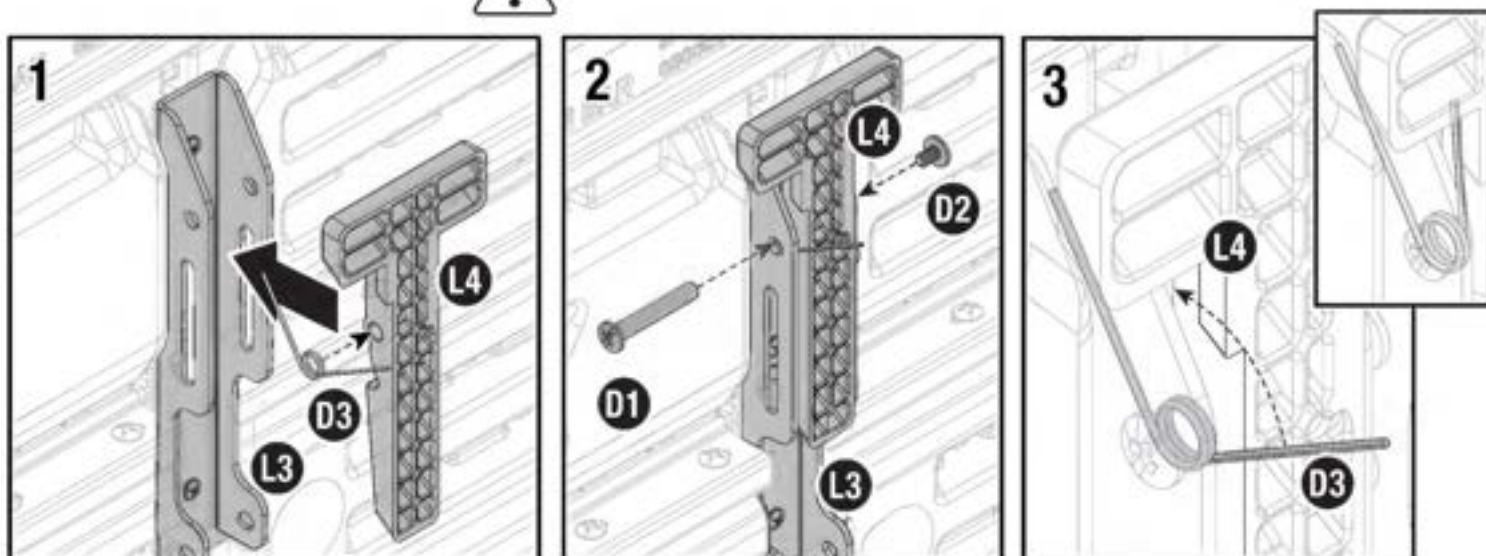
バートップ (Q) の中央に取り付けられたスロット付きブラケット (L3) を見つけます。

- 1) 図のように、スプリング (D3) とバー ラッチ (L4) をブラケットの中央に揃えます。
- 2) 左から、パレル ナット 1 個 (D1) をスロット付きバー サポート (L3)、スプリング (D3)、バー ラッチ (L4) に通して、ネジ 1 本 (D2) で固定します。
- 3) スプリング (D3) の上部をバー ロックの下側に滑り込むまで押し下げます。

注意: スプリングを所定の位置に押し込むには、マイナスドライバーを使用すると便利です。



重要: 方向は非常に重要です。



事前組み立て - ドア ラッチとコード スライド

必要なハードウェア/スチール キット



24



7/16インチ
(11.1mm)



(G1) x2



(G2) x2

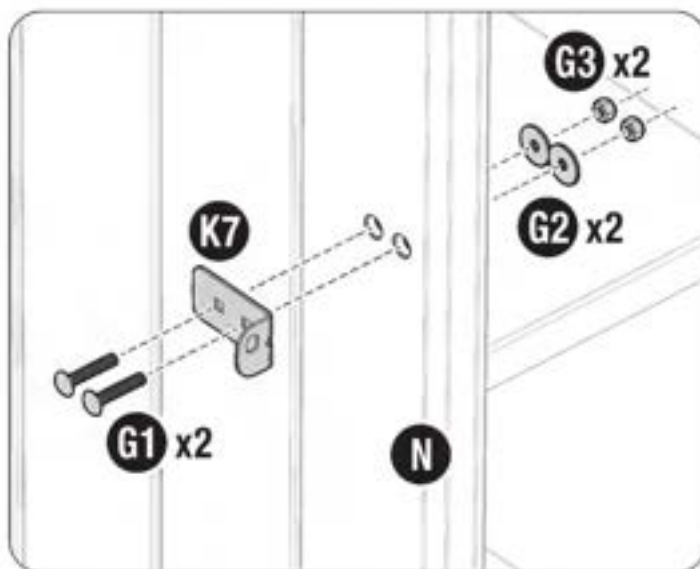


(G3) x2



(K7) x1

図のように、2 本のボルト (G1) を左ラッチ プレート (K7) に挿入し、右前側 (N) に通します。プレート在所定の位置に保持しながら、各ボルトをワッシャー (G2) とナット (G3) 1 個ずつで固定します。



25



7/16インチ
(11.1mm)



(G1) x2



(G2) x2

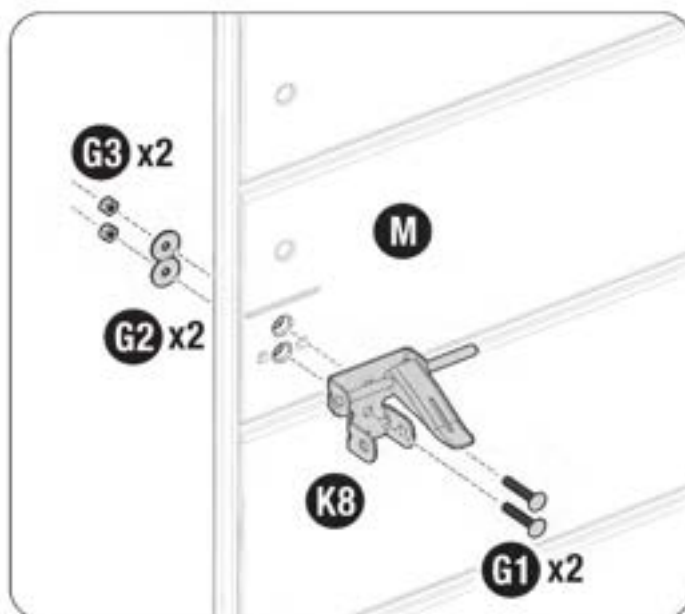


(G3) x2



(K8) x1

図のように、2 本のボルト (G1) をラッチ アセンブリ (K8) に挿入し、右ドア (M) に通します。ラッチ アセンブリを所定の位置に保持しながら、各ボルトをワッシャー (G2) とナット (G3) 1 個ずつで固定します。



26



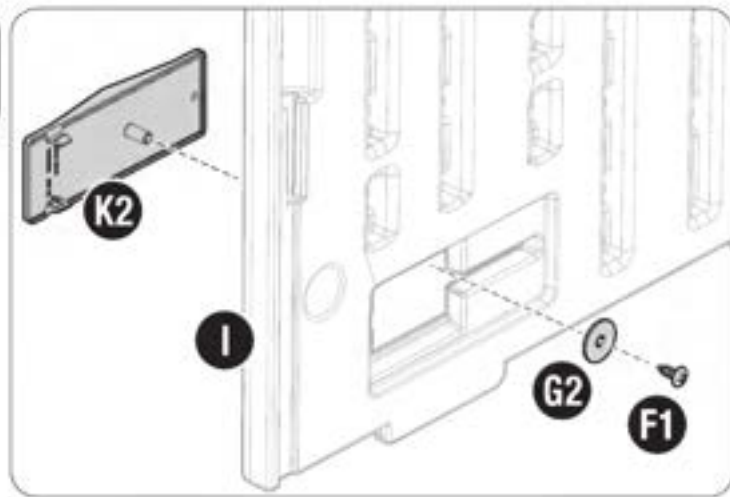
(F1) x1



(G2) x1



(K2) x1



1 本のネジ (F1) とワッシャー (G2) を使用して、コード スライド (K2) を左背面 (I) に取り付けます。

注意: 締めすぎないでください。コード スライドは大きな抵抗なく前後にスライドするはずです。

組み立て - 床

必要なハードウェア/スチール キット

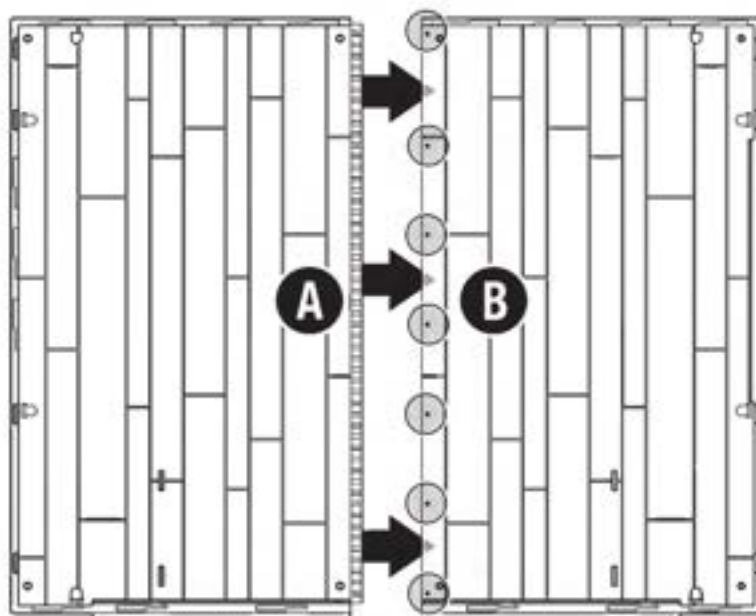


27



(F1) x7

左フロア (A) と右フロア (B) をスライドさせて合体させます。7 本のネジ (F1) で固定します。



組み立て - 壁

必要なハードウェア/スチール キット

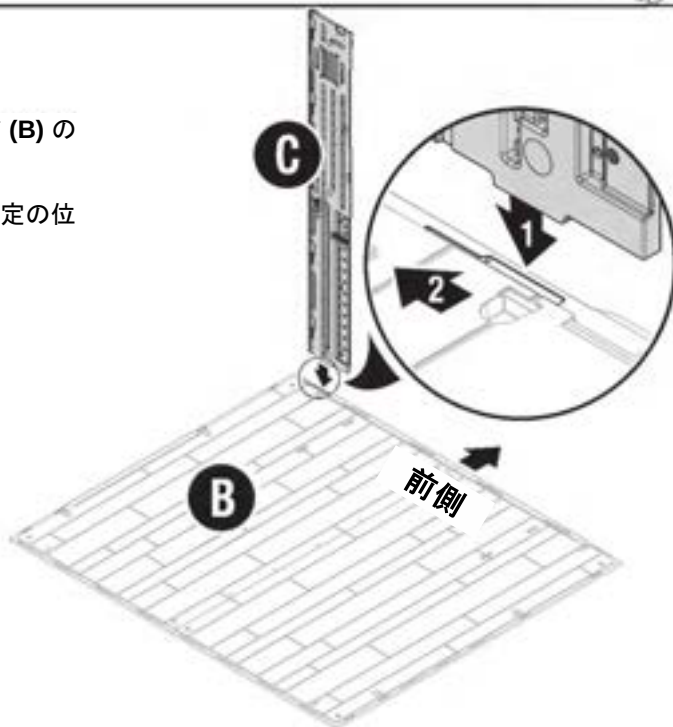


28

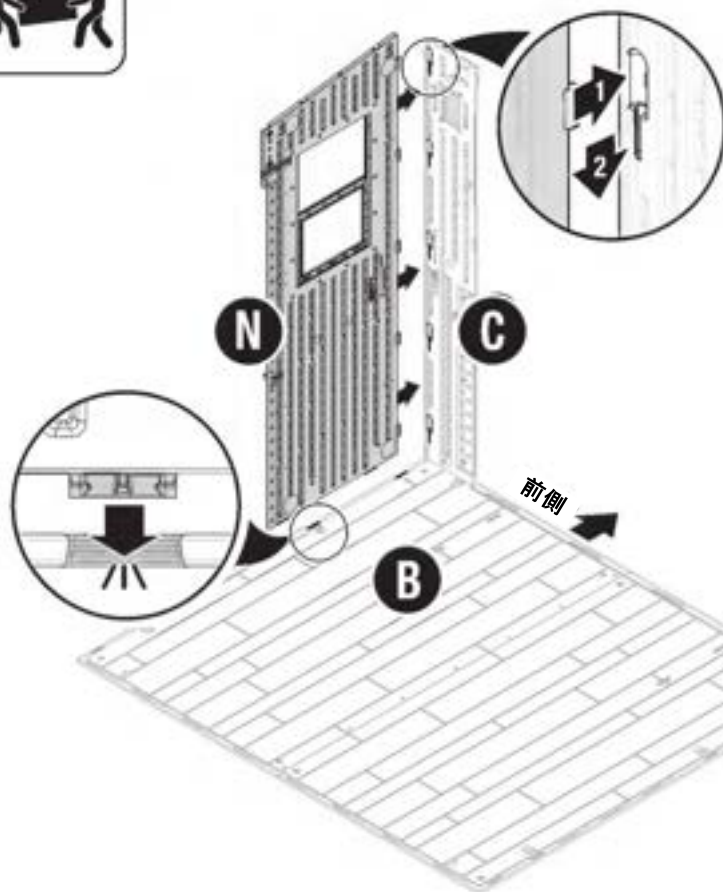


図のように、右前部 (C) の下部タブを右フロア (B) のコーナー スロットに挿入します。

右前部 (C) をコーナーの方へスライドさせ、所定の位置に固定します。



29



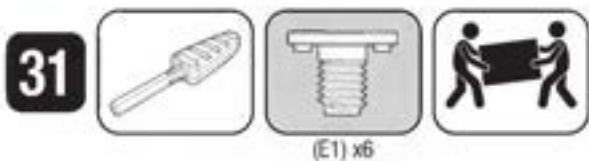
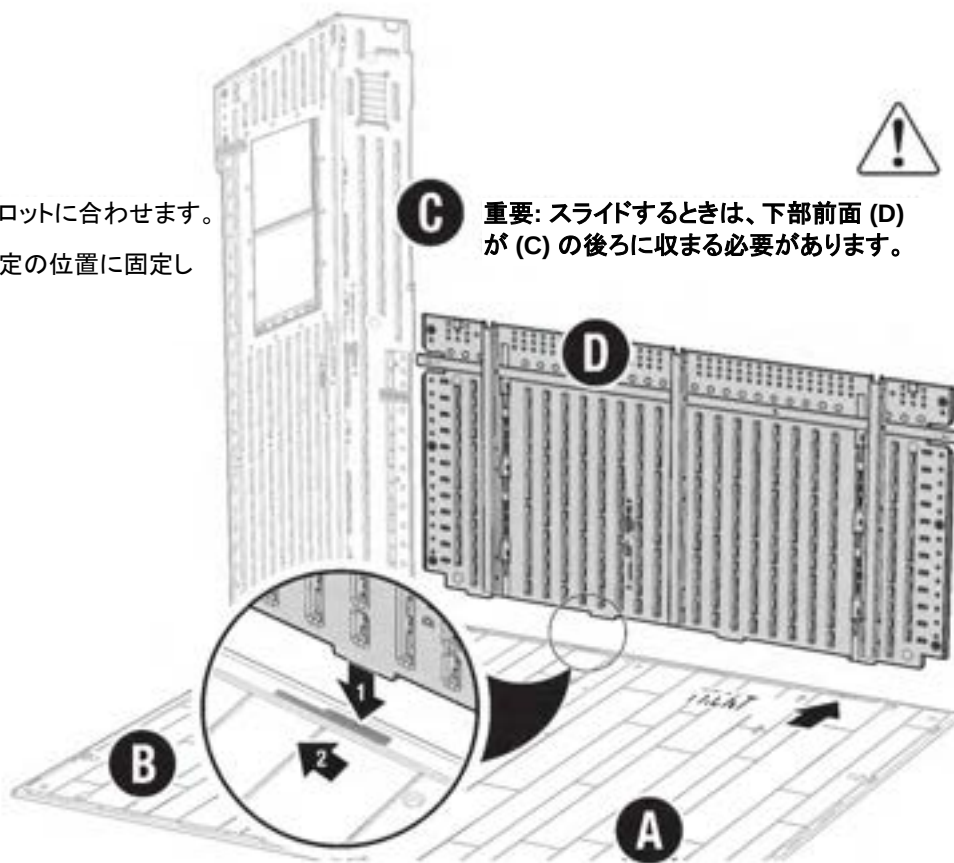
右前側 (N) の側面タブを右前部 (C) のスロットに合わせます。

右前側 (N) を下にスライドさせてタブをはめ込みます。
下部タブが右フロア (B) にカチッとハマるまでしっかりと押し込みます。



下部前面 (D) の下部タブをフロア (A、B) のスロットに合わせます。

下部前面 (D) を (C) の方へスライドさせて、所定の位置に固定します。

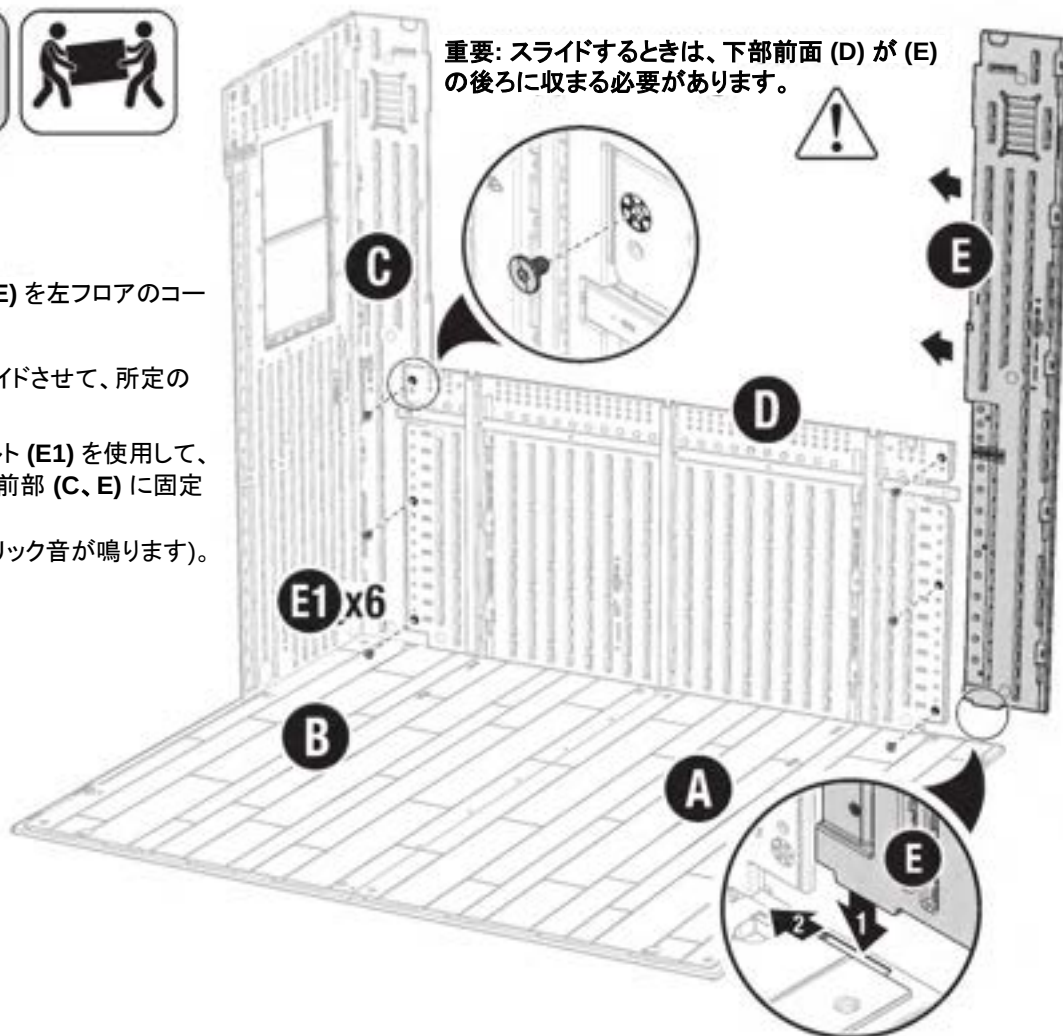


図のように、左前部の下部タブ (E) を左フロアのコーナー スロット (A) に挿入します。

左前部 (E) を (O) の方向へスライドさせて、所定の位置に固定します。

図のように、6 本のイージー ボルト (E1) を使用して、下部前面 (D) を右前部および左前部 (C、E) に固定します。

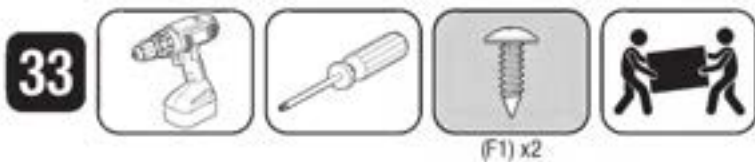
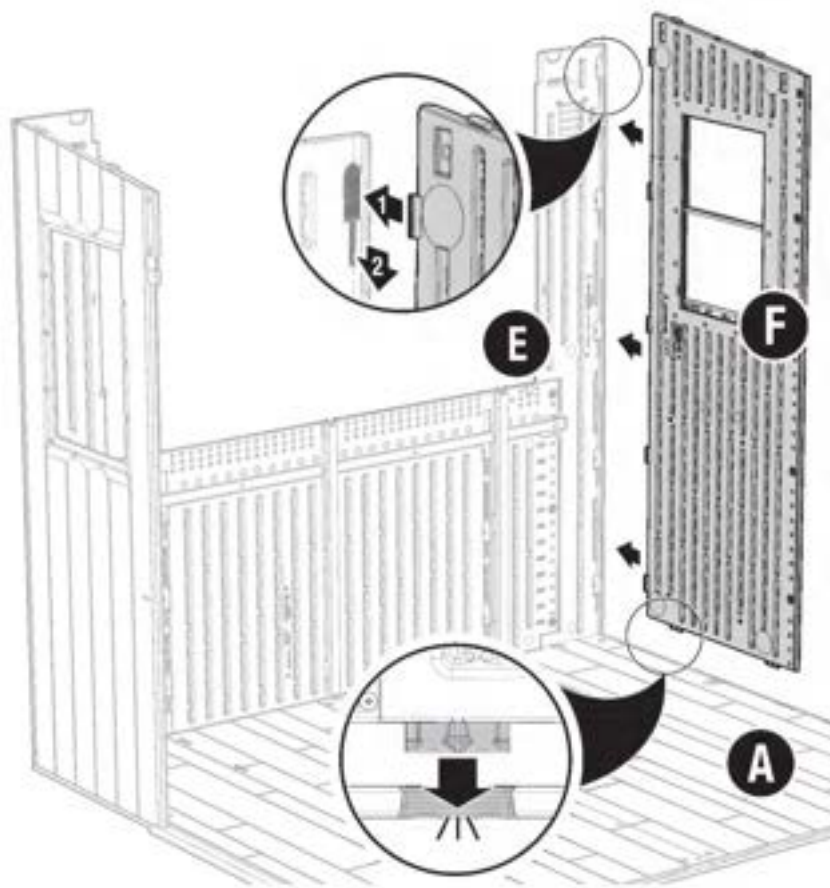
しっかりと締めます (3 ~ 4 回クリック音が鳴ります)。



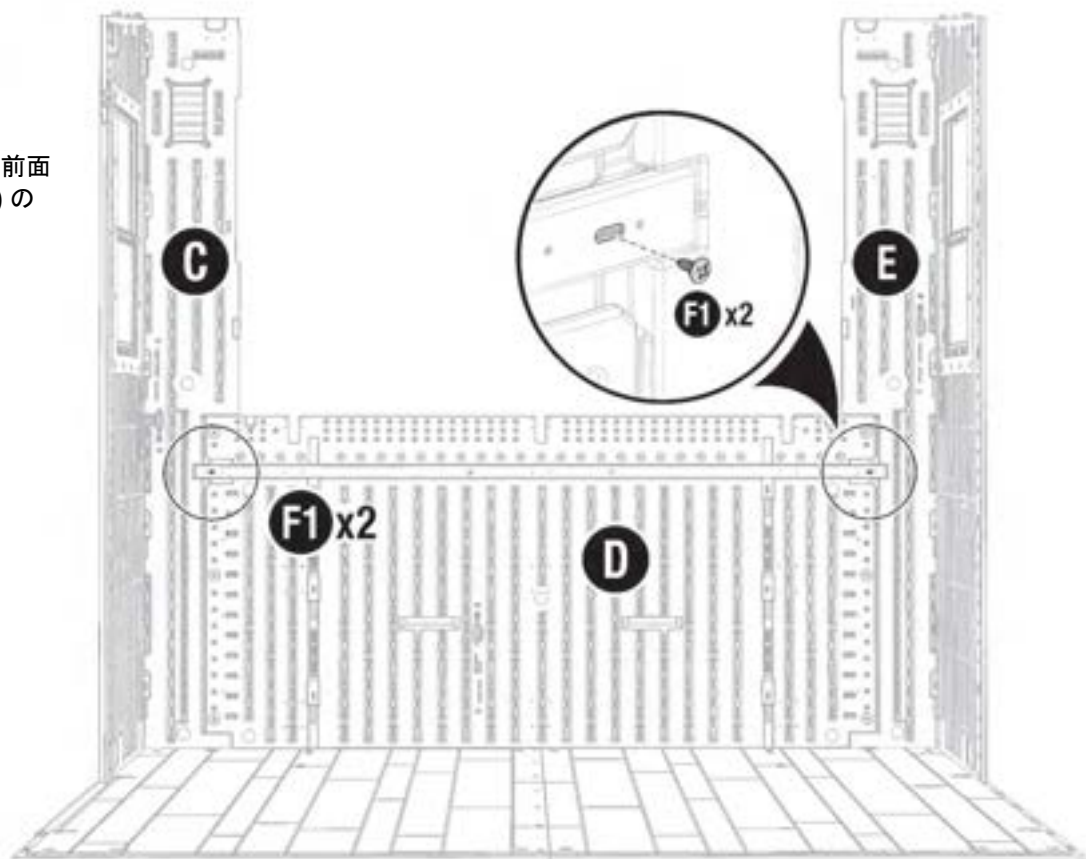


左前側 (F) の側面タブを左前部 (E) のスロットに合わせます。

左前側 (F) を下方にスライドさせてタブをはめ込みます。
下部タブが左フロア (A) にカチッとハマるまでしっかりと押し込みます。



2 本のネジ (F1) を使用して、下部前面 (D) を右前部および左前部 (C、E) の指定された場所に固定します。



34



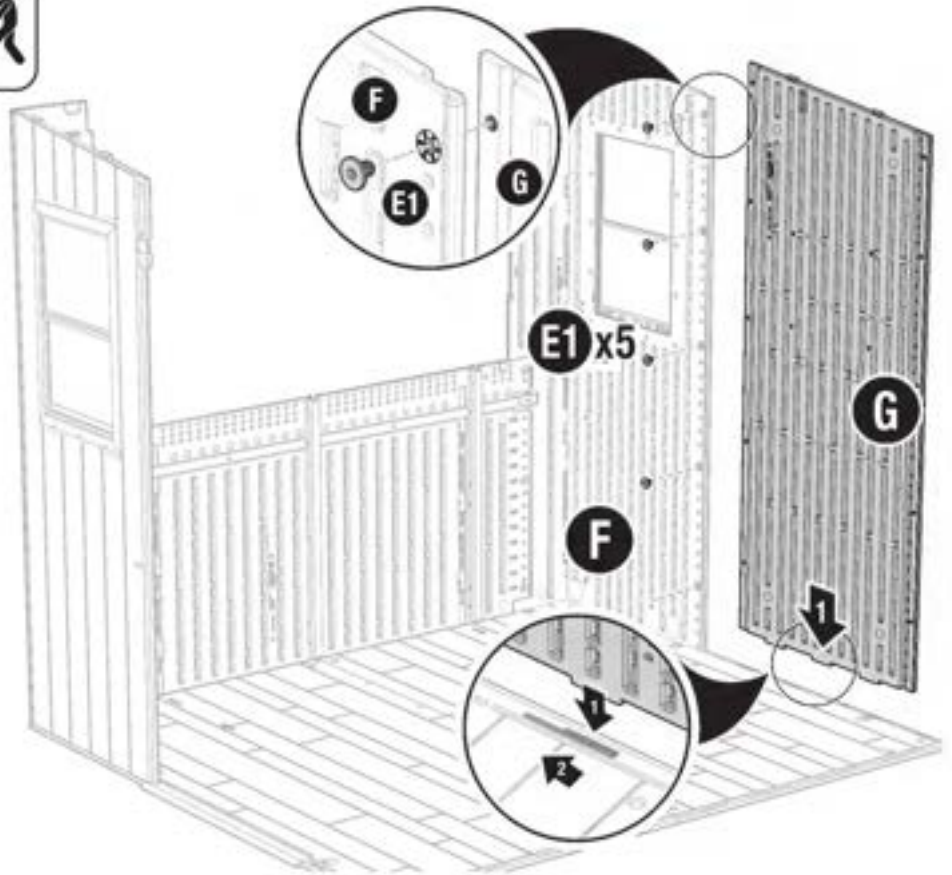
(E1) x5



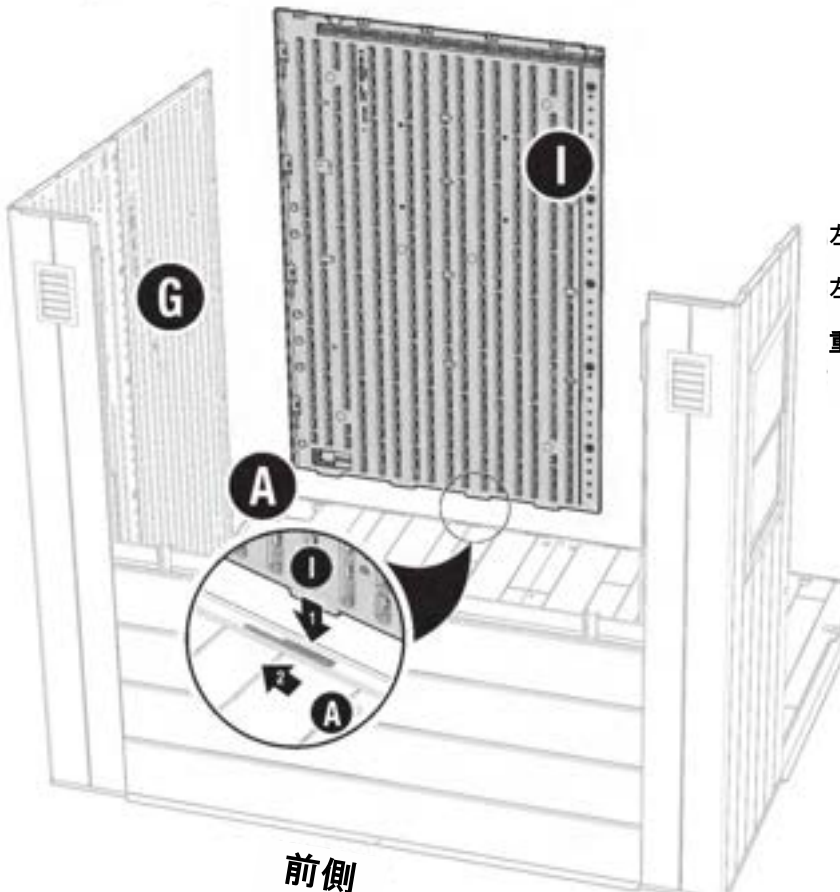
図のように、左中央側 (G) の下部タブを左フロア (A) のスロットに合わせます。

左中央側 (G) を (F) の方へスライドさせ、所定の位置に固定します。

5 本のイージー ボルト (E1) を使用して、左側中央側 (G) を左前側 (F) に固定します。
しっかりと締めます (3 ~ 4 回クリック音が鳴ります)。



35



前側

左背面の下部タブ (I) を左フロアのスロット (A) に合わせます。

左背面 (I) を (G) の方へスライドさせ、所定の位置に固定します。

重要: 次の手順が完了するまで、他の人に (I) を支えてもらいます。

36



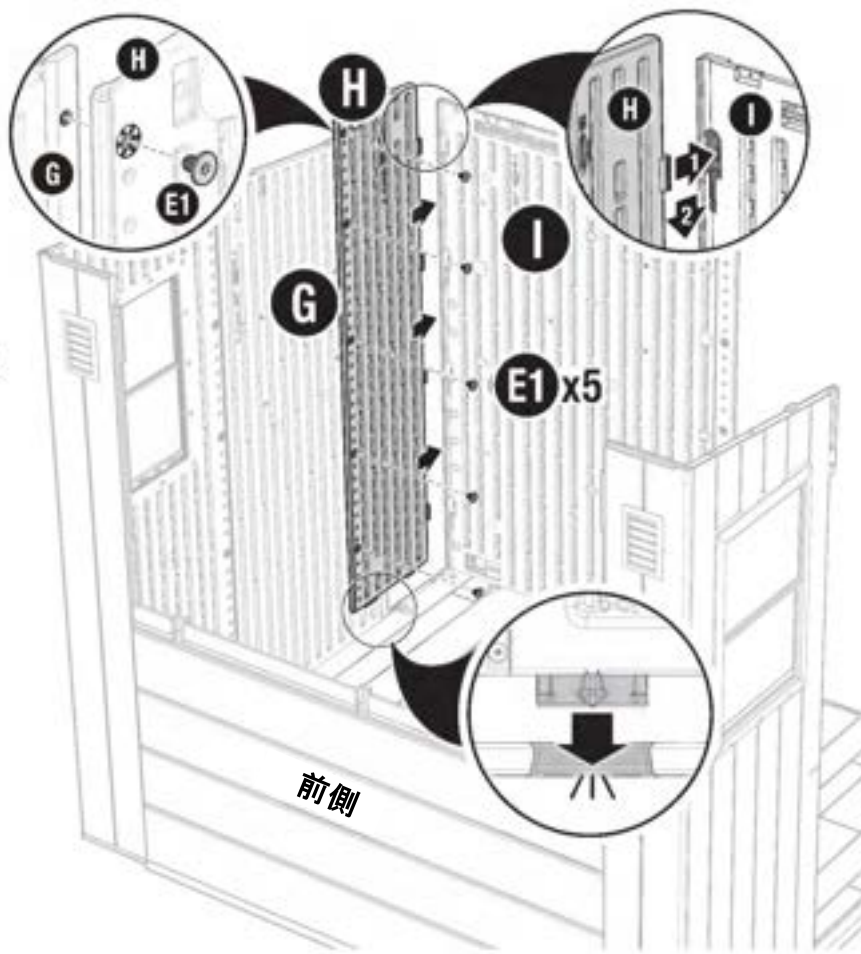
(E1) x5

左後ろ側 (H) の側面タブを左背面 (I) のスロットに合わせます。

左後ろ側 (H) を下にスライドさせてタブをはめ込みます。下部のタブが左の床にカチッとハマるまでしっかりと押します (A)。

5本のイージー ボルト (E1) を使用して、左後ろ側 (H) を左中央側 (G) に固定します。

しっかりと締めます (3 ~ 4 回クリック音が鳴ります)。



37



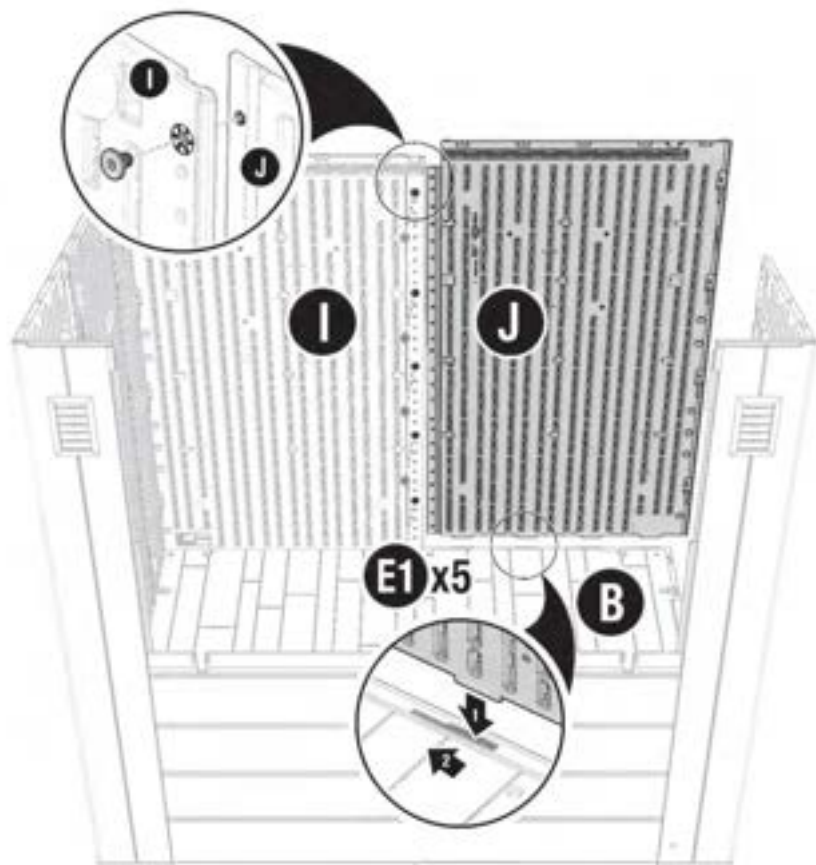
(E1) x5

右背面 (J) の下部タブを右フロア (B) のスロットに合わせます。

右背面 (J) を (I) の方へスライドさせ、所定の位置に固定します。

5つのイージー ボルト (E1) を使用して、右背面 (J) を左背面 (I) に固定します。

しっかりと締めます (3 ~ 4 回クリック音が鳴ります)。

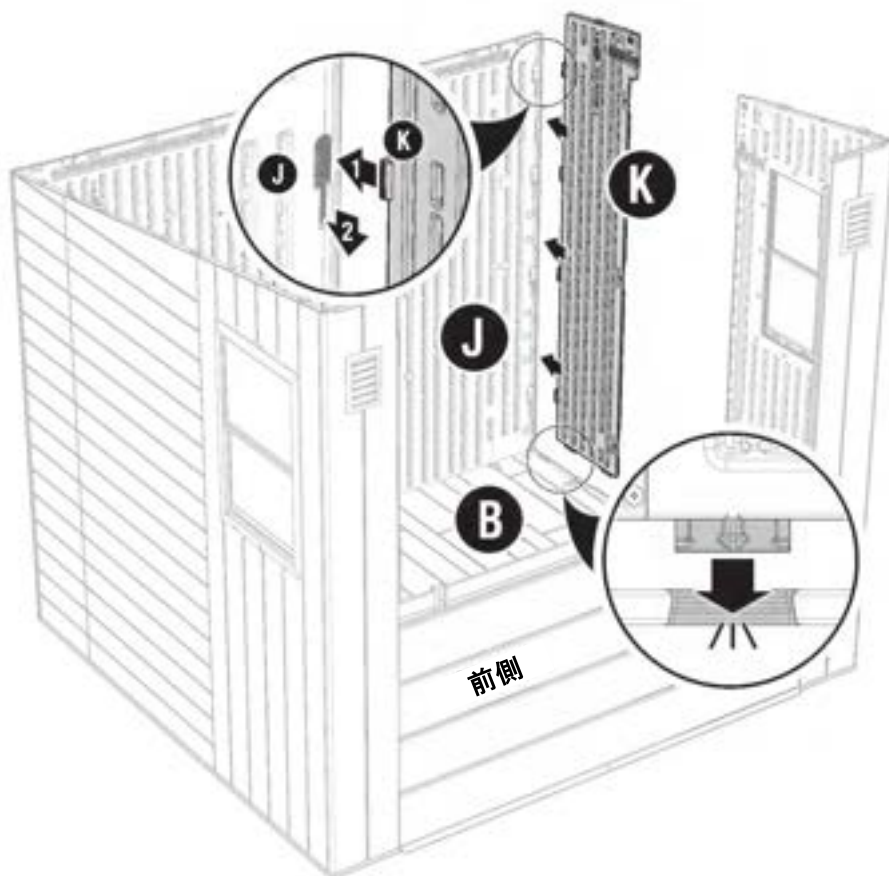




38

右後ろ側 (K) の側面タブを右背面 (J) のスロットに合わせます。

右後ろ側 (K) を下にスライドさせてタブをはめ込みます。下部タブが右フロア (B) にカチッとはまるまでしっかりと押し込みます。



39

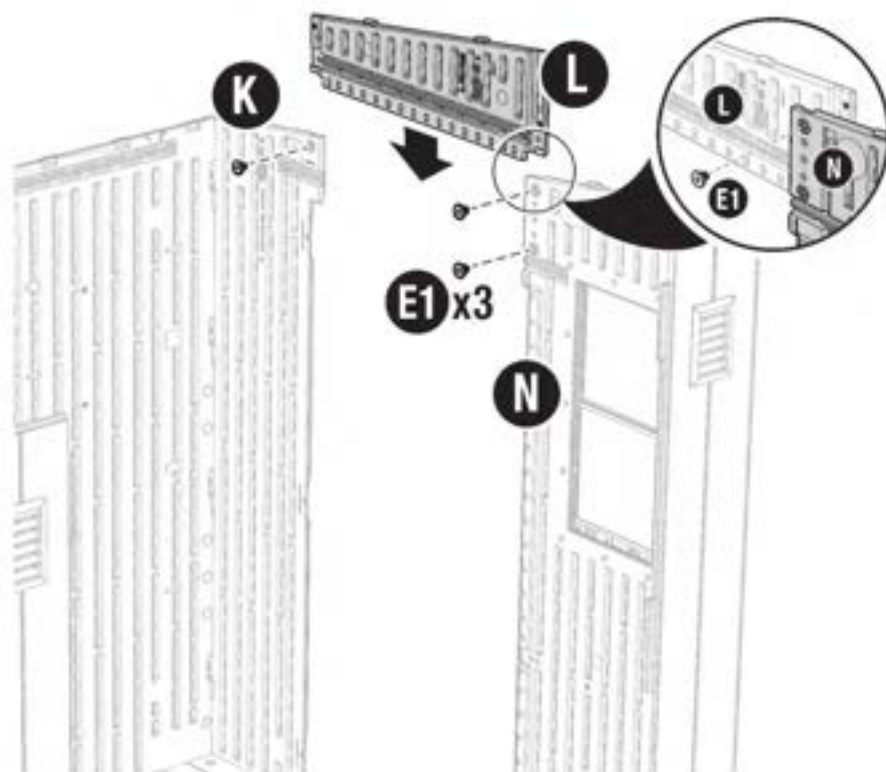


(E1) x3



図のように、サイド ヘッダー (L) を右後ろ側 (K) と右前側 (N) の間に配置し、3 本のイージー ボルト (E1) で固定します。

しっかりと締めます (3 ~ 4 回クリック音が鳴ります)。



組み立て - ヘッダー ビーム

必要なハードウェア/スチール キット



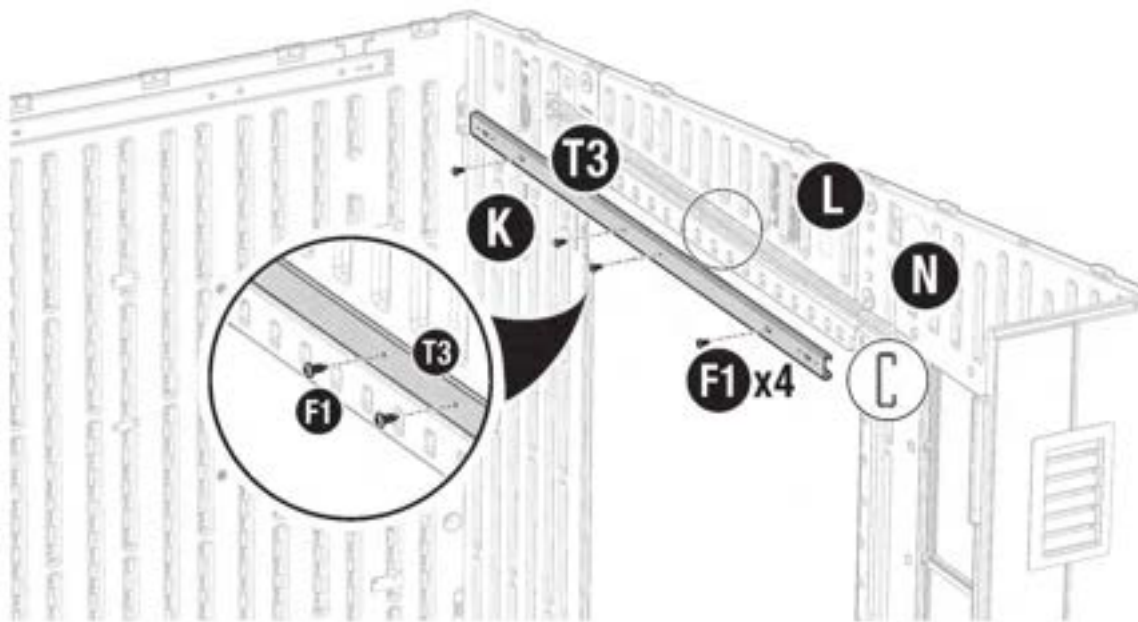
40



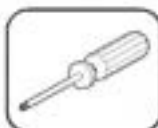
(F1) x4



図に示すように、1 つのヘッダー ビーム (114 cm、T3) を右後ろ側 (K)、サイド ヘッダー (L) と右前側 (N) にまたがるように配置します。指定された場所に 4 本のネジ (F1) で固定します。



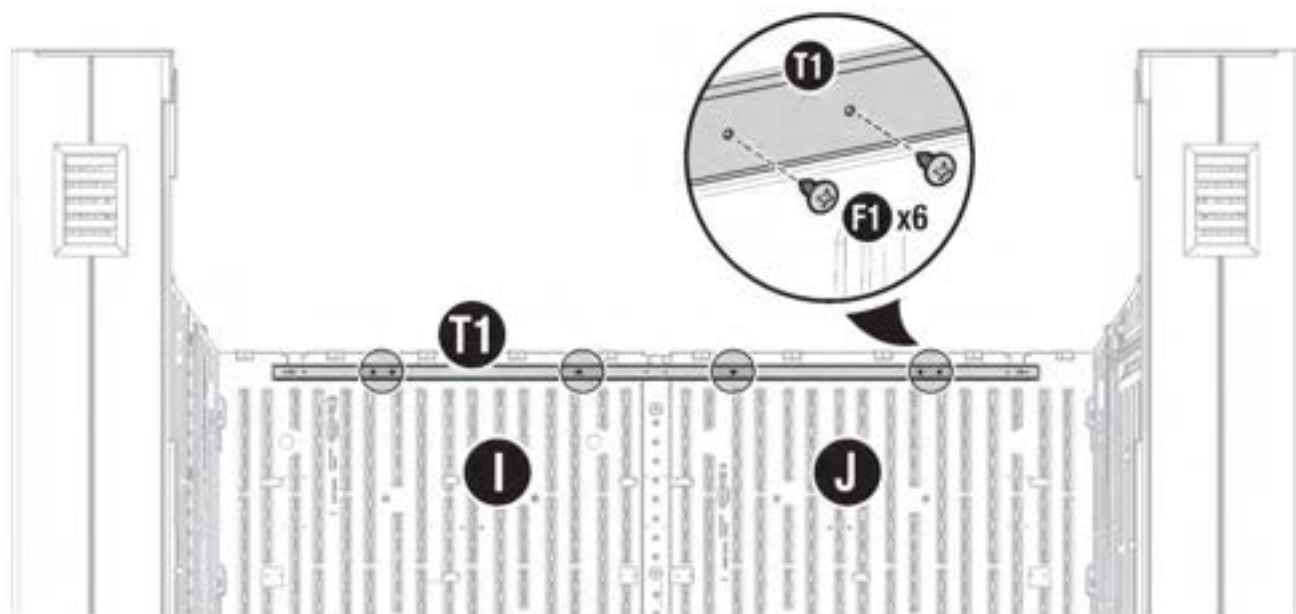
41



(F1) x6



図のように、1 つのヘッダー ビーム (208 cm、T1) を右背面と左背面 (I、J) にまたがるように配置します。指定された場所に 6 本のネジ (F1) で固定します。



組み立て - サイドアダプター

必要なハードウェア/スチール キット



42

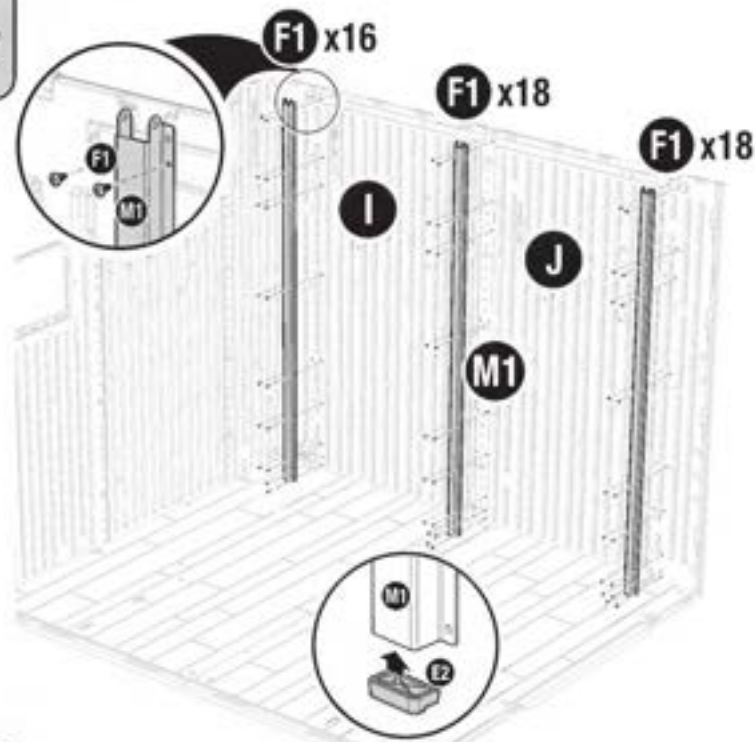
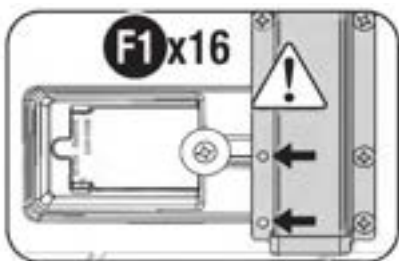


(F1) x52

(E2) x3

3つのサイドアダプター (190 cm、M1) の下端に、それぞれ1つのアダプター キャップ (E2) を取り付けます。
合計 52 本のネジ (F1) を使用して、サイドアダプター (M1) を、指定された場所に、左側と右側の背面 (I、J) に固定します。

重要: すべてのネジ穴が使用されるわけではありません。



43

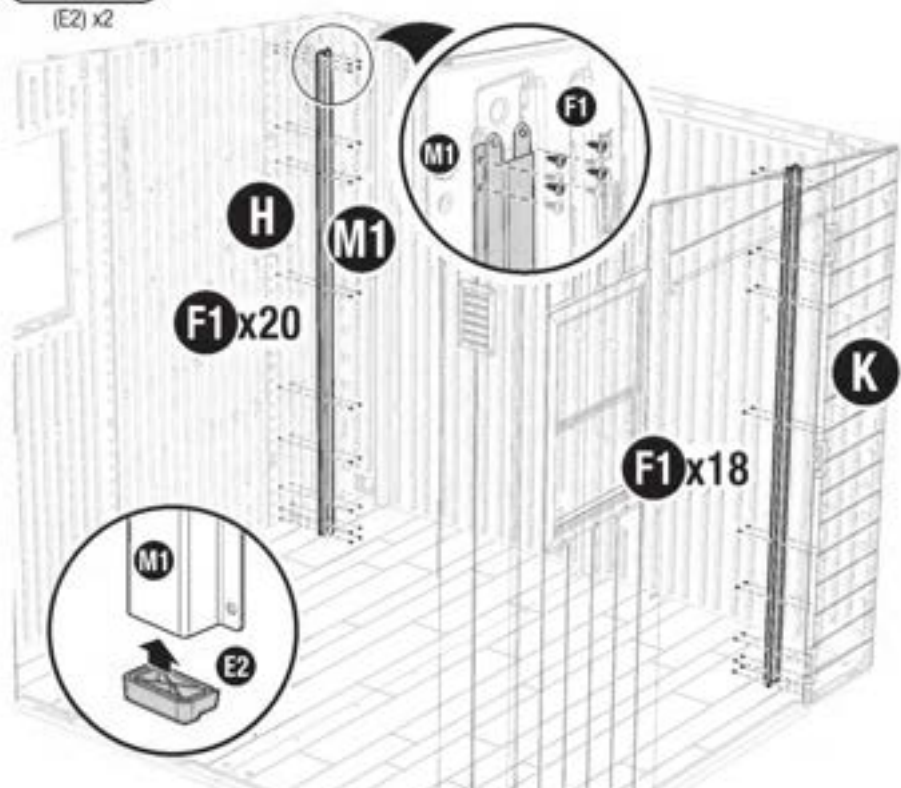
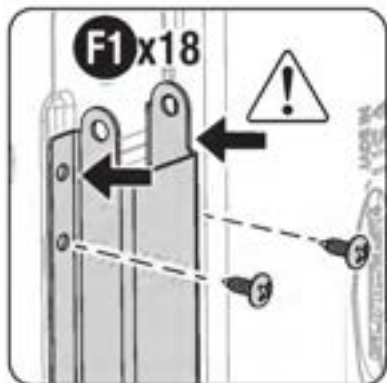


(F1) x38

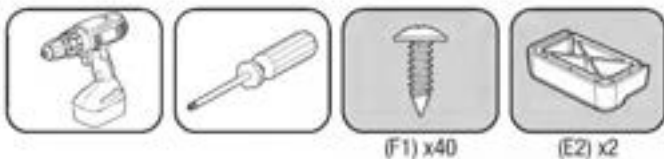
(E2) x2

2つのサイドアダプター (190 cm、M1) の下端に、それぞれ1つのアダプター キャップ (E2) を取り付けます。
20本のネジ (F1) を使用して、片側のアダプターを左後ろ側 (H) に固定します。
18本のネジ (F1) を使用して、残りのサイドアダプター (M1) を右背面 (K) に固定します。

重要: すべてのネジ穴が使用されるわけではありません。



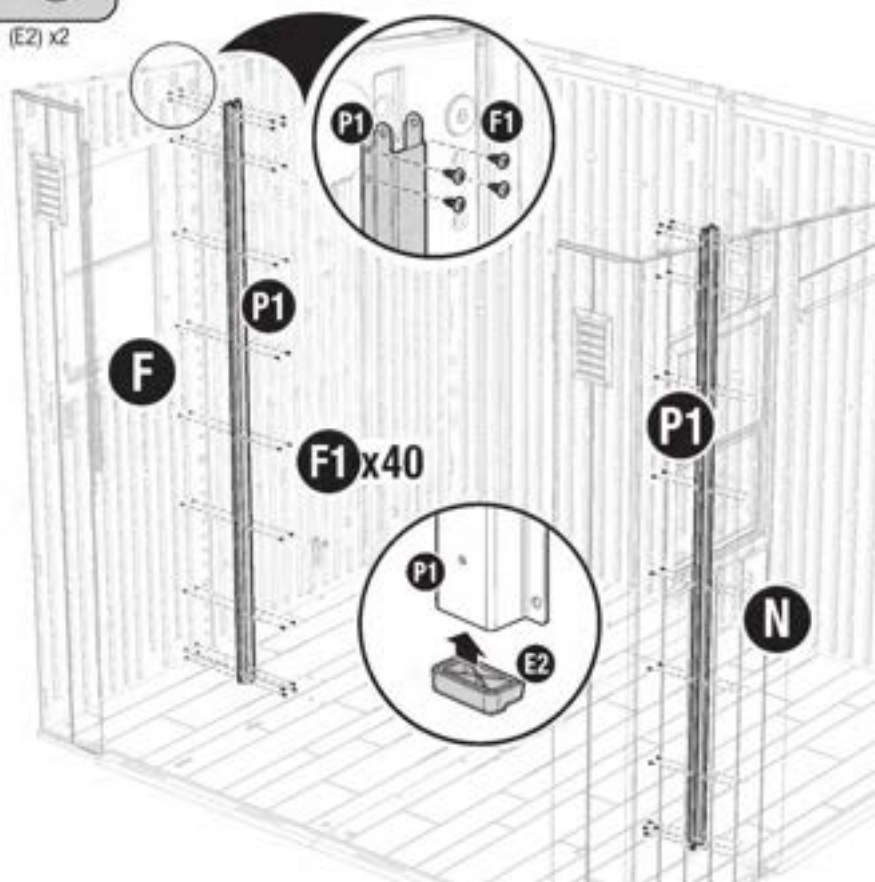
44



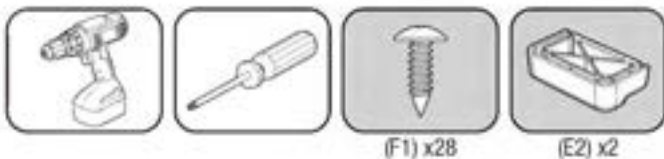
(F1) x40

(E2) x2

2つのサイドアダプター (203 cm、P1) の下端に、それぞれ1つのアダプターキャップ (E2) を取り付けます。それぞれ20本のネジ (F1) を使用して、サイドアダプター (P1) を左前側 (F、N) の指定された場所に固定します。



45

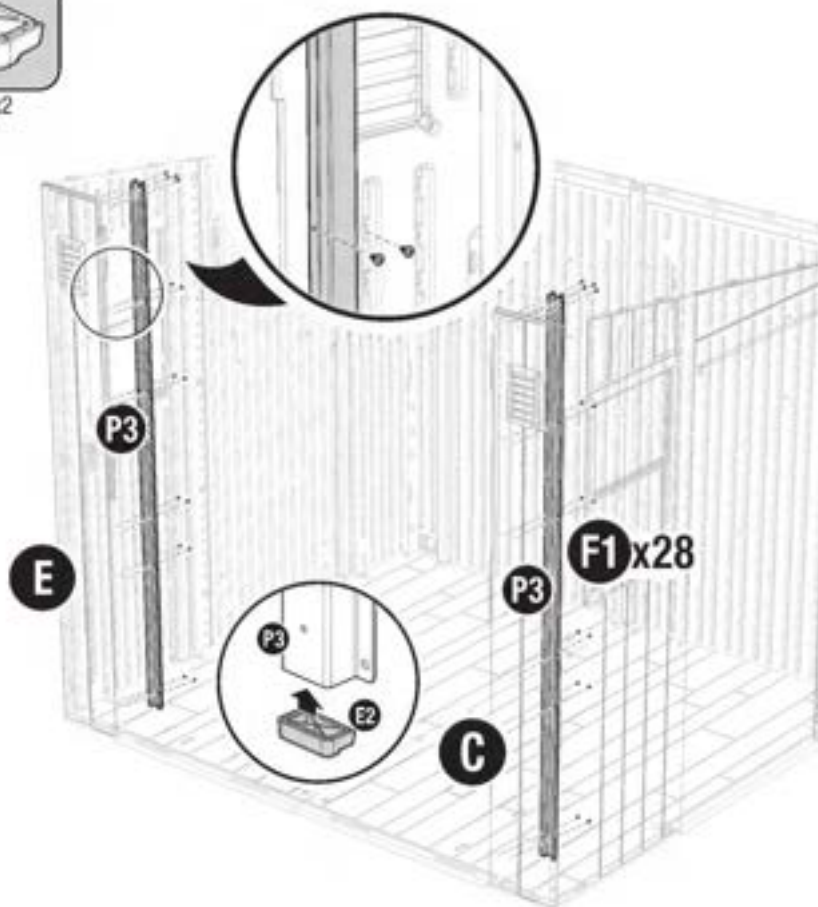
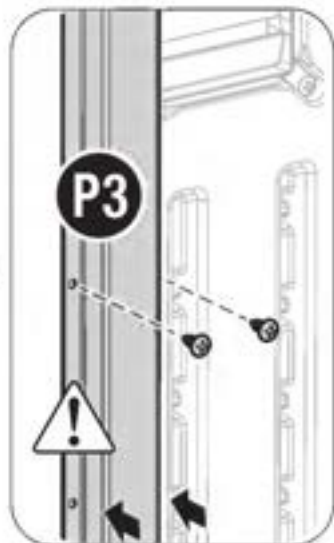


(F1) x28

(E2) x2

2つのサイドアダプター (218 cm、P3) の下端に、それぞれ1つのアダプターキャップ (E2) を取り付けます。それぞれ14本のネジ (F1) を使用して、サイドアダプターを左前部と右前部 (E、C) の指定された場所に固定します。

重要: すべてのネジ穴が使用されるわけではありません。



組み立て - リッジ ビーム 構成

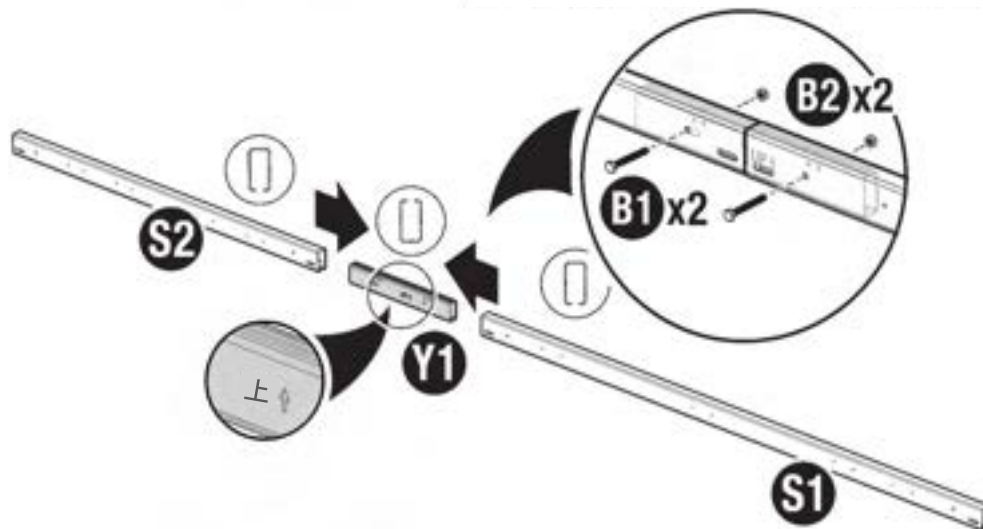
必要なハードウェア/スチール キット



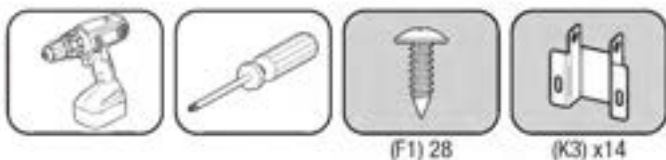
46



1 つの短いリッジ ビーム (99.1 cm、S2) をジョイナー (30.5 cm、Y1) の端に差し込みます。1 つの長いリッジ ビーム (140 cm、S1) を残りの端に差し込みます。ボルト (B1) とナット (B2) をそれぞれ 2 本ずつ使用して、棟木をジョイナーに固定します。しっかりと締めてください。このプロセスを繰り返して、合計 3 つのリッジ アセンブリを完成させます。

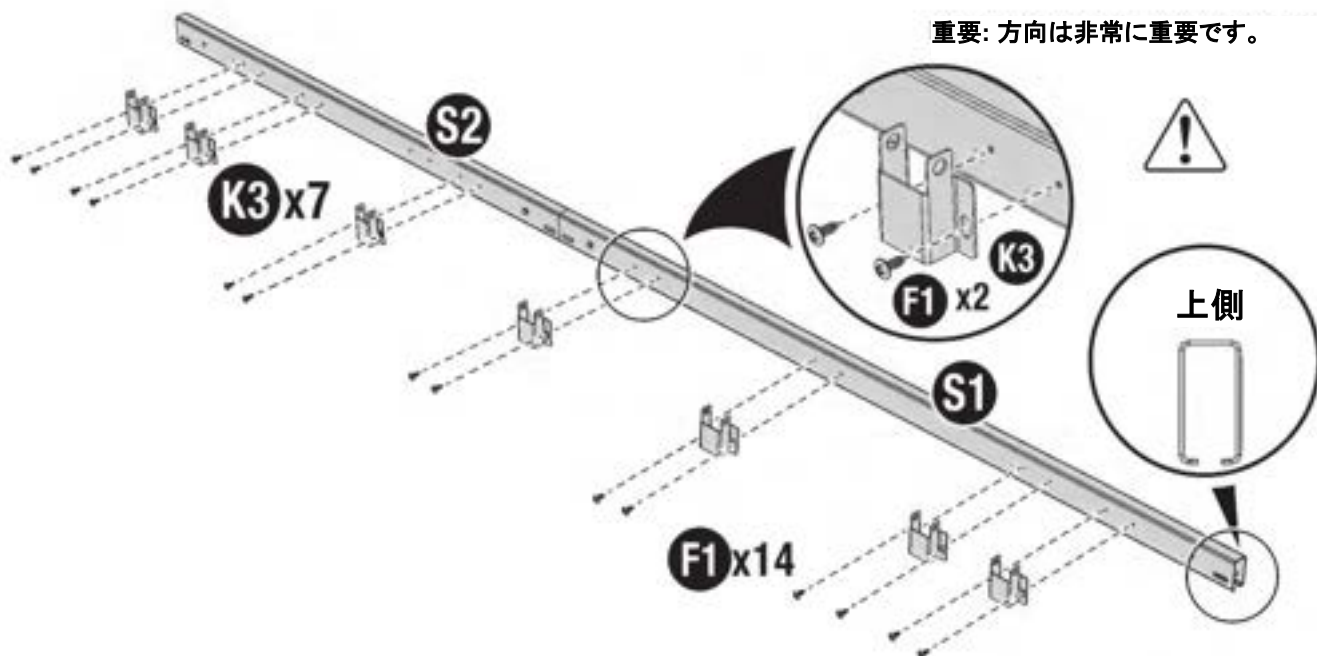


47



それぞれ 2 本のネジ (F1) を使用して、7 つのサポート ブラケット (K3) を 1 つのリッジ ビーム アセンブリに固定します。同じ手順をもう 1 つのリッジ ビーム アセンブリでも繰り返します。3 つ目のアセンブリにはブラケットを取り付けません。このアセンブリは次の手順で使用します。

重要: 方向は非常に重要です。



組み立て - リアおよびミッド リッジ ビーム

必要なハードウェア/スチール キット



48



7/16インチ
(11.1mm)



7/16インチ
(11.1mm)



(B2) x2

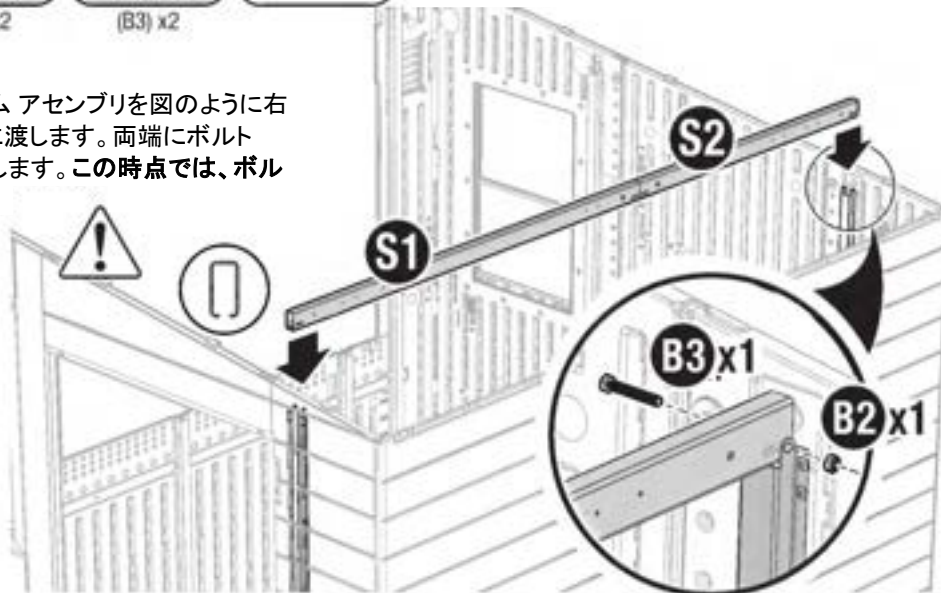


(B3) x2



重要: 方向は非常に重要です。

サポート ブラケットのない 1 つのリッジ ビーム アセンブリを図のように右側および左側後方のサイド アダプターの間に渡します。両端にボルト (B3) とナット (B2) を 1 本ずつ使用して固定します。この時点では、ボルトは緩めたままにしておきます。



49



7/16インチ
(11.1mm)



7/16インチ
(11.1mm)



(B2) x2

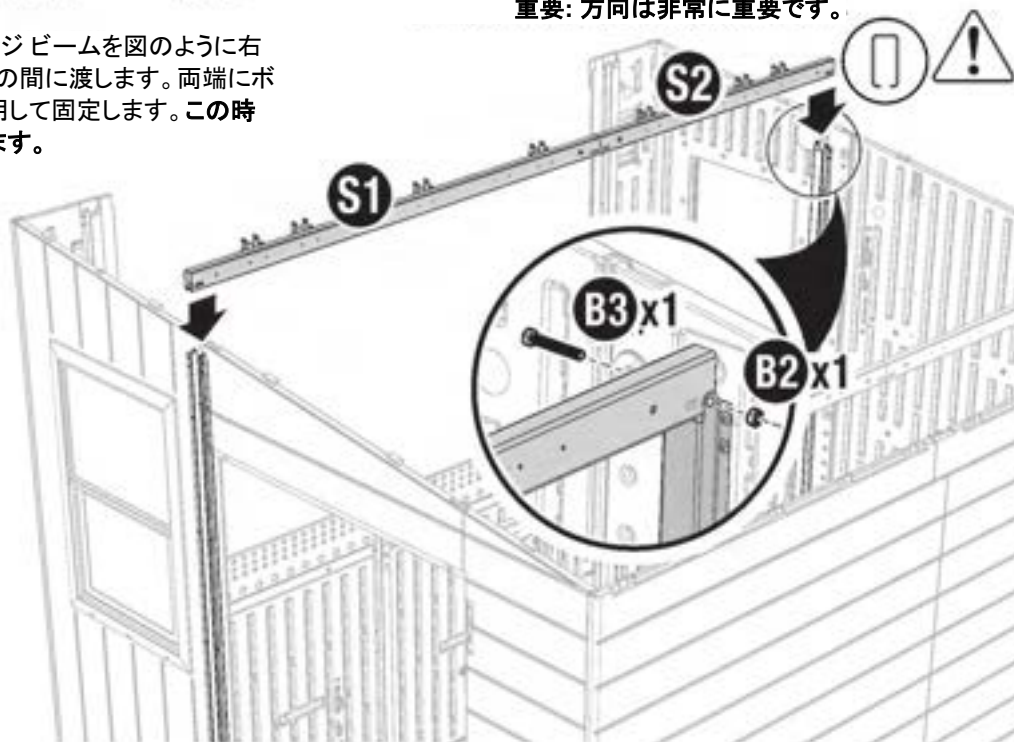


(B3) x2



重要: 方向は非常に重要です。

サポート ブラケットの付いた 1 つのリッジ ビームを図のように右側および左側中央のサイド アダプターの間に渡します。両端にボルト (B3) とナット (B2) を 1 本ずつ使用して固定します。この時点ではボルトは緩めたままにしておきます。



組み立て - 屋根トラス

必要なハードウェア/スチール キット

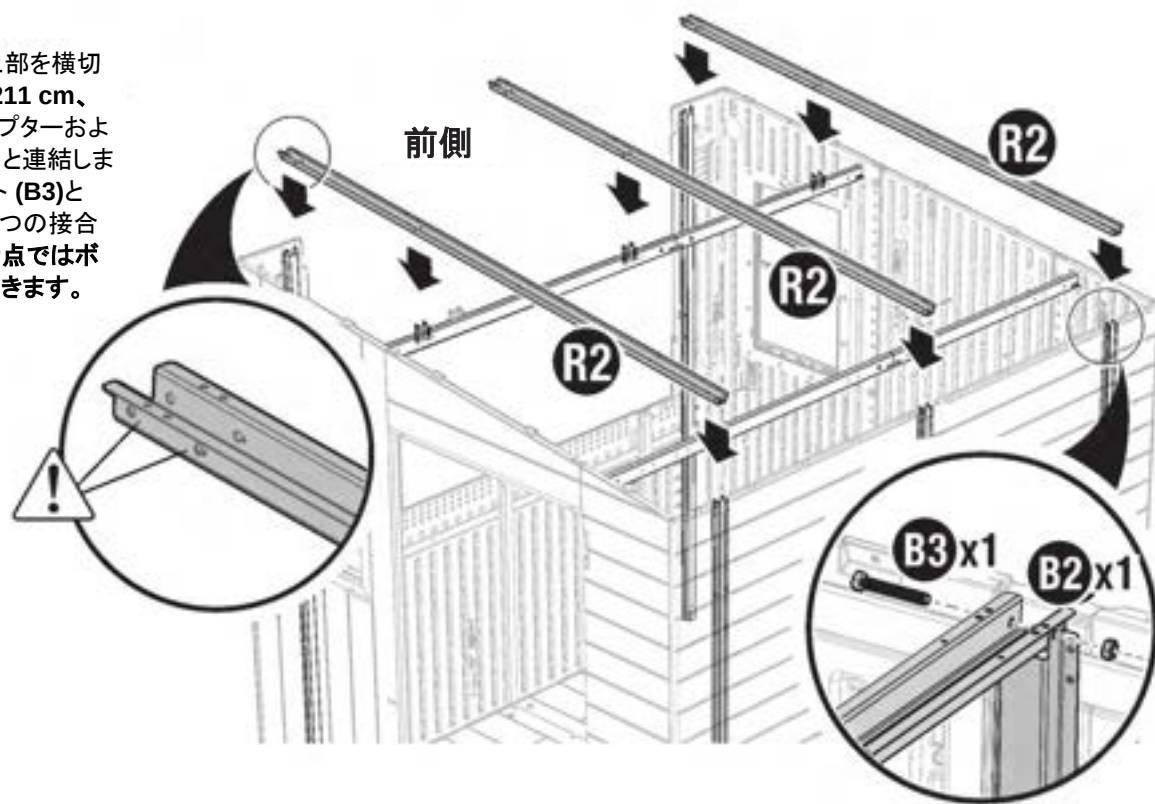


50

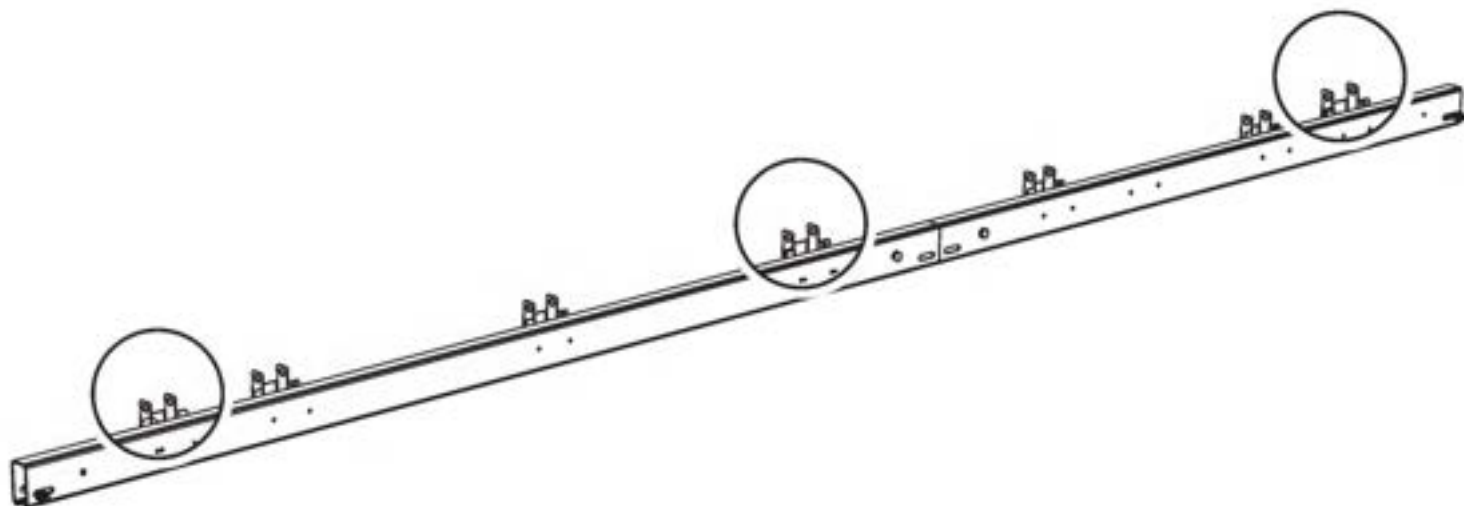


重要: 方向は非常に重要です。トラス脚 (R2) は、2つの穴がある端が小屋の前面を向くように配置する必要があります。

図に示すように、小屋の上部を横切るように 3 本のトラス脚 (211 cm、R2) を配置し、サイド アダプターおよびリッジ ビーム アセンブリと連結します。それぞれ 1 本のボルト (B3) とナット (B2) を使用して、8 つの接合箇所を固定します。この時点ではボルトは緩めたままにしておきます。



ヒント: トラス脚 (R2) は、以下に示す位置でリッジ ビーム アセンブリと連結されます。

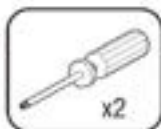


組み立て - バートップ

必要なハードウェア/スチール キット



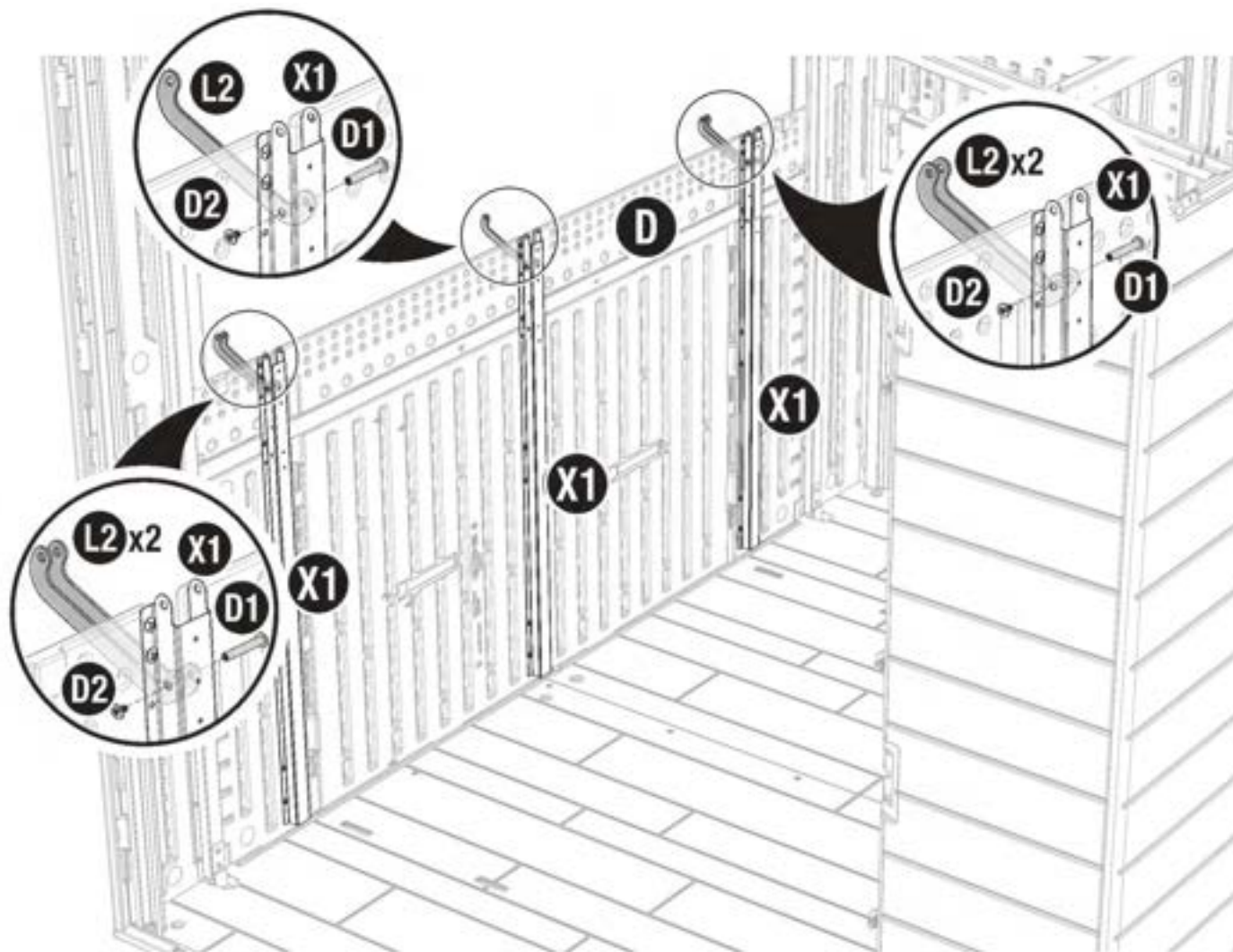
51

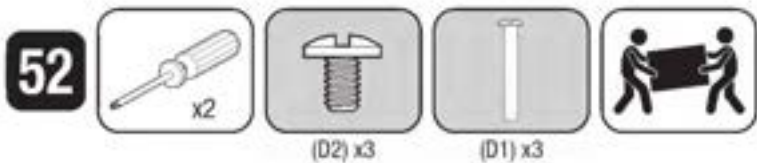


前の手順で下部前面 (D) に取り付けした 3 つのサイド アダプター (X1) を特定します。左から右に作業し、図のように、2 つの曲線ブラケット (L2 x2) を左側アダプター (X1) の中央に配置します。1 つのパレル ナット (D1) とネジ (D2) を使用して、ブラケット (L2) をサイド アダプター (X1) の指定された場所に固定します。

繰り返して反対側の端に 2 つの追加ブラケット (L2 x2) を取り付け、中央に 1 つのブラケット (L2) を取り付けます。

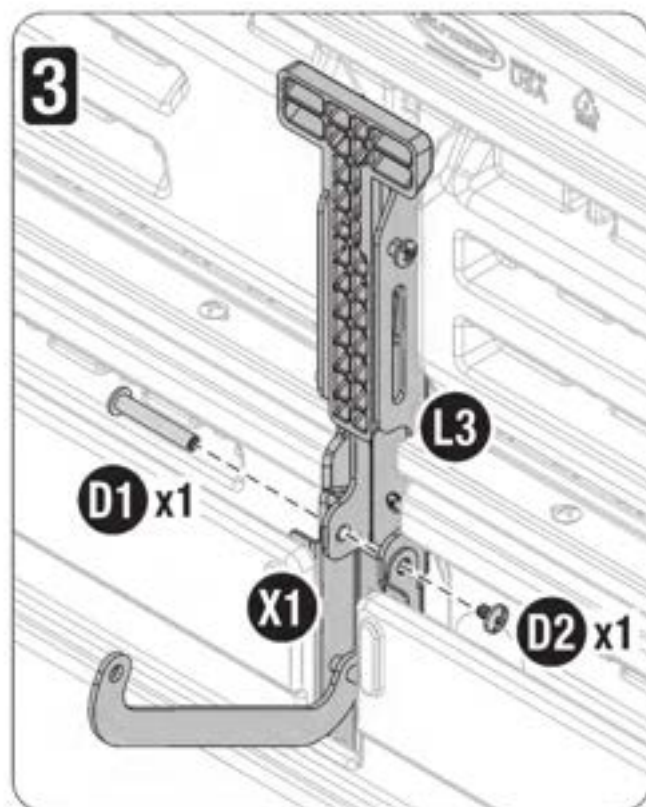
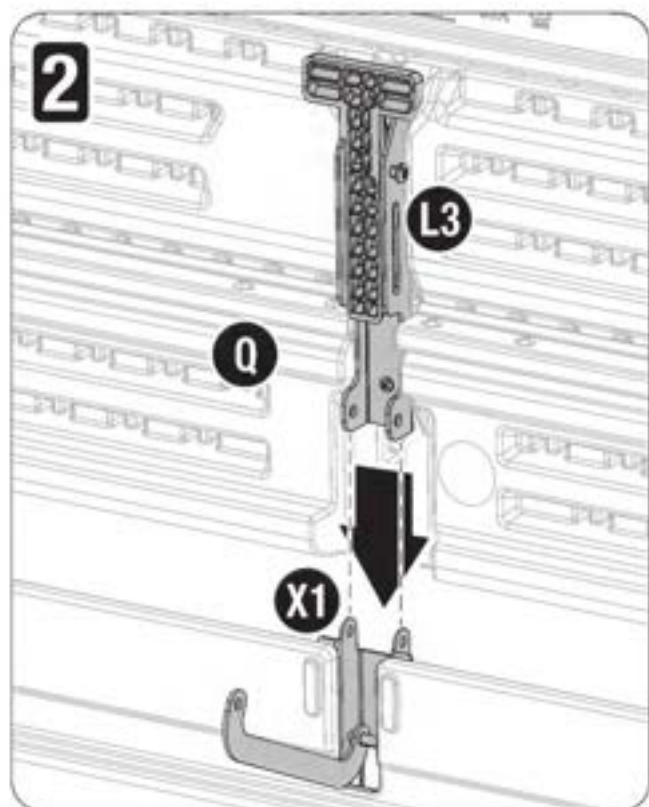
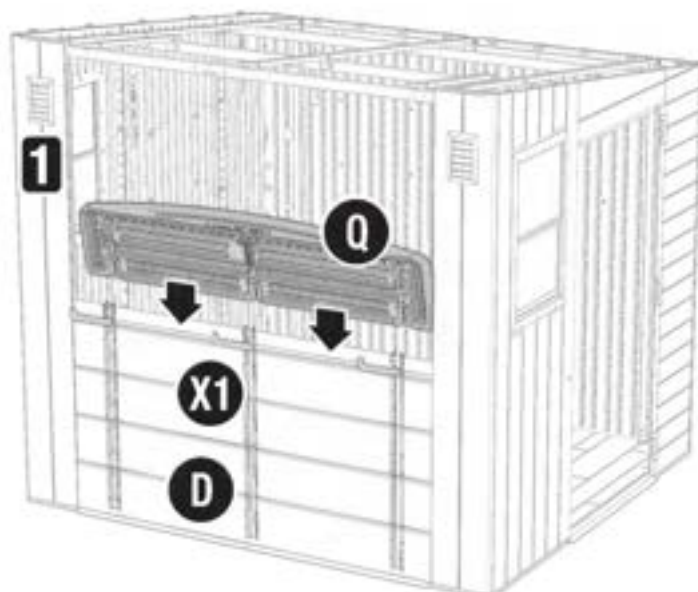
重要: 中央のアダプター (X1) には、曲線ブラケット (L2) を 1 つだけ取り付けます。

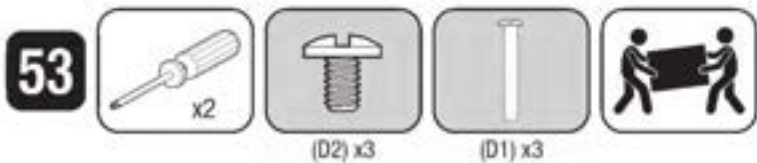




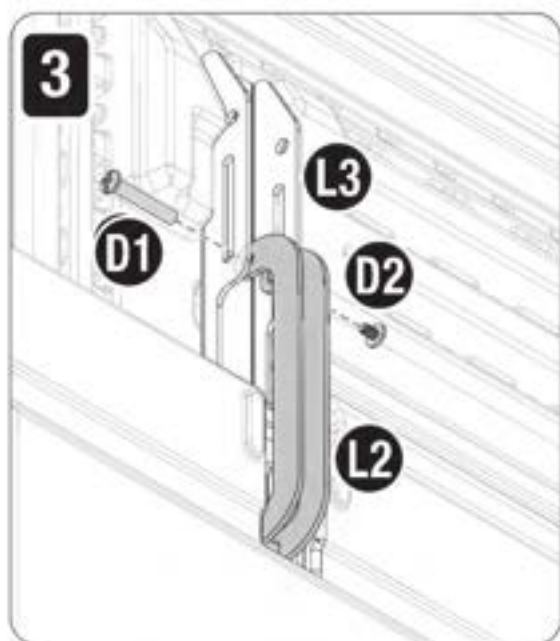
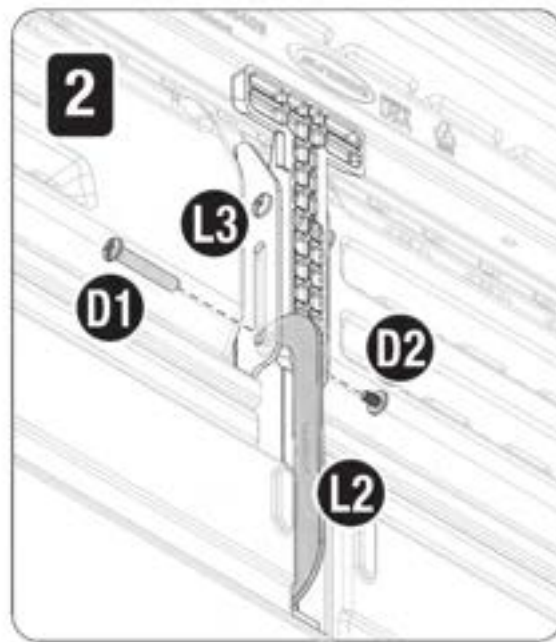
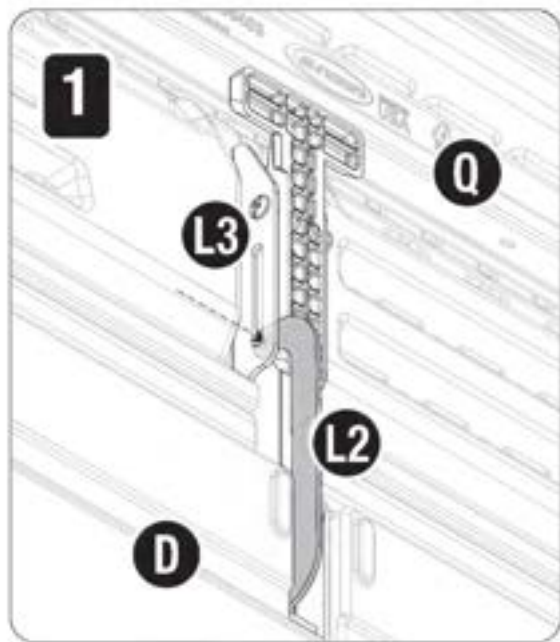
- 1) 他の人の助けを借りて、バー トップ (Q) を下部フロント パネル (D) の上に配置します。
- 2) **中央から始めて**、バー トップ (Q) を下げて、スロット付きバーサポート (L3) を対応するサイド アダプター (X1) と連結します。
- 3) 1 つのバレル ナット (D1) とネジ (D2) を使用して、バーサポート (L3) をサイド アダプター (X1) に固定します。しっかりと締めてください。

手順 2 と 3 を繰り返して、左側と右側を固定します。

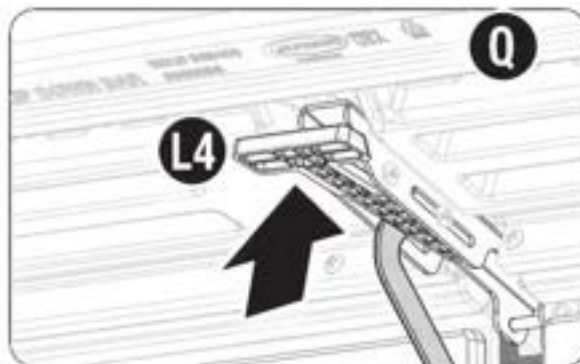




- 1) パートトップ (Q) の中央から始めて、図のように曲線ブラケット (L2) をスロット付きブラケット (L3) とパー
ラッチ (L4) の間に配置します。
- 2) 左から右に、1 つのパレル ナット (D1) をスロット付きブラケット (L3)、曲線ブラケット (L2)、パー ラッチ (L4) の後ろ側をととして、1 本の
ネジ (D2) で固定します。
- 3) パートトップ (Q) の左側で、1 つのパレル ナット (D1) をスロット付きブラケット (L3) と両方の曲線ブラケット (L2 x2) に挿入します。1 本の
ネジ (D2) で固定します。右側でも 繰り返します。



重要: パートトップ (Q) を上げ下げして、正しく組み立てられていることを確認してください。パートトップを上げるときは、まずパー ラッチ (L4) を押してロックを解除します。



組み立て - 屋根

必要なハードウェア/スチール キット

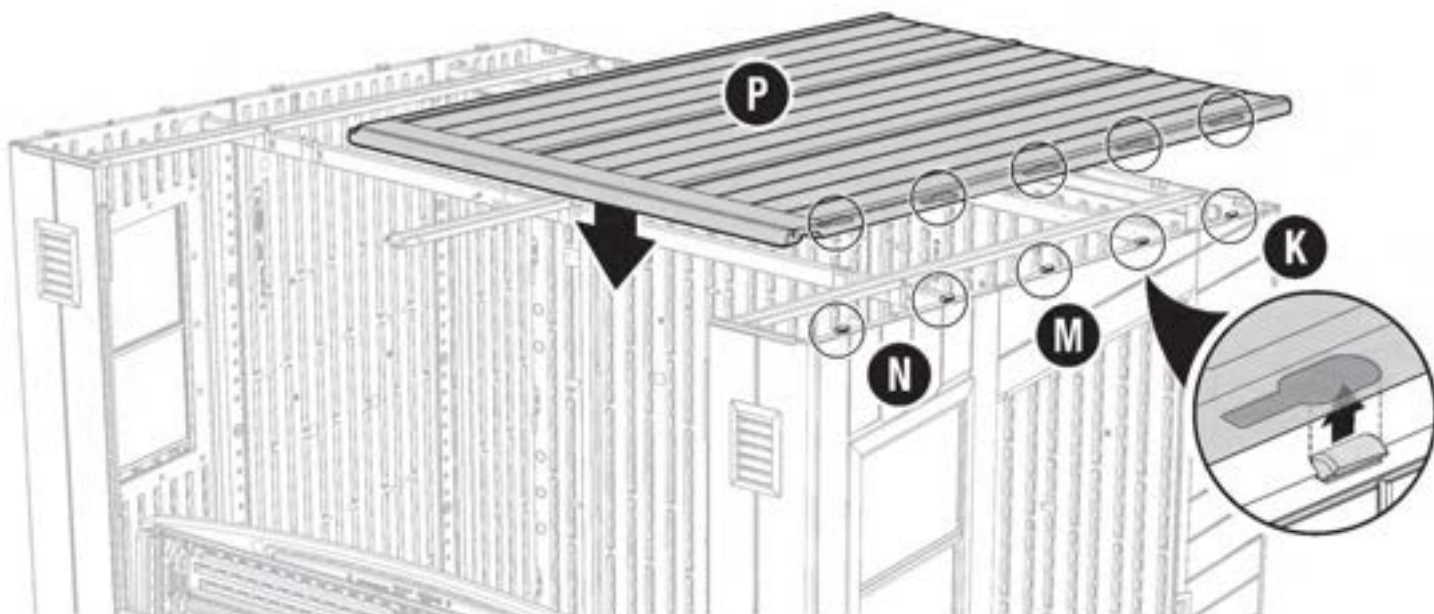


54



1 枚のルーフ パネル (P) の下側にある 5 つのスロットを特定します。図に示すように、ルーフ パネルを小屋の右側に置き、右サイド パネル (N、M、K) の 5 つのタブを屋根 (P) のスロットに合わせます。

注意: ルーフ パネルの幅広の縁が小屋の前側を向くように配置します。

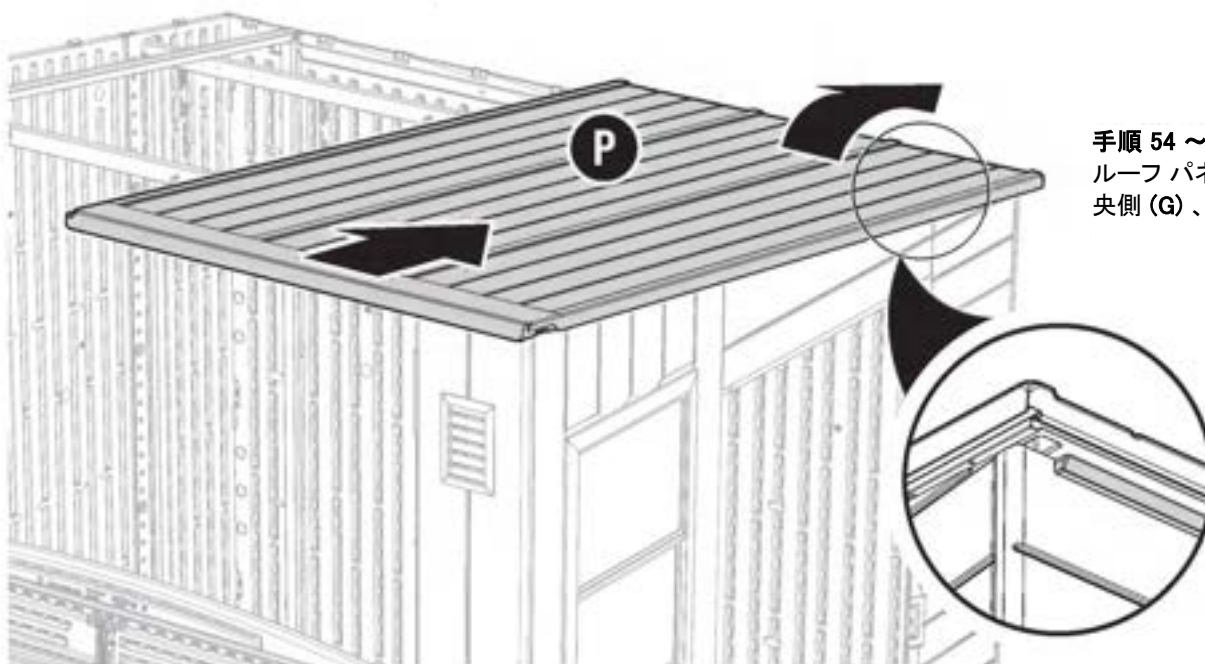


55



ルーフ パネル (P) を所定の位置に配置したら、小屋の外側からルーフ パネルを所定の位置に固定し、他の人に屋根を小屋の後ろ側に向かってスライドしてもらい、屋根を完全にはめ込みます。

重要: 屋根の稜線が背面パネルの上部に来ると、屋根は完全に所定の位置に固定されます。続行する前に、屋根のスロットの位置がタブと完全に噛み合っていることを確認してください。



手順 54 ~ 55 を繰り返して、残りのルーフ パネル (P) を左前側 (F)、左中央側 (G)、左後側 (H) に取り付けます。

56

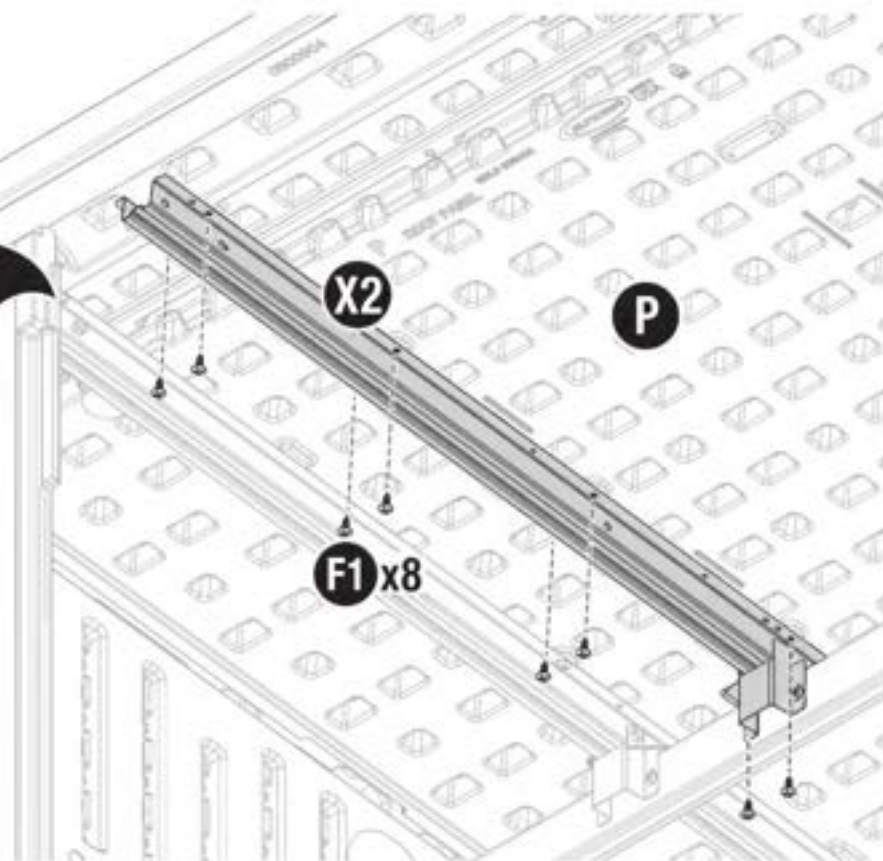


(F1) x16

屋根 (P) の左側から始めて、1つのトラス脚 (67.6 cm、X2) を中央のリッジ ビーム アセンブリに渡して、サポート ブラケット (K3) で連結します。8 本のネジ (F1) を使用して、トラス脚 (X2) を指定された場所に固定します。

屋根(P) の右側にある残りのトラス脚 (X2) でも繰り返します。

重要: 方向は非常に重要です。トラス脚 (X2) は、2つの穴がある端が小屋の前面を向くように配置する必要があります。



57

7/16インチ
(11.1mm)7/16インチ
(11.1mm)

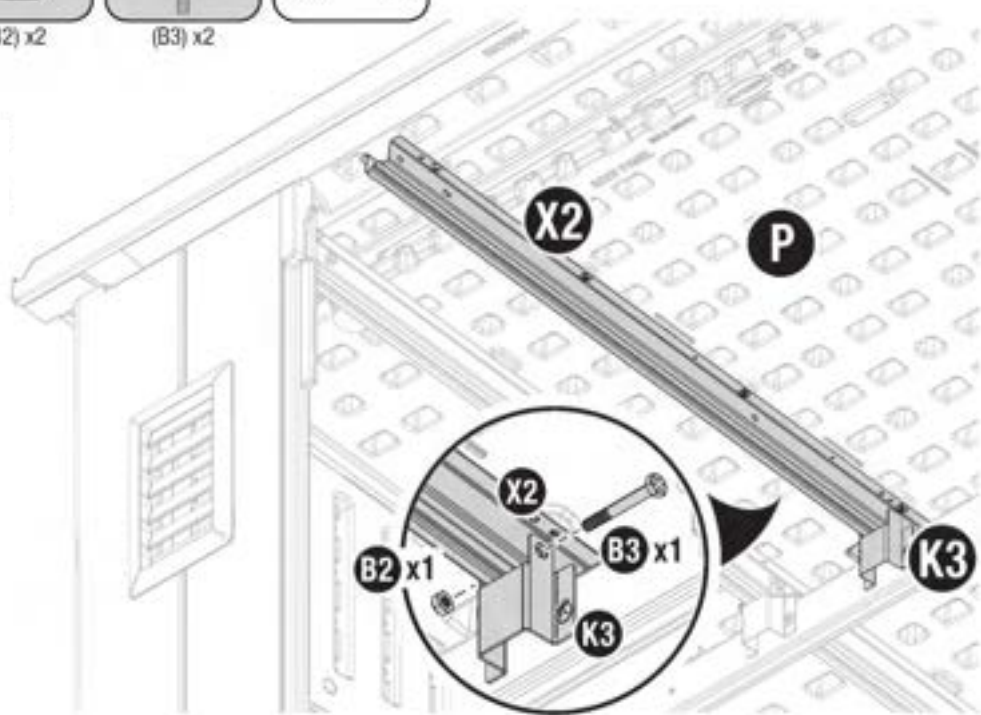
(B2) x2



(B3) x2



それぞれ 1 本のボルト (B3) とナット (B2) を使用して、1 つのトラス脚 (X2) の一番端をサポート ブラケット (K3) に固定します。残りのトラス脚 (X2) についてもこれを繰り返します。



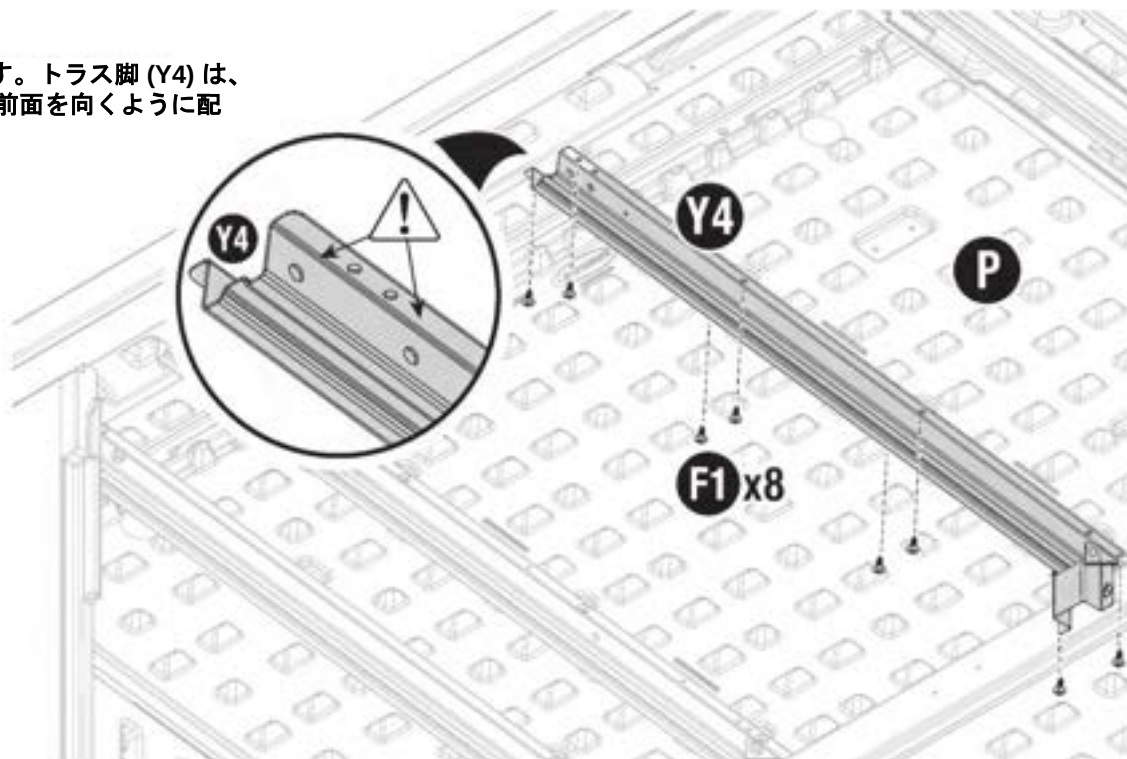
58



(F1) x16

屋根 (P) の左側から始めて、1つのトラス脚 (66.0 cm、Y4) を中央のリッジ
ビーム アセンブリに渡して、サポート ブラケット (K3) で連結します。8 本
のネジ (F1) を使用して、1つのトラス脚 (Y4) を指定された場所に固定します。
屋根 (P) の右側にある残りのトラス脚 (Y4) でも繰り返します。

重要: 方向は非常に重要です。トラス脚 (Y4) は、
2つの穴がある端が小屋の前面を向くように配
置する必要があります。



59

7/16インチ
(11.1mm)7/16インチ
(11.1mm)

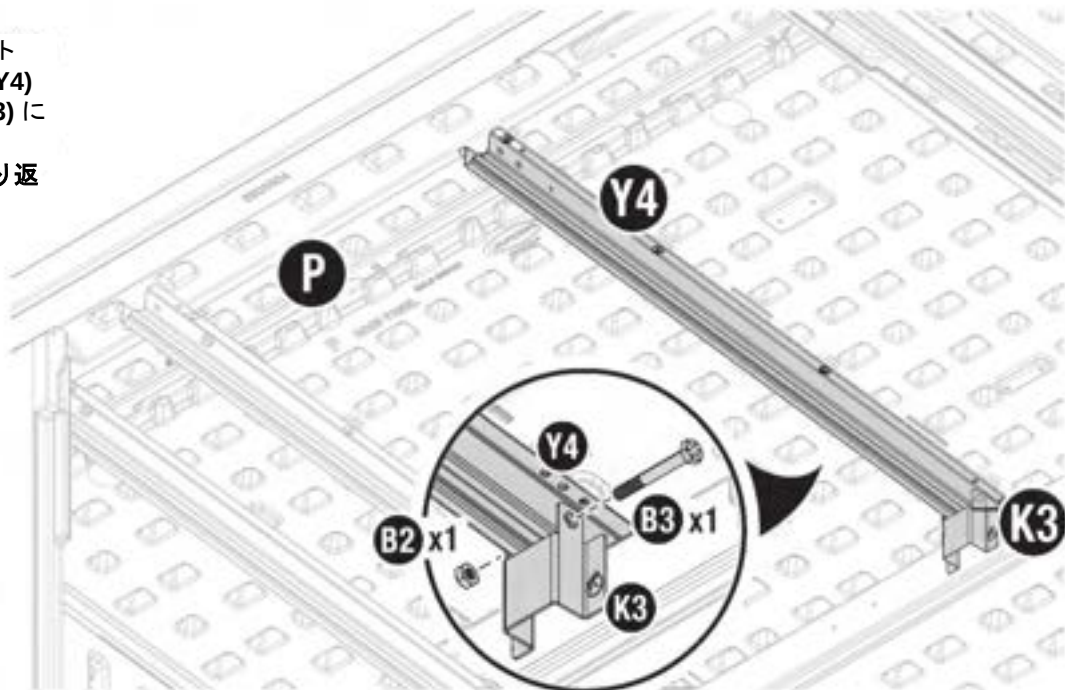
(B2) x2



(B3) x2



それぞれ 1 本のボルト (B3) とナット
(B2) を使用して、1つのトラス脚 (Y4)
の一番端をサポート ブラケット (K3)
に固定します。
残りのトラス脚 (Y4) についても繰り返
します。

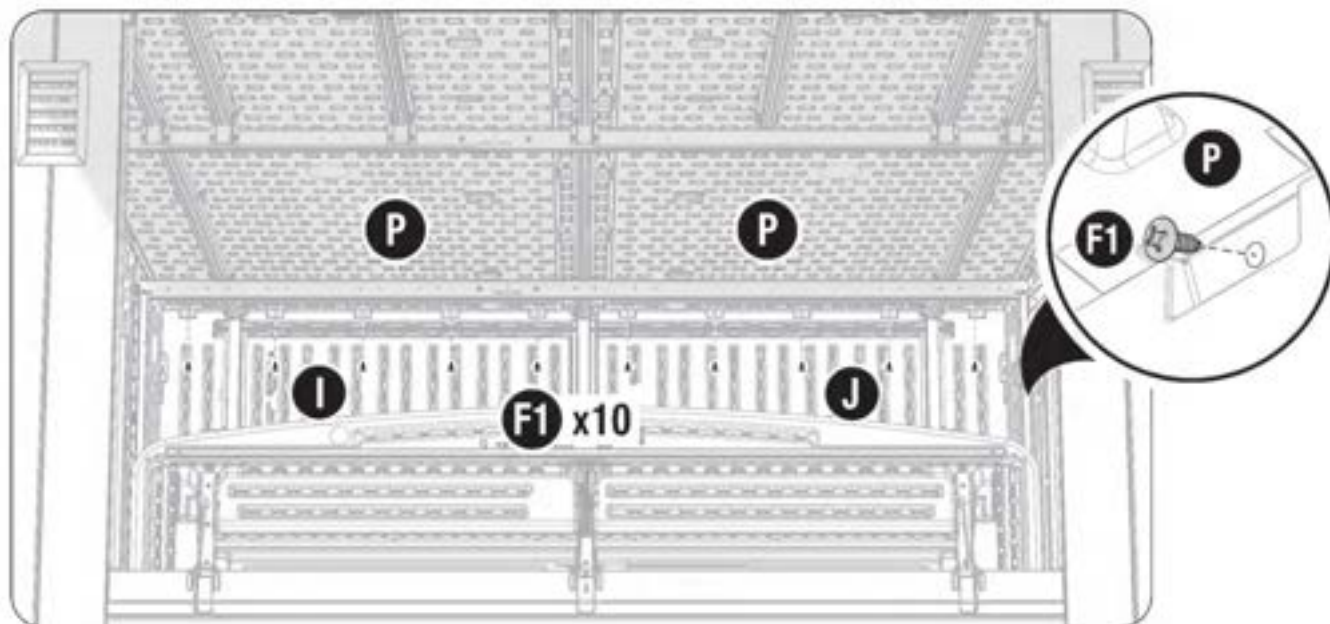


60



(F1) x10

図のように、10本のネジ (F1) を使用して、ルーフ パネル (P) を背面パネルに固定します。



61

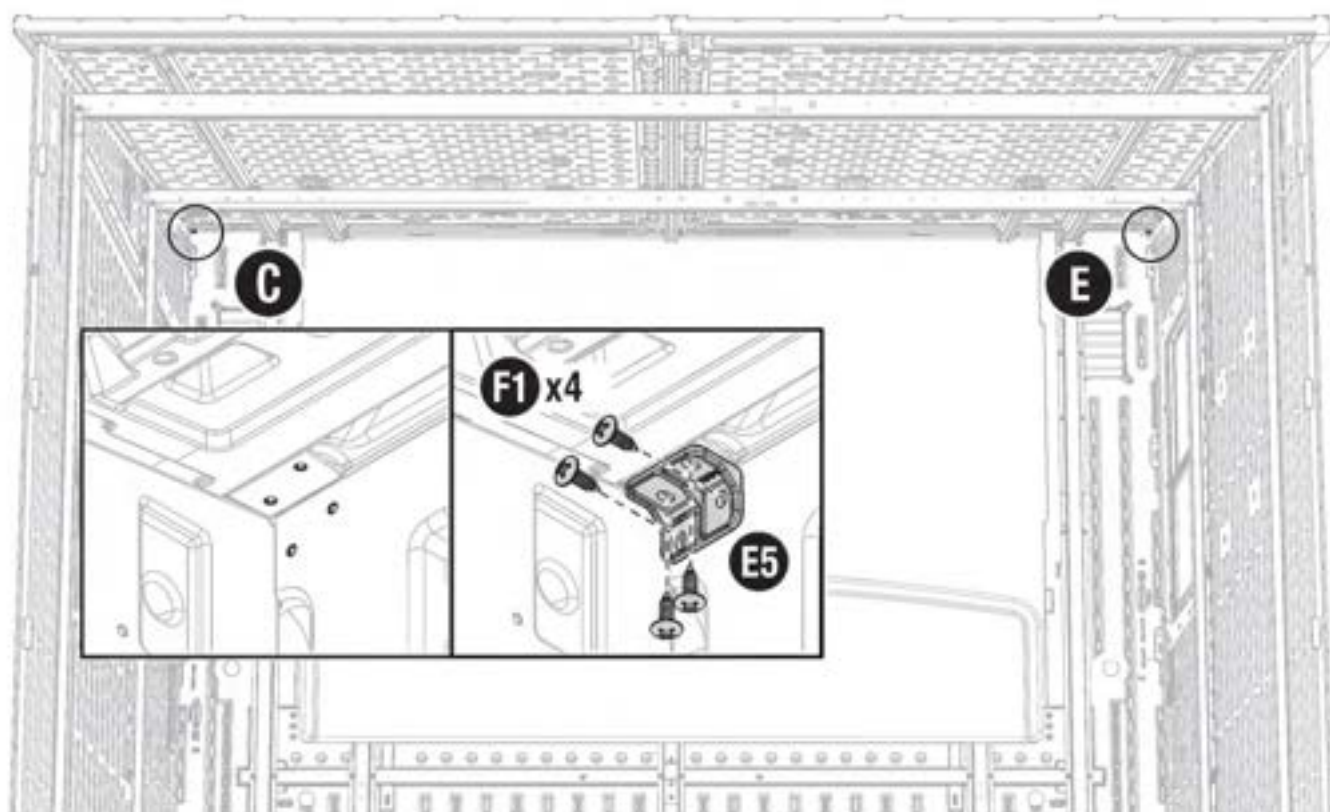


(F1) x8



(E5) x2

図のように、それぞれ 4本のネジ (F1) を使用して、2つのルーフ ブラケット (E5) を固定します。

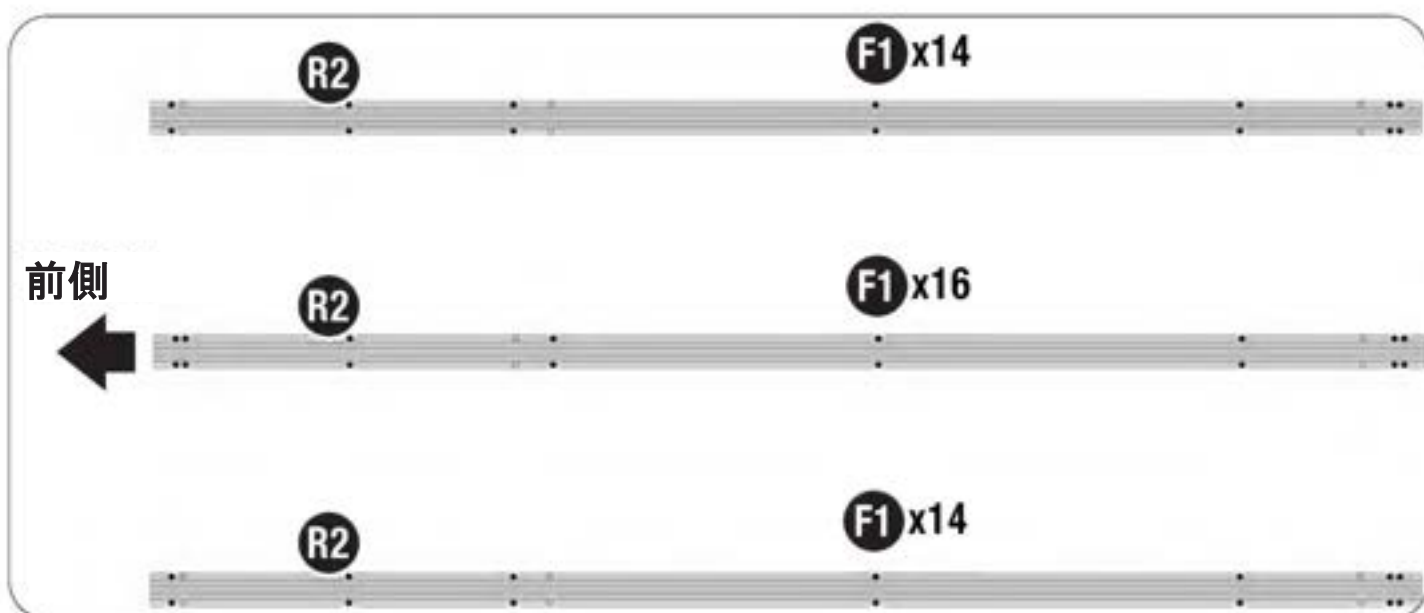
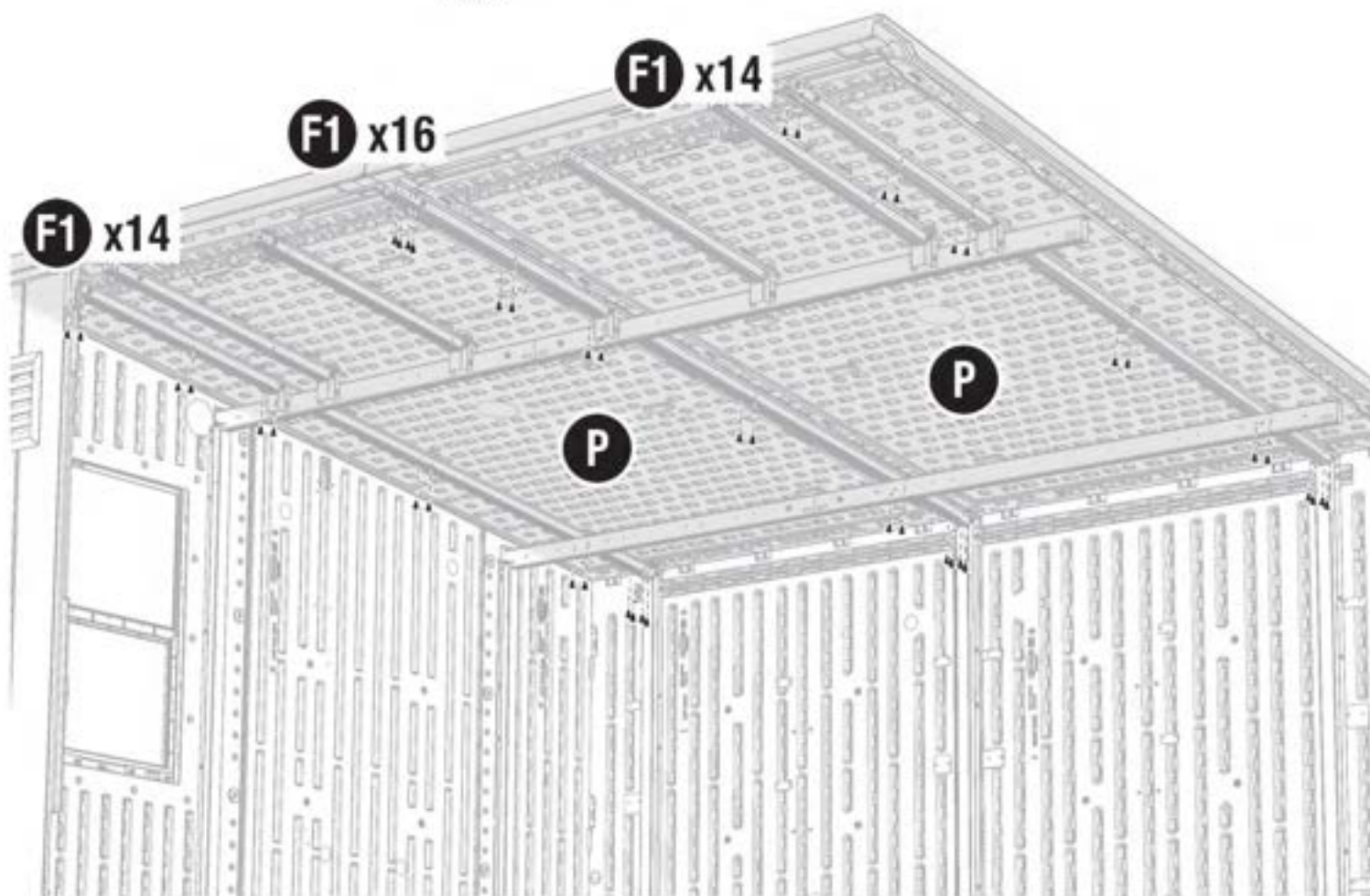


62



(F1) x44

合計 44 本のネジ (F1) を使用して、トラス脚を屋根 (P) の指定された場所に固定します。



組み立て - フロント リッジ ビーム

必要なハードウェア/スチール キット



63



7/16インチ
(11.1mm)



7/16インチ
(11.1mm)



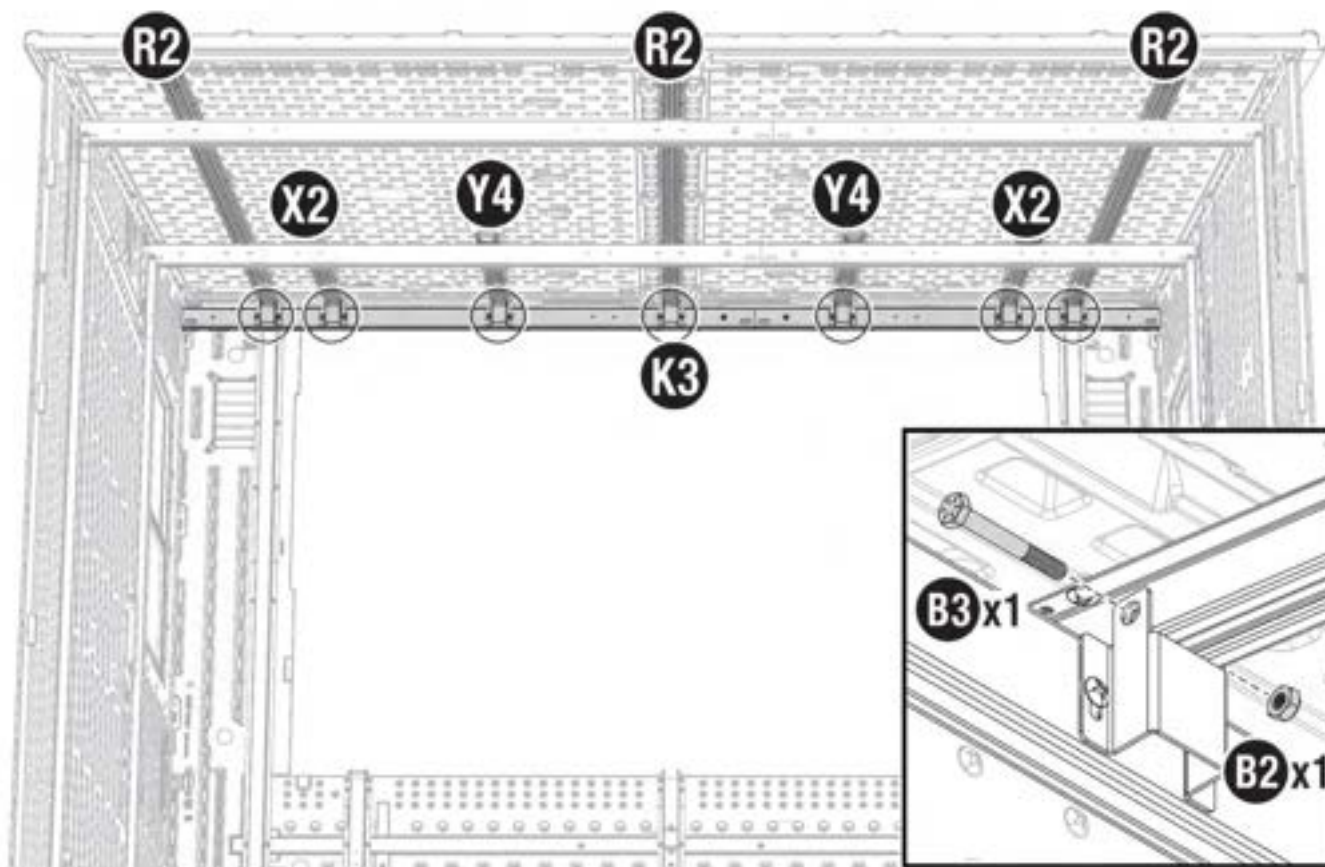
(B2) x7



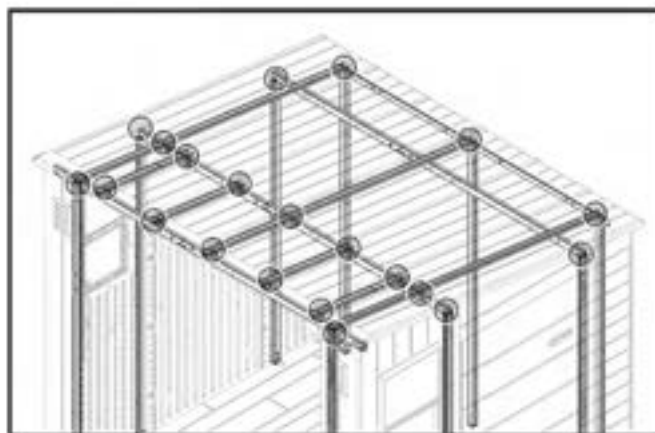
(B3) x7



図のようにフロント リッジ ビーム アセンブリを配置し、7つのサポート ブラケット (K3) をトラス脚 (R2、X2、Y4) と連結します。各サポート ブラケット (K3) を、それぞれ 1 本のボルト (B3) とナット (B2) で、指定された場所に固定します。



すべてのリッジ ビーム、トラス脚、およびサイド アダプター 接続部 (合計 21 か所) のボルトとナット (B3、B2) を締めます。



組み立て - フロント リッジ ビームのサイド アダプター

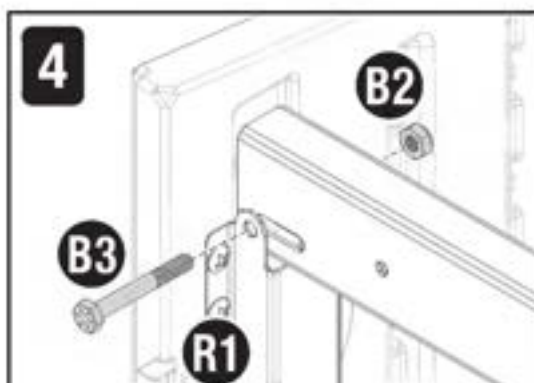
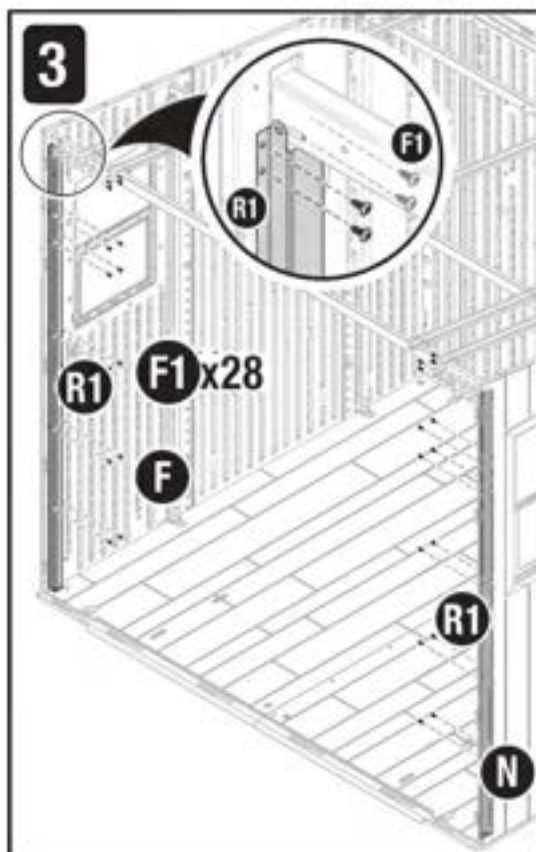
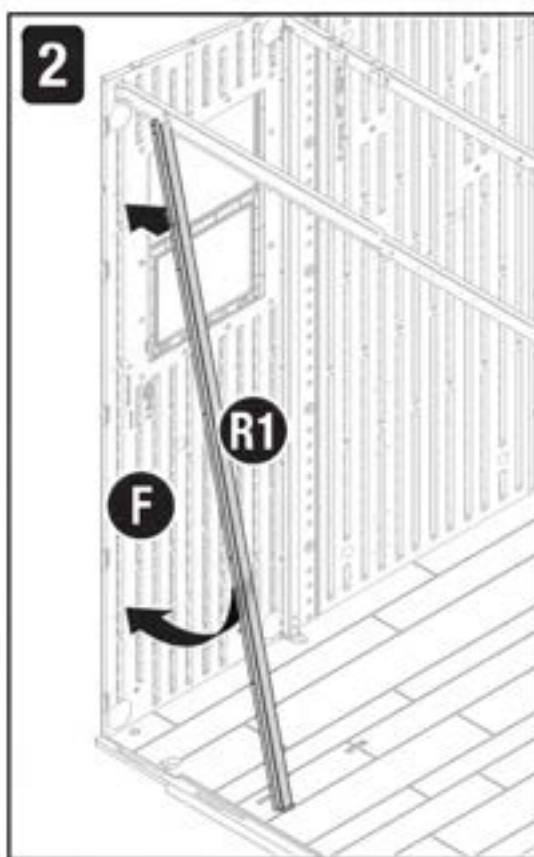
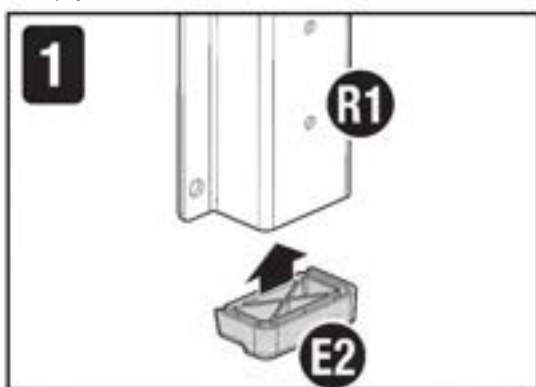
必要なハードウェア/スチール キット



64



- 1) 2 つのサイド アダプター (210 cm, R1) の端に、それぞれ 1 つのアダプター キャップ (E2) を取り付けます。
- 2) 1 つのサイドアダプター (R1) をわずかに傾けて、上端が左前側 (F) にもたれるように配置します。
- 3) サイド アダプター (R1) を所定の位置にスライドさせ、14 本のネジ (F1) を使用して、指定された場所に固定します。
手順 2 と 3 を繰り返して、残りのサイド アダプター (R1) を右前面 (N) に取り付けます。
- 4) ボルト (B3) とナット (B2) をそれぞれ 1 本ずつ使用して、フロント リッジ ビーム アセンブリの両端を、先ほど組み立てたアダプター (R1) に固定します。



組み立て - オーニング

必要なハードウェア/スチール キット



65



7/16インチ
(11.1mm)



7/16インチ
(11.1mm)

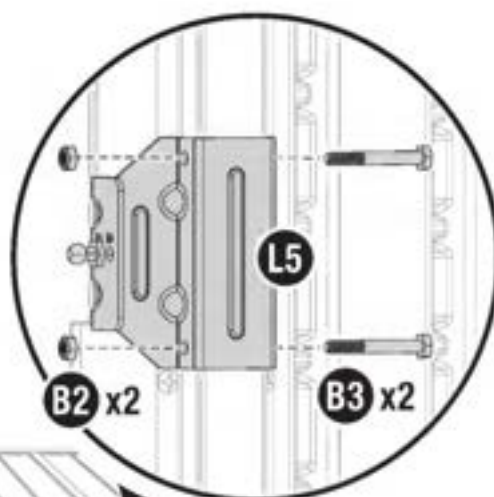
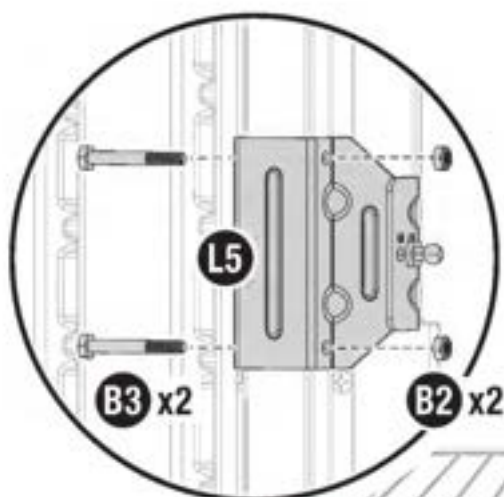


(B2) x4



(B3) x4

前の手順で左前部 (E) と右前部 (C) に取り付けしたサイド アダプター (P3) を特定します。図のように、それぞれ 2 本のボルト (B3) とナット (B2) を使用して、1 つのアダプター構成を各サイド アダプター (P3) に固定します。



66



7/16インチ
(11.1mm)



7/16インチ
(11.1mm)



(B2) x3



(B3) x3

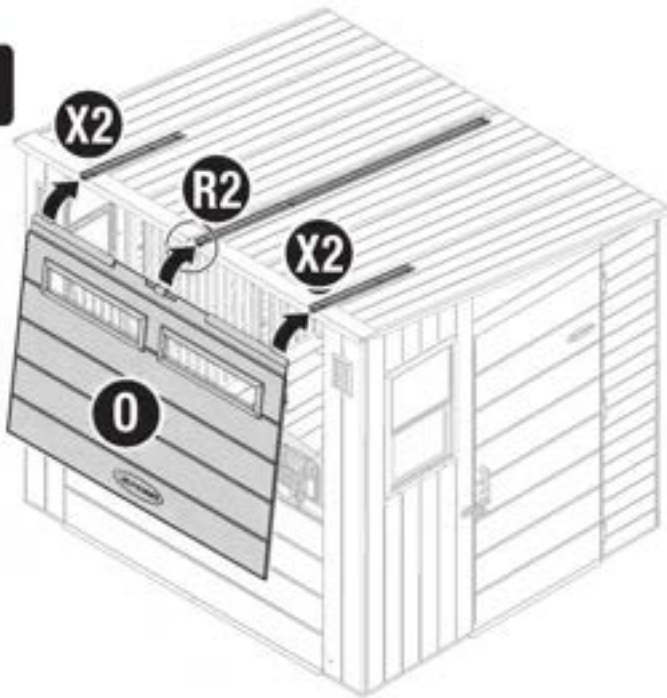


重要: 方向は非常に重要です。画像の詳細を参照してください。

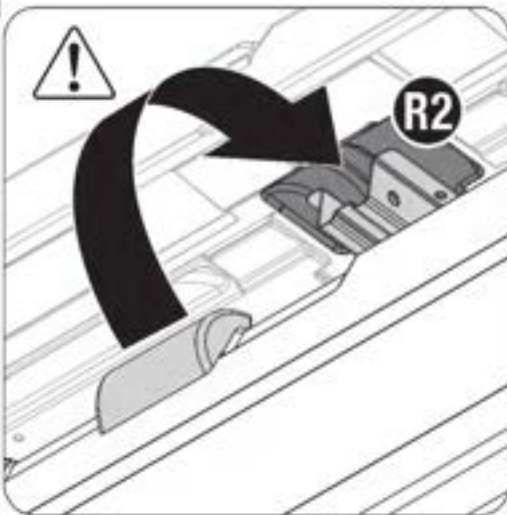
続行する前に、組み立て中にサイドパネルが誤って損傷するを防ぐため、両方の D リングがロック位置にあることを確認してください。

- 1) 2人で協力して、図のようにオーニング (O) を合わせ、オーニング (O) を開いた位置まで回転させます。
 - 2) 2人でオーニング (O) を開いた位置で保持している間に、3人目の人がオーニング (O) の中央のサイドアダプター (X1) を小屋のフレーム上にある中央のトラス脚 (R2) に連結します。
 - 3) 1本のボルト (B3) とナット (B2) を連結金具 (X1、R2) に挿入します。しっかりと締めてください。
- このプロセスを繰り返して、オーニング (O) を小屋の左右の屋根にある2つのトラス脚 (X2) に固定します。

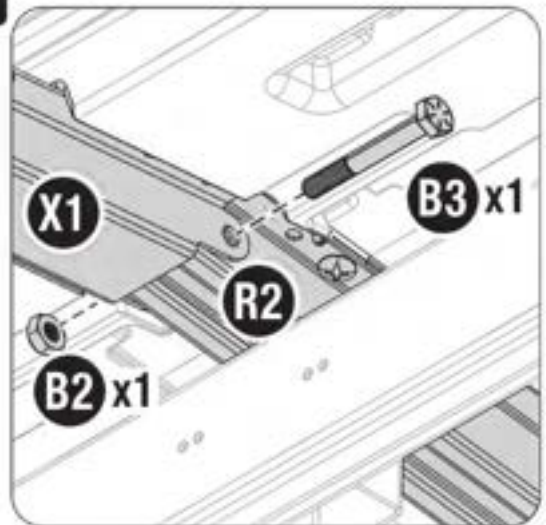
1



2



3



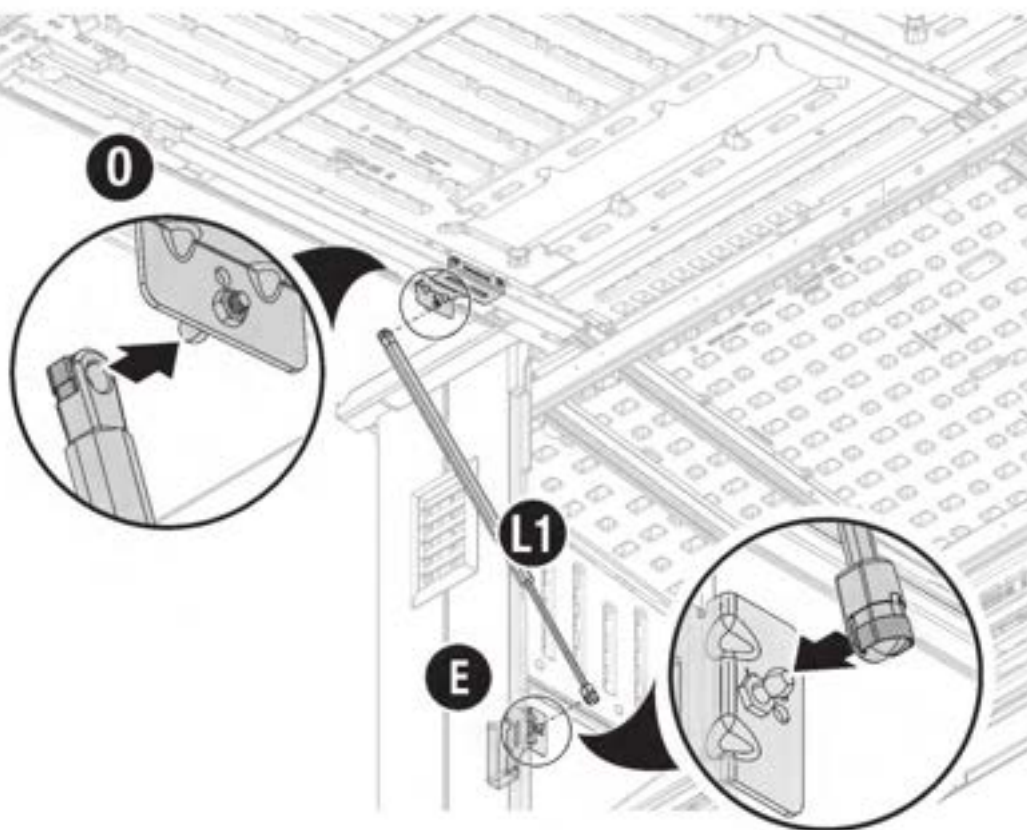
67



ヒント: 取り付け時にショック アブソーバーの端をねじって位置を合わせる必要がある場合があります。

1 つのオーニング ショック (L1) を、左前部 (E) とオーニング (O) にあるショック構成に取り付けます。カチッとほまるまで、ショック (L1) の端を押し込みます。

このプロセスを繰り返して、残りのオーニング ショック (L1) を右前部 (C) とオーニング (O) に取り付けます。



組み立て - カウンタートップと棚

必要なハードウェア/スチール キット

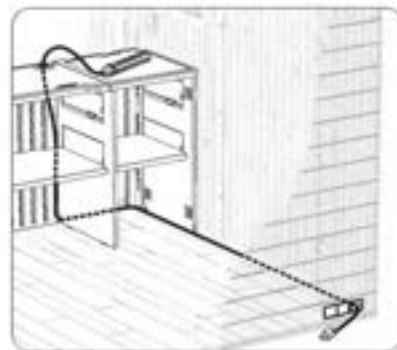
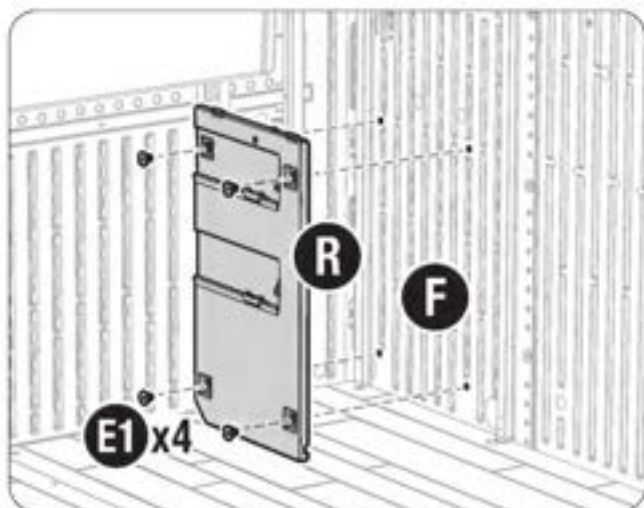


68



図のように、4 本のイージー ボルト (E1) を使用して、右側の壁仕切り (R) を左前側 (F) に固定します。しっかりと締めます (3 ~ 4 回クリック音が鳴ります)。

繰り返して左側の壁仕切り (T) を右側前面 (N) に取り付けます。



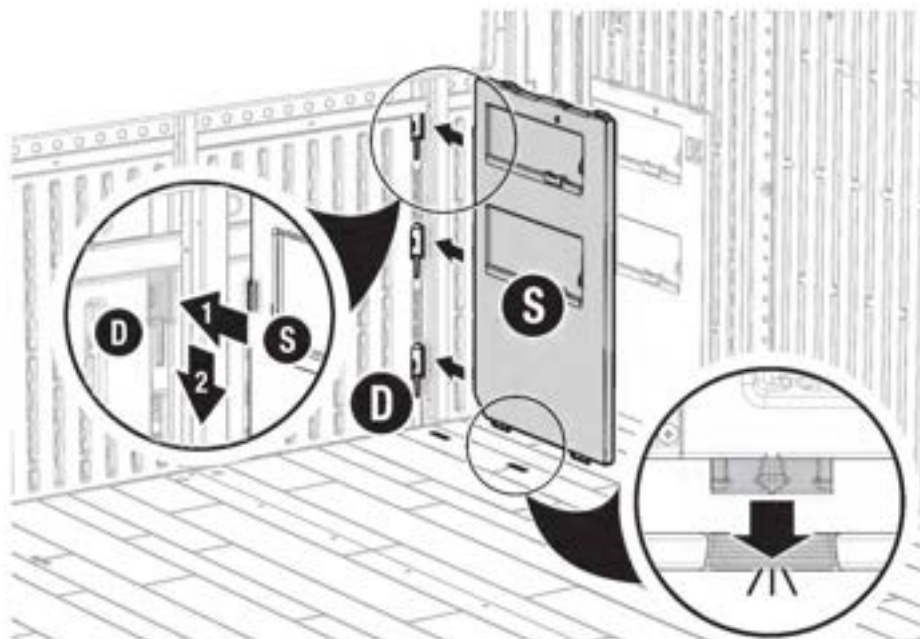
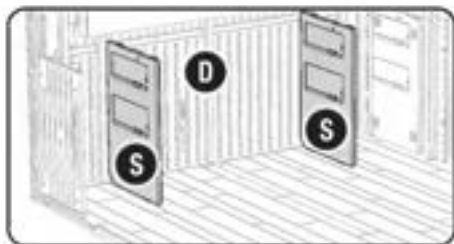
ヒント: 内部のカウンタートップに電気コードを配線する場合は、次の手順に進む前に配線を開始する必要があります。

69



1つの中央仕切り (S) の側面タブを下部前面 (D) のスロットに合わせます。中央仕切り (S) を下にスライドさせてタブをはめ込みます。下部のタブが床にカチッとハマるまでしっかりと押します。

このプロセスを繰り返して残りの中央仕切り (S) を取り付けます。



70



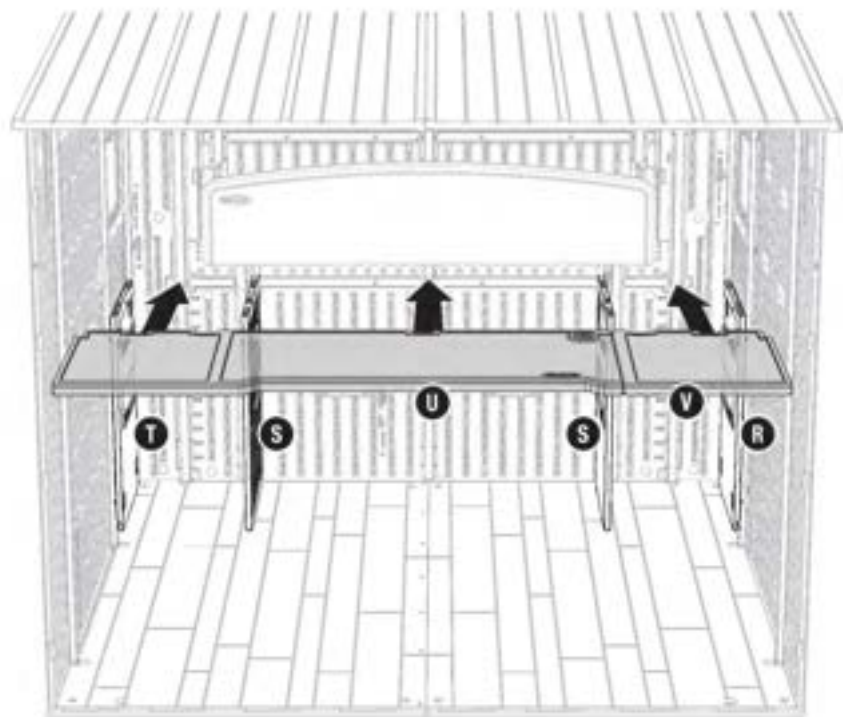
(E4) x1



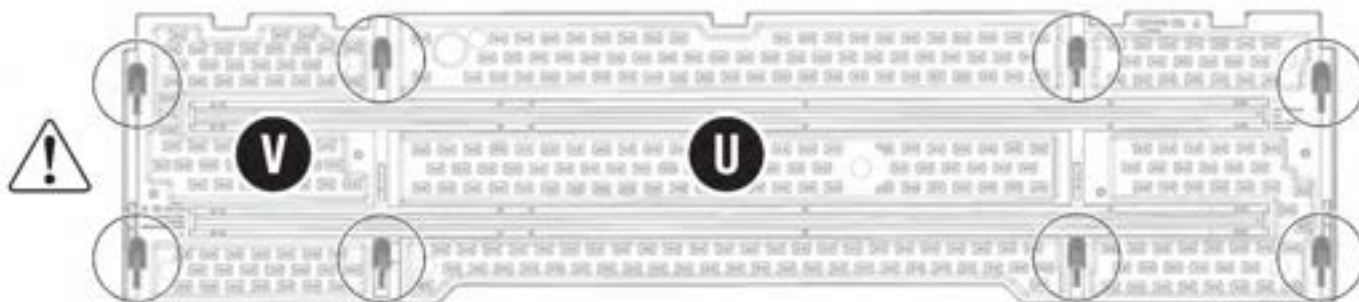
他の人の助けを借りて、カウンタートップ (U、V) の8つのスロットを左右の仕切り (R、T) と中央仕切り (S) のタブに合わせます。カウンタートップ (U、V) を前方にスライドさせてタブをはめ込みます。

固定したら、グロメット (E4) を左側のカウンタートップ (U) に挿入します。

ヒント: 完全にはめ込むと、カウンタートップの前端が下部前面 (D) と接触します。



重要: カウンタートップを所定の位置にスライドさせる前に、8つのスロットすべてを仕切りタブに合わせる必要があります。



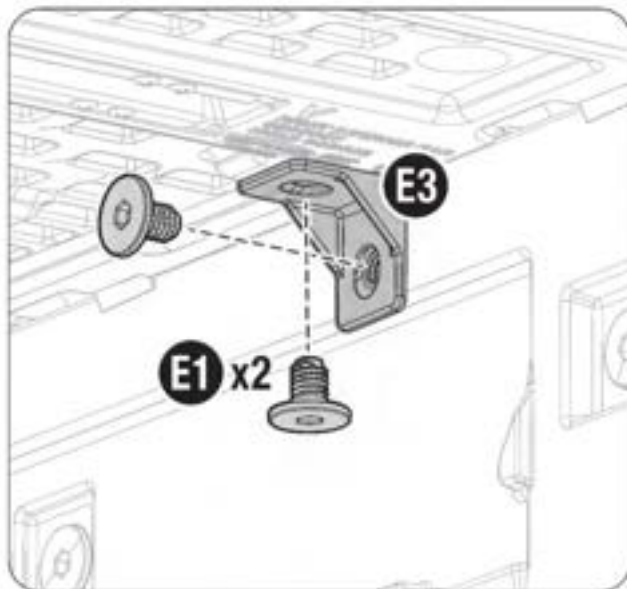
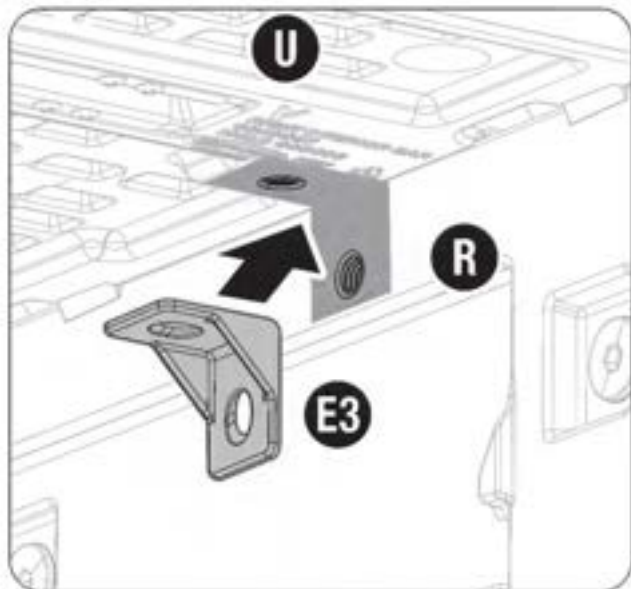
71



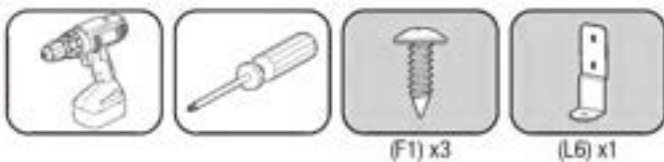
図のように、1つのルーフリテーナー (E3) を内部カウンタートップ (U、V) の下側に、右側の壁仕切り (R) に当てて配置します。2本のイージー ボルト (E1) で取り付けます。

しっかりと締めます (3 ~ 4 回クリック音が鳴ります)。

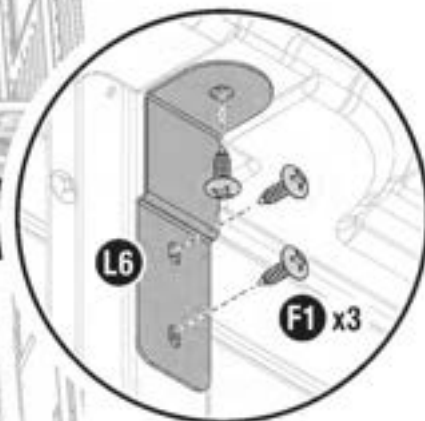
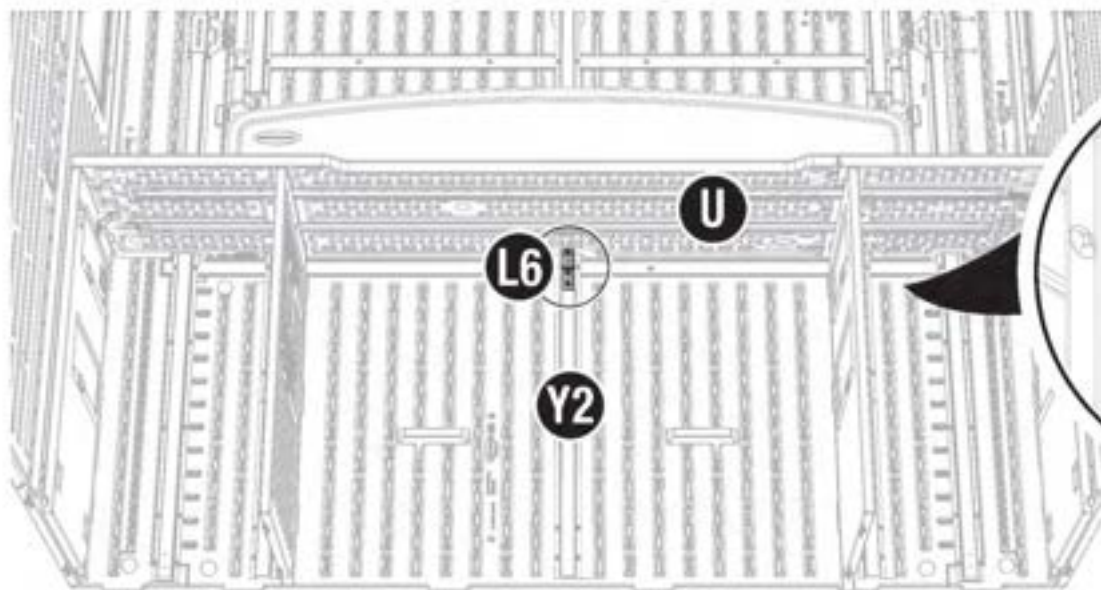
繰り返して左側の壁の仕切り (T) を固定します。



72

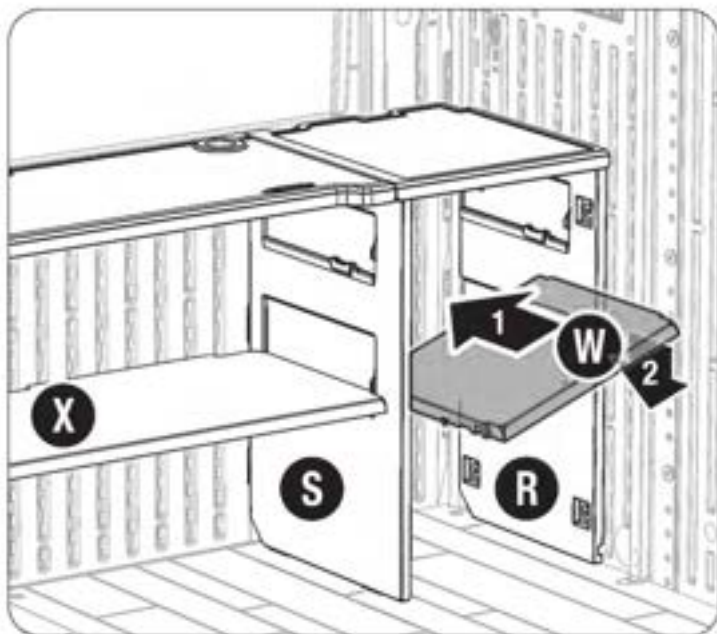
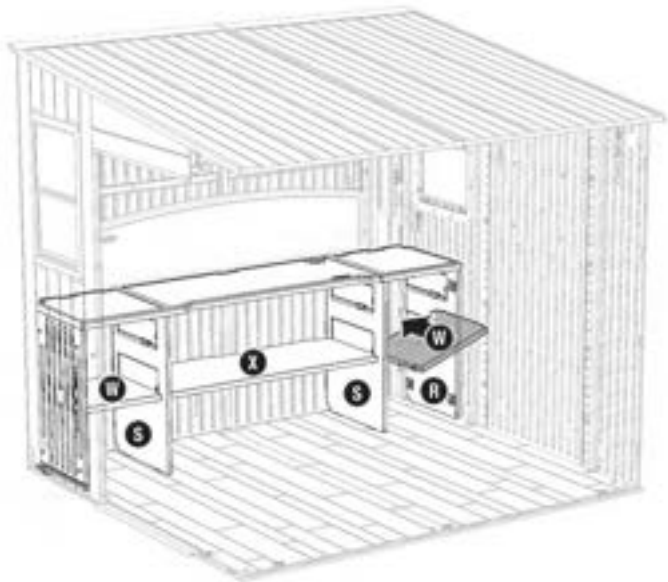


図に示すように、1つのタイ ダウン ブラケット (L6) をサイド アダプター (Y2) と左内部カウンタートップ (U) に当てて配置します。指定された場所に 3 本のネジ (F1) を使用して固定します。



73

サイドシェルフ (W) を少し斜めにして、右側の壁仕切り (R) と中央仕切り (S) の間に挿入します。挿入したら、サイドシェルフ (W) を水平になるよう回転させて、所定の位置にカチッとハマるまで押し下げます。この手順を繰り返して、残りのサイドシェルフ (W) とセンターシェルフ (X) を取り付けます。



組み立て - ドア

必要なハードウェア/スチール キット



74



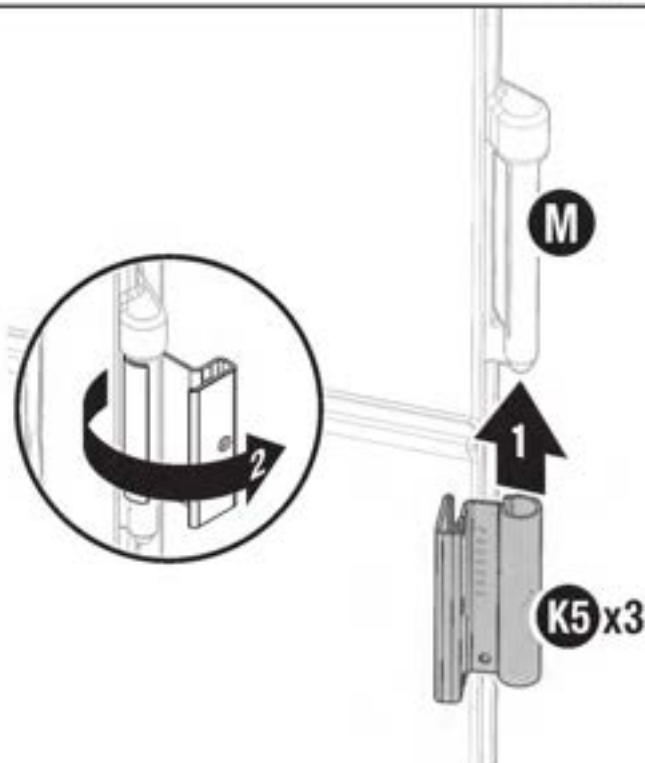
(K5) x3

図のように、1つのドアヒンジ (K5) を右ドア (M) に対して開いた位置に保持します。

ヒンジピンからドアヒンジ (K5) をヒンジピンに差し込み、ドアヒンジをドア (M) の反対側に回転させます。

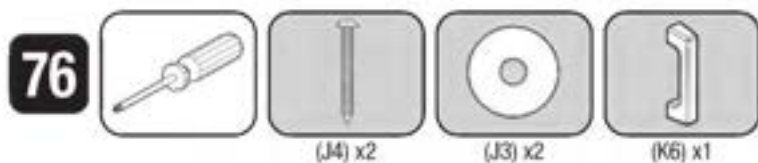
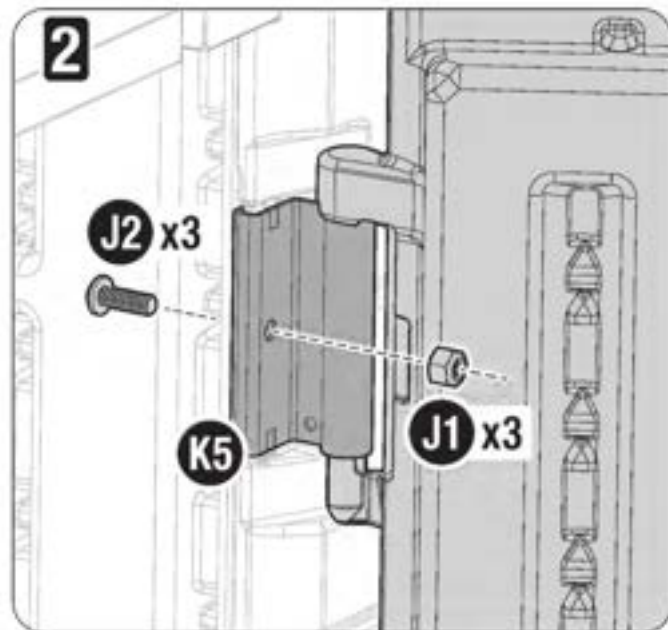
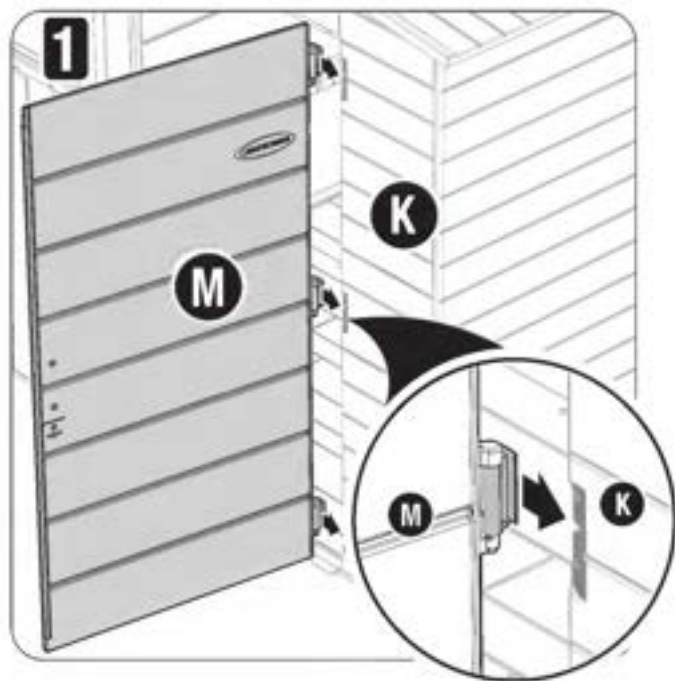
このプロセスを繰り返して、残りの2つのドアヒンジ (K5) を取り付けます。

ヒント: ドアのヒンジをスライドさせるときに抵抗を感じる場合は、ゴム製のハンマーが役に立つ場合があります。ヒンジを力を加えないでください。

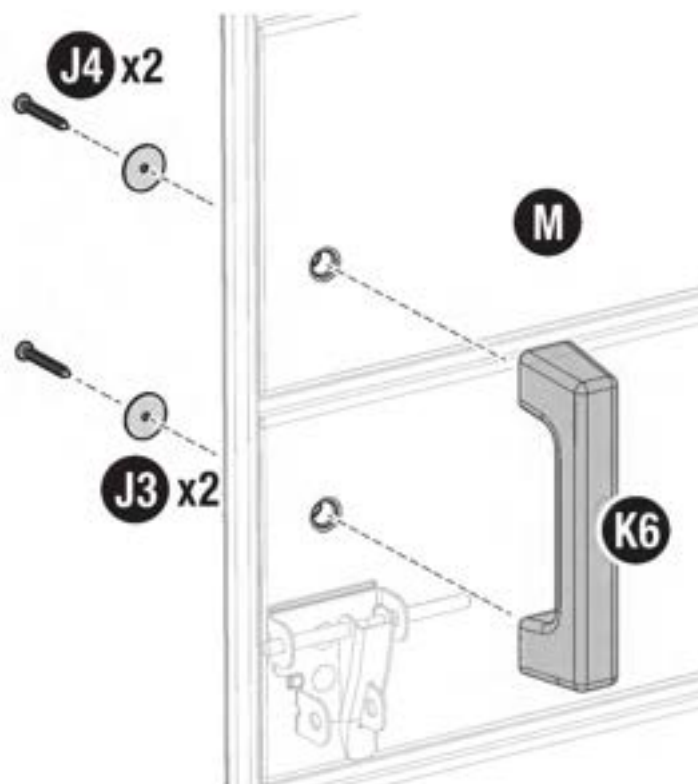




- 1) 図のように、ドア (M) を右後ろ側 (K) に対して配置します。各ドア ヒンジ (K5) を右後ろ側のヒンジ受け (K) に差し込みます。
- 2) 小屋の内側から、各ドア ヒンジ (K5) を、それぞれ 1 本のボルト (J2) とナット (J1) を使用して固定します。しっかりと締めてください。



右ドアの内側 (M) から、2 本のネジ (J4) とワッシャー (J3) をスロット穴に取り付けます。
図のように、ドアの外側から、ドア ハンドル (K6) を、先に取り付けたネジに通します。
ネジ (J4) をドア ハンドルにしっかりと締め付けます。



組み立て - 基礎アンカー

必要なハードウェア/スチール キット



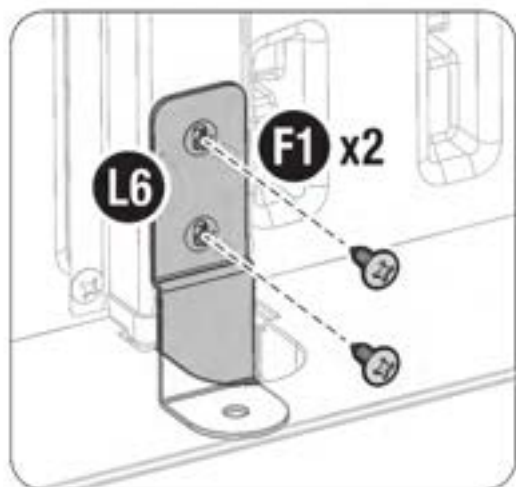
77



(F1) x12

(L6) x6

図のように、1つのタイダウンブラケット (L6) をフロアのくぼみに配置し、2本のネジ (F1) を使用してサイドアダプターに固定します。
繰り返して残りの5つのタイダウンブラケット (L6) を指定の場所に取り付けます。



前側

重要: タイダウンブラケットの3番目の穴 (L6) は、小屋を基礎に固定するために使用されます。仕様については、このマニュアルの冒頭にあるサイト準備の手順を参照してください。

組み立て - モニター アダプター (オプション)

必要なハードウェア/スチール キット

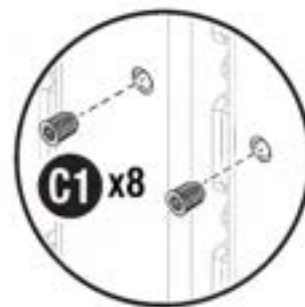
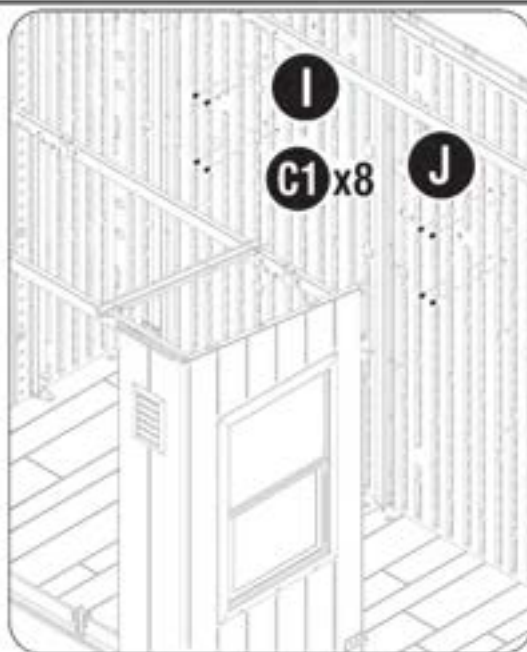


78



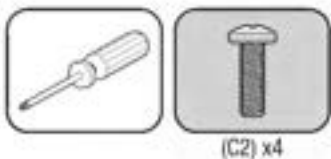
C1 x8

8個のネジ付きナット インサート (C1) を、左側と右側の背面 (I、J) に示された位置に取り付けます。
ナット インサート (C1) は、パネルの表面と面一になると固定されます。



この時点で、小屋のどちら側にモニターを取り付けるかを決めます。

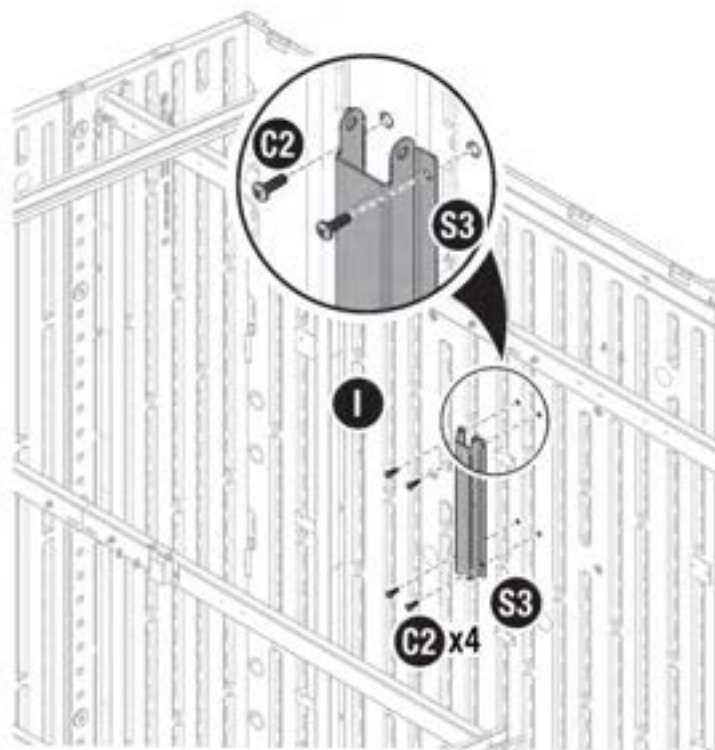
79



サイドアダプター (29.2 cm、S3) を、前の手順で小屋の目的の側面に取り付けたネジ付きナット インサートに合わせます。4 本のネジ (C2) を使用して、サイドアダプターを指定の場所に固定します。

モニター取り付け仕様:

- モニターのサイズは 101.6 cm を超えてはなりません。
- モニター マウントは、固定式でなければなりません (関節式/傾斜式マウントとは互換性はありません)。
- モニター マウントの幅は 106.7 cm を超えてはなりません。
- モニターとモニター マウントの合計重量は 9 kg を超えてはなりません。
- モニター マウントは、少なくとも 4 つのアンカーを使用して、少なくとも 2 か所でサイドアダプター (M1、S3) に固定する必要があります。
- サイドアダプターにはあらかじめ穴が開けられています。Suncast では、このアプリケーションに適したドリルビットと取り付けハードウェアを選択する際に、モニターマウントの製造元のガイドラインに従うことを推奨しています。
- **重要:** サイドアダプターにパイロット穴を開ける際は、プラスチックに穴を開けないでください。



警告: モニターを取り付けるときは、OEM (Original Equipment Manufacturer) が提供し、マウントに同梱されている説明書を参照してください。マウントおよびモニターはサードパーティ製品であり、Suncast 製品の一部ではありません。SUNCAST は、アダプター、マウント、またはモニターに関して、商品性や目的への適合性など、明示的または黙示的な保証を一切行いません。アダプターは、便宜上付属しているだけで、組み立てに必要な部品ではありません。マウントを取り付けることにより、マウントが何らかの理由で故障した場合に Suncast が責任を負わないことに同意するものとします。

いかなる場合も、SUNCAST は、組み立て、検査、廃棄にかかる費用、付随的損害もしくは結果的損害、または製品の元の購入価格を超える責任について一切の責任を負いません。



ドアの内側にあるラベルには、製品に関する情報が記載されています。QR コードは、Suncast Web サイトの製品登録ページへの直接リンクです。ラベルの下部にあるコードは、お客様の製品に固有のものです。Suncast に問い合わせる必要がある場合は、これらの番号を用意してください。

